科目授業名	授業代表教員氏名		ページ数
哲学の基礎<1>	的場 哲朗		3
哲学の基礎<2>	関口 浩		7
哲学の基礎<3>	瀨戸 一夫		11
倫理学の基礎<1>	的場 哲朗		15
倫理学の基礎<2>	吉原 裕一		19
倫理学の基礎<3>	的場 哲朗		23
文学への招待<1>	桜井 宏徳	•••••	27
文学への招待<2>	太西 雅一郎		31
文学への招待<3>	原 善	•••••	35
心理学の基礎<1>	高岡 佑壮	•••••	39
心理学の基礎<2>	岩田 淳子	•••••	43
心理学の基礎<3>	林 潤一郎	•••••	47
自己理解の心理学<1>	平山 敦子		51
自己理解の心理学<2>	林 潤一郎		55
自己理解の心理学<3>	岩田 淳子		59
現代社会と哲学	関口 浩		63
現代社会と倫理学	佐藤 雅男		67
現代社会と宗教	松岡 秀明		71
日本の思想史	須佐 俊吾		75
脳科学と心	山本 愛実		79
こころの健康と臨床	林 潤一郎		83
音楽への招待	西釋 英里香		87
美術への招待	人見 伸子	•••••	91
人間と美術	人見 伸子	•••••	95
多文化主義と文学	大熊 昭信	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	99
サブカルチャーと文学	清水 均		103
ことばの科学	小倉 美知子	•••••	107
ファッションと文化	和田 早苗	•••••	111
映像と文化	滝浪 佑紀	•••••	115
映像と人間	北小路 隆志	•••••	119
文化人類学の考え方	三吉 美加	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	123
政治学の基礎<1>	立石 洋子	•••••	127
政治学の基礎<2>	立石 洋子	•••••	131
経済学の基礎<1>	福澤 尚美	•••••	135
経済学の基礎<2>	藤垣 芳文	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	139
経済学の基礎<3>	武藤 恭彦	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	143
社会学と現代<1>	挾本 佳代	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	147
社会学と現代<2>	金崎 一郎		151

社会学と現代<3>	青山	陽子	 155
日本国憲法<1>	小沼	史彦	 159
日本国憲法<2>	三田	奈穂	 163
日本国憲法<3>	三田	奈穂	 167
市民生活と法I	渡邉	知行	 171
市民生活と法Ⅱ	渡邉	知行	 175
日本の政治	山崎	新	 179
現代の国際政治	白鳥	潤一郎	 183
日本と世界の経済	大野	正智	 187
企業と社会	井上	慶太	 191
現代のマスメディア	挾本	佳代	 195
社会心理学入門	正木	郁太郎	 199
裁判と社会	三田	奈穂	 203
生命倫理と法	三田	奈穂	 207
科学的に考える(熱と光の科学)	日高	啓晶	 211
科学的に考える(物質の科学)	加藤	茂	 215
科学的に考える(数の世界)	石井	卓	 219
科学的に考える(生命の科学)	麻生	一枝	 223
科学的に考える(文系のための数学)	小林	幸夫	 227
科学的に考える(文系のための科学実験)	伊藤	郁夫	 231
環境と科学(地球と環境)	小森	次郎	 235
環境と科学(生命と環境)	池田	威秀	 239
環境と科学(食料と環境)	加藤	茂	 243
人間と進化	櫻木	晃彦	 247
天文学入門	古荘	玲子	 251
薬はなぜ効くか	武田	収功	 255
身の回りの科学	多田	司	 259
科学技術の発展と歴史	渋谷	一夫	 263
科学と哲学	瀨戸	一夫	 267
環境論	斉藤	喬士	 271
気象と地球環境	財城	真寿美	 275

科目名	哲学の基礎 <1>	
教員名	的場 哲朗	
科目ナンバー	1301471010	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 後期

現代思想の原点を学びます。テーマとするのは、19世紀の代表的な思想家としてマルクス、ニーチェ、そして20世 紀の代表としてウィトゲンシュタイン、ハイデガーです。マルクスは『共産党宣言』、ニーチェは『悲劇の誕生』、そしてウィトゲンシュタインは『論理哲学論考』、ハイデガーは『存在と時間』を紹介します。

現代はともすれば、細かな知識や手ごろな功利性ばかりに目を奪われて、大きな世界観・全体像というものを見失う嫌いがありますし、そうした大きなビジョンを避ける傾向もあるように思えてなりません。しかしこれでは、森を歩くのに、目先の木々ばかりを見て自分がいま森の中の何処にいるのかを知らないと同じではないでしょうか。ここに挙げた哲学思想が皆さんに新しい大きな世界観を与えるかどうかはわかりませんが、しかし、現代を見る大きな知的枠組み を提供することは間違いありません。あらためて現代思想の原点を学び直すことにしましょう!

到達日標

- ・現代思想の大きな枠組みが理解できる。
- ・現代哲学を読むことの楽しさ、発見の喜びが実感できる。 ・混沌とした現代社会の中で何かしら基本となる考え方が発見できる。

授業の記	+画と準備学修	
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	はじめに 哲学とは何か 私の哲学との出会いを話し、哲学は何を探求し、ほかの学問分野(科学や宗教など)とどこが違うのか。 何が得られるのかを勉強します。リアクションペーパーを提出する。	、この学問を学ぶことで
	哲学という学問について下調べをしましょう(予習、30分)。新聞などを読み、 哲学が現代の様々な問題にどんな風に生かされるかをちょっと考えてみましょう(復習、30分)。	60分
第2回	1、格差はどのように生まれるか? 貧困の問題をいち早く取り上げ、トマス・ピケティの『21世紀の資本』の先駆をなしたカール・マル てお話しします。リアクションペーパーを提出する。	クスの生涯と著作につい
	産業革命について世界史の教科書で確認しましょう(予習、60分)。資本主義とはどのような経済システムかを調べてみましょう(復習、60分)。	120分
第3回	マルクスの『共産党宣言』を読む ヘーゲルの主と奴の弁証法を紹介しながら、階級闘争や、共産主義社会の必然を説いた『共産党宣言。 す。リアクションペーパーを提出する。	』についてお話ししま
	共産主義思想とはどのようなものかを調べましょう(予習、60分)。共産主義の国々が消滅したのはなぜかを調べましょう(復習、60分)。	120分

第4回	マルクスのユートピアと現在の問題 マルクスのユートピア論と階級闘争、そしてピケティの著作『二十世紀の資本』についてお話します。リアクションペーパー を提出する。
	トマス・ピケティについて調べましょう(予習、60分)。格差社会とはどのようなものでしょうか、各自 120分 調べてみよう(復習、60分)。
第5回	2、知性は病気ではないか? 音楽家ワーグナーの影響を中心において、フリードリッヒ・ニーチェの生涯と著作についてお話しします。リアクションペーパーを提出する。
	音楽家ワーグナーについて調べよう(予習、60分)。実存思想について調べてみましょう(復習、60分)。 120分
第6回	ニーチェの『悲劇の誕生』を読む ワーグナーの音楽を聴きながら、アポロン的芸術とディオニュソス的芸術、そして知的ソクラテス主義を説く彼の『悲劇の誕生』についてお話しします。リアクションペーパーを提出する。
	ギリシア悲劇とはどのようなものかを下調べしましょう(予習、60分)。「ディオニュソス的なもの」と 120分「アポロン的なもの」と「知的ソクラテス主義」とはどのようなことでしょうか、各自考えてみましょう(復習、60分)。
第7回	ニーチェの「生の哲学」と現代の科学主義 現代は科学万能の時代ですが、そうした時代傾向に対するニーチェの「生の哲学」の意義について考えたいと思っています。 リアクションペーパーを提出する。
	深層心理学について調べましょう(予習、60分)。人間深層心理の中にある、攻撃性や嫉妬などの本能について調べてみよう(復習、60分)。
第8回	3、語りうるものと語りえないもの 英米思想に大きな影響を与えたルートヴッヒ・ウィトゲンシュタインの生涯と著作についてお話しします。リアクションペーパーを提出する。
	20世紀初頭のオーストリアの首都ウィーンはどんな都市だったでしょうか、調べましょう(予習、60分)。 彼はなぜ遺産を寄付し、小学校の教員になったのでしょうか、考えてみましょう(復習、60分)。
第9回	ウィトゲンシュタインの『論理哲学論考』を読む 哲学の目的とはいったい何か、そして、「語りえないもの」とはどのようなものなのかという問題意識を持ちながら彼の『論 理哲学論考』についてお話しします。リアクションペーパーを提出する。
	論理学とはどんな学問でしょうか、調べましょう(予習、60分)。「語りえないものについては沈黙しなければならない」という彼の文章について考えてみましょう(復習、60分)。
	- 4 -

第10回	ウィトゲンシュタインの哲学と神秘主義 哲学に何ができるのでしょうか。倫理的なもの、美的なもの、宗教的なものとは何でしょうか。彼の思想を駆り立てたものと は何でしょうか。一緒に考えましょう。リアクションペーパーを提出する。
	「神秘的なもの」とは具体的にどんなものでしょうか、調べましょう(予習、60分)。伝統的な哲学と彼 120分の哲学違いについて調べましょう(復習、60分)。
第11回	4、存在を忘却した人間はどこに向かうのか? 世間に振り回されて自分の存在(=実存)を忘却してしまった現代人を厳しく批判するドイツの哲学者マルティン・ハイデガー の生涯と著作についてお話しします。リアクションペーパーを提出する。
	大衆社会について調べましょう(予習、60分)。生きることの意味とは一体何でしょうか、考えてみましょう(復習、60分)。
第12回	ハイデガーの『存在と時間』を読む 存在忘却を中心に、彼の著作『存在と時間』について説明します。存在論としての哲学、生の解釈学、現象学などが登場します。リアクションペーパーを提出する。
	「存在論」「解釈学」「現象学」とは何でしょうか、調べましょう(予習、60分)。本来的な存在とはど 120分のような意味を持つか、各自調べてみましょう(復習、60分)。
第13回	ハイデガーの死の存在論と現代社会 人はなぜ自分の有限性、そして真剣に生きることを忘れてしまうのでしょうか。彼の存在の忘却とウィトゲンシュタインの 「神秘的なもの」の現代的な意味について一緒に考えましょう。
	人間にとって「生きること」「死ぬこと」とはどういうことでしょうか、調べましょう(予習、60分)。 ウィトゲンシュタインとハイデガーの哲学観の違い・共通点について調べましょう(復習、60分)。
第14回	5、無こそ存在する——日本哲学と西欧哲学と 日本の代表的な哲学者西田幾多郎の『善の研究』の内容を紹介しながら、西欧哲学と日本哲学の差異と共通点について考えま しょう。リアクションペーパーを提出する。
	西田幾多郎の生涯と思想について調べよう(予習、60分)。存在の哲学と無の哲学について調べよう(復 習、60分)。
第15回	おわりに 現代思想の可能性とその課題 現代哲学の発想を総括し、現代の問題(格差、科学万能、生きることの意味など)について考えます。リアクションペーパーを 提出する。
	現代の哲学的問題としてどのようなものがあるか、新聞やネットなどで調べよう(予習、60分)。現代哲 120分学をもとに現代の問題を考えてみよう(復習、60分)。

授業の方法
講義形式の授業です。資料は随時配布します。毎回講義の最後に、その日の講義についての質問・感想・要望などをリ
アクションペーパーに書き、次の講義の冒頭でそのいくつかを紹介、その質問に応えながら、講義をすすめます。大人 数の講義ですが、基本的に対話形式で授業を進めたいと思います。ですから、毎回リアクションペーパー等を提出して
人ださい。
成績評価の方法
定期試験 100%
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No.39. ・講義で取り扱った事項や知識を確認する。
ご 調義で取り扱った語句について基本知識があるか。
②取り扱った哲学者の基本思想を知っているか。
③現代の哲学問題について基礎知識があるか。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし
テキスト
適宜配布する。
参考書
マルクス『共産党宣言』、岩波文庫
ニーチェ『悲劇の誕生』、岩波文庫
ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』、岩波文庫 ハイデガー『存在と時間』、岩波文庫
西田幾多郎『善の研究』、岩波文庫
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に、喜んで教室で受け付けます。

科目名		哲学の基礎 <2>	
教員名		関口 浩	
科目ナン	バー	1301471010 単位数	2
ロック 配当年次		1 開講時期 2018年度 前期	2
テーマ・			
この講 歴史を概 きます。	義では、ます 観しながら、	げ〈哲学とは何か?〉という基本的な事柄を、ほかのさまざまな学問と比較しながら説明 この学問におけるいくつかの基本概念──自由、歴史、概念、理念、科学、主観性、客観 らもしろさ>を存分に楽しんでもらえるような授業にしたいと思っています。	します。さらに、西洋哲学の 性など―について説明してい
到達目標			
		目身で哲学的に思索できるようになることを目的とします。	
15° 34'. ~ = 1			
	画と準備学修 授業の計画		
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回	哲学とはなり	こか? ソクラテスの思想	•
	テキストの	10頁の言葉を読み、その意味をよく考えておくこと。	30分
第2回	自由(1) モ	ーゼとイエスの思想。	
	旧約聖書・比こと。	出エジプト記の「十戒」の部分と、新約聖書・マタイ伝の「誘惑の山」の箇所を読んでお	5〈 6 0分
第3回	自由(2) プ	ラトンの「洞窟の譬喩」	
	テキストの	「自由」の章、第3節テキストをよく読んでおくこと。	6 0 分

第4回	歴史(1) われわれは「進歩」したのか?「進歩」とは?	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	テキストの「歴史」の章を読んでおくこと。	6 0 分
	/ / / / · / · / · / · / · / · / · / · /	
第5回	歴史(2) パスカルの言葉「もしクレオパトラの鼻が・・・」	
	配付資料のA・トインビーの言葉を読み、その意味をよく考えておくこと。	6 0 分
第6回	個と普遍(1) プラトンのイデア説	
	テキストの「個と普遍」の章、第1節を読んでおくこと。	60分
/r/r 7 ==	/(T) 145 (5) (6)	
第7回	個と普遍(2) アリストテレスによるプラトン批判	
	テキストの「個と普遍」の章、第2節を読んでおくこと。	6 0 分
第8回	ルネサンスにおける<遠近法>の成立とその哲学的意義	ļ
MIOE	がインスに 100万 0 人屋足内との地立とての日子町心我	
		1 0
	「最後の晩餐」ほかのレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画作品を見ておくこと。	6 0 分
第9回	近代科学の勃興とその思想的背景	l
> 1.0 < ==1		
		I o o //
	テキストの「科学の勃興」の章をよく読んでおくこと。	6 0 分

第10回	デカルトの方法論、そして「我思う、ゆえに我あり」							
	テキストの「客観性」の章を読んでおくこと。	60分						
第11回	ヘラクレイトスの思想と弁証法							
	テキストの「弁証法」の章をよく読んでおくこと。	60分						
第12回	芸術の哲学。 マグリットの作品をめぐって	l						
	「光の帝国」ほかのR・マグリットの絵画作品を見ておくこと。	60分						
第13回	死についての省察(1) 「楽園からの追放」をめぐって							
	テキストの「ニヒリズム」の章を熟読しておくこと。	60分						
第14回	死についての省察(2) キューブラ・ロス『死ぬ瞬間』							
	参考資料のキューブラー・ロスの文章をよく読んで、講義の内容について理解を深めること。	60分						
第15回	まとめ							
	今期の講義内容を回想してその意義をよく考えること。	60分						

授業の方法
議義。 絵画や写真、映画などヴィジュアルな資料も必要に応じて使っていきたいと思ってます。
開我。
- 建建設 原の大学
成績評価の方法
授業への積極的な参加を評価する。平常点(授業内レポートなど)20%、定期試験80%
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
いかなる予備知識もとくに求めません。
関連科目は「現代社会と哲学」。
テキスト
『哲学入門以前』、川原栄峰、南窓社、2000円、ISBN4-8165-0054-5 C0010
参考書
左近司祥子 『西洋哲学の10冊』、岩波書店、 819円、ISBN-13: 978-4005006137
プラトン 『ソークラテースの弁明・クリトーン・パイドーン』田中美知太郎他訳、新潮文庫
質問・胡弥太法等(ナフィス・アロー)
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 質問等は授業前・授業後に受け付けます。

科目名	哲学	≥の基礎 <3>						
教員名	瀬戸	- 一夫						
科目ナン		1471010			70 -# -+ #8		単位数	2
配当年次 					開講時期	2018年度		
到達 で で で で で で で で	会・思想的な文服 方に学ぶ。講義し な問題を見て取ら	こあたっては、基本 らなければならなし	S的な概念や伝統 Nかをも考察する。	的な哲学問題(の解説にと	どまること	なく、今日の	の哲学を特徴づけている基本 われわれが現代社会のうちに ることができる(DP1&DP3)。
授業の計	画と準備学修							
	授業の計画・内容 準備学修(予習・名							準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 授業の進め方と?	狙いについて解説す			な背景を概	観する。		
	(予省)シラバス (復習)授業内容(を読み、授業内容 <i>0</i> のイメージを修正し	O概要をイメージ ン、自分に必要な	しておく。 予習の計画づ	くりをする	o		30
第2回	哲学的な思考様							
	(予習)必要に応	じて、前回の授業が	り容を、確認してま	ᢒ く。				60
第3回	古代地中海世界(の社会状況 につい	τ					•
	(予習)前回まで(の授業内容を確認し	、 ておく。					60

第4回	自然論の成立過程	
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
第5回	西欧中世の宗教的文脈	
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
第6回	キリスト教神学の発展	<u> </u>
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
第7回	古代哲学のキリスト教化	
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
第8回	盛期中世の哲学的課題	
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
第9回	晩期中世の問題情況	
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60

第10回	近代哲学の課題			
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60		
第11回	合理論の展開			
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60		
第12回	経験論の問題設定			
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60		
第13回	哲学のコペルニクス革命			
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60		
第14回	近代的な自我の成立とその理論化			
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60		
第15回	. 現代における哲学の可能性			
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60		

担業の士法			
授業の方法 講義形式で行う。	なお、授業の進捗に合わせて、第2[可~第14回の項目を入れ替える。	あるいは変更する場合がある。
H1792/15 = 4 C 13 5 0			
式建設体の大法			
成績評価の方法 学期末試験 受講	能度 ハテスト その他で 総合的し	- 証価する 学期末試験を60パー	-セント、小テストその他を40パーセントの割合で
	。ただし、これはあくまでも目安とす		とうして がり入しての間をもので とうしの副首で
111111111111111111111111111111111111111		,	
成績評価の基準			
	- 基準(学則第39条)に進拠する。/Gr	ades in the course are based	on the criteria of Seikei University
Regulation No.39.			
特に次のことを重視			
・哲学の基本用語が	正確に使えるようになったか。		
・ものことを哲字の	観点からも捉えられる力が獲得された	こか。	
ン <u>悪</u> なる(# feeth / to	MANUEL VERNESS CO.		
必要な予備知識/先 特になし。	惨科日/ 関連科日		
1416.40.			
テキスト 使用しない。			
使用しない。			
参考書			
瀬戸一夫著『無根	拠への挑戦』 (勁草書房) 3,30	0.0円	
	ミンの哲学』 (勁草書房) 2,80		
瀬戸一夫著『科学	的思考とは何だろうか』 (ちくま新		
その他、必要に応じ	て、そのつど紹介する。		
質問・相談方法等(ス			
ポータルサイトで周	知する。		

科目名	倫理学の基礎 <1>	
教員名	的場 哲朗	
科目ナンバー	1401471020	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 後期

道徳や倫理は時代や地域によって変化するのでしょうか、それとも変化しないのでしょうか。世界を見てみますと、 人生観や世界観、さらに労働観や恋愛・結婚観等は多種多様です。とすれば、道徳も倫理も多種多様ということになり そうです。しかし他方で、人を傷つけたり、約束を守ったり、嘘をついたりすることの問題となると、意外に時代や地 域を越えた普遍的な法則がありそうな気もします。はたして真実はどちらなのでしょうか。この問題は倫理学の根幹に かかわる難しいものですが、本講義では、道徳法則の普遍性を力強く説いたカントの倫理学を基本テキストにして倫理 (共同体の中の決まりごと)や道徳(個々人の良心から発した行為規範)などの倫理の問題を歴史的に概観したいと思い ます。

到達日標

- 近代倫理学の歴史が概観できる。
- ・カントの基本的な倫理学用語(理性と感性、自由と必然、傾向と意志、定言命法と仮言命法など)を理解し、現代の生活――生命保存や愛 の問題――の中でそれらがどのように生かされるかを具体的に理解することができる。
- ・カント以降の近代倫理思想史を概観し、現代の喫緊の課題である生命倫理や格差の問題について概観できる。 ・リアクションペーパーを毎回提出することで、自分の意見を論理的な文章でまとめることができる。

授業の計画と準備学修 回数 授業の計画・内容

準備学修(予習·復習等)

準備学修の目安(分)

第1回 本講の目的と概要

私の倫理学との出会いの話から、倫理学の面白さについて話します。次に、「倫理学」の語源(ギリシア語、日本語など)から 倫理学の定義をし、哲学・宗教・物理学との違いと共通点、そして倫理学を学ぶことの現代的な意味についてお話しし、一緒に 議論します。

倫理学と物理学、哲学と宗教について調べよう(予習、60分)。

90分

倫理学的な視点が必要な場面を新聞やネットなどで探してみよう(復習、30分)。リアクションペーパー の提出。

近代と個人の自立 第2回

近代倫理学は個々人の自立から出発します。自立とは何か。世間のしがらみとは何か。皆さんの体験を振り返りながら、「個 人の自立とは何か」についてグループディスカッションをしながら、カントの人格の倫理学を学ぶ意味についてお話しします。

ドイツの哲学者カントの生涯と思想について調べてみよう(予習、60分)。カントの人格論から考える と、行動の規範はどのようになるでしょうか。特に「校則」を思い出しながら、考えてみよう(調査学 習、復習、30分)。リアクションペーパーの提出。

第3回 カントの『道徳形而上学原論』を読もう。

序論を読み、倫理学、物理学、論理学の違い、経験と形而上学の違いについて学びます。文化系と理科系の違いについてディ ベートし、「道徳の形而上学」とはどのようなものかを「人種差別」の問題を事例にして学びます。

『道徳形而上学原論』を読んで、難しい表現や理解できない箇所にチェックしましょう(予習、60分)。 人種差別の問題以外に今日どのような問題があるかを新聞やネットで調べなさい(復習、30分)。リアク ションペーパーの提出。

第4回	「善意志」について学ぼう。 道徳的行為で大切な「意志」について学びます。学問には「知性」、行為には「意志」が大切ですが、「意志」が欠落すると どうなるかを生活の中で具体的に見つけてみよう(発見学習)。では、「知性」と「意志」、理論と実践のどちらが大切でしょう か(グループ・ディスカッション)。
	頭が良いことと意志が強いことについて調べてみよう(予習、30分)。「意志」と「性格」と「幸福」の 関係について調べなさい(調査学習、復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第5回	生命の尊さについて考えよう。 カントは倫理の具体的問題として小売人、友情、生命保存、愛の問題を挙げていますが、なぜカントは「生命の保存」を「義務」と考えたのかをグループ内でディスカッションしましょう。
	小売人、友情、生命保存、愛の問題の個所を読みましょう(予習、60分)。義務の立場から小売人や友情 90分について調べてみよう(復習、30分)。リアクションペーパーの提出。
第6回	現代の生命倫理について考えよう。 出生前診断、IPS細胞の研究の意味についてカントの規範倫理学をもとに考え、現代の哲学者ハーバーマスの「熟議」の意味に ついてディベートしましょう。
	「出生前診断」と「IPS細胞」と思想家ハーバーマスについて調べよう(予習、60分)。、科学の進歩 120分と倫理観の関係について調べましょう(調査学習、60分)(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第7回	「愛」の問題について考えよう。 カントは、愛は義務だと主張します。「好き」と「愛」、感情と義務、感性と理性とはどのようなことかを皆 で考えてみよう(問題解決学習)。エーリッヒ・フロムの『愛することについて』についてもお話します。
	「好き」(like)と「愛」(love)の違いについて調べよう(予習、60分)。エーリッヒ・フロムの『愛する 120分ことについて』を読んでみよう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第8回	カント倫理学の厳格主義のまとめ。 カントの「定言命法」と「仮言命法」を学び、具体的例(人命救助などの)を出して、真の道徳的行為とは何 かを考えます。
	「定言命法」と「仮言命法」について下調べしましょう(予習、30分)。どんなときにも「正直」は正し 60分いのでしょうか、考えてみよう(問題解列学習、復習、30分)。リアクションペーパーの提出。
第9回	ニーチェの道徳批判。 ニーチェは人間の深層心理の立場から道徳の成立を考え、道徳批判を行います。その意味で彼は、カントの厳格主義の対局に 立ちます。彼の『道徳の系譜』を紹介しながら、善悪の意味について皆でデスカッションしましょう。
	「怨恨」(ressentiment)という人間の心理現象について調べよう(予習、30分)。「勝った者が正義で、 負けた者が悪だ」と言われますが、これはどういうことか、日本史や世界史をさかのぼって、考えてみ よう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。

第10回	ベンサムの快楽計算 彼の、「快楽の増大と苦痛の減少」が道徳と立法の原理だという功利主義についてグループディスカッショ ンしましょう。
	功利主義、ベンサムについて調べよう(予習、30分)。自分の経験に照らして、道徳と快楽の関係につい 90分 て考えてみよう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第11回	ヘーゲルの倫理学 ヘーゲルは歴史の弁証法的な発展の中で倫理を考えます。彼の『法の哲学』について説明します。時代に よって倫理は変化するかどうかについてグループディスカッションしましょう。
	ヘーゲルについて調べましょう(予習、60分)。マルクスのヘーゲル批判、トマス・ピケティについて調 120分 ベましょう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第12回	・
	ハイデガーの『存在と時間』について調べよう(予習、30分)。世人の中で生きることと、本来的に生き 90分 ることの違いについて考えよう (復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第13回	性善説と性悪説 孟子の性善説と荀子の性悪説について学び、どちらがより説得的かを皆でディスカッションしましょう。
	孟子と荀子、孔子について調べなさい(予習、30分)。『論語』の言葉や教えが生活の中でいきているこ とを調べてみよう(調査学習、復習、30分)。リアクションペーパーの提出。
第14回	日本の倫理学――和辻哲郎 彼の『人間の学としての倫理学』について話します。彼の、間柄としての倫理学とカントの、人格としての 倫理学との違いについてグループディスカッションをします。
	和辻哲郎について調べなさい(予習、60分)。日本人と西洋人の人間観・倫理観について調べてみよう 120分(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第15回	伝統的な倫理学と現代の倫理問題 現代の倫理的な問題(生命倫理、環境倫理、メディア倫理等)に対する伝統的な倫理学の可能性と問題点についてグループディ スカッションをします。
	現代の倫理問題についてネットや新聞などで調べなさい(予習、60分)。応用倫理学とはどのようなもの 120分かを調べましょう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。

授業の方法
講義が中心になるが、リアクションペーパーを生かし、学生の意見を積極的に聞きながら、ディスカッションもする。
成績評価の方法
試験(100%)
产体结果不甘油
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
・講義で取り扱った事項や知識を確認する。
①カントの基本ワードについて知識があるか
②主要な倫理思想家の基本的な考え方を知っているか。
③現代倫理問題について基礎知識があるか
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし
NIC-6 C
テキスト
『道徳形而上学原論』、カント、岩波書店、648円、SBNコード: 9784003362518
参考書
特になし
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後、喜んで教室で受けます。

科目名	倫理学の基礎 <2>	
教員名	吉原 裕一	
科目ナンバー	1401471020	単位数 2
配当年次	[]	講時期 2018年度 後期

テーマ・概要

人は何を〈よりどころ〉に生きるのか?

このテーマは、日本の現代社会に生きる我々にとって、切実な問題であるといえます。諸君は「自分とはなにものなのか」を語る言葉を持っているでしょうか。グローバルな視点から言えば、世界の多くの人々は自分のアイデンティティを、信仰する宗教、自国の歴史、民族の伝統的文化などによって説明します。しかし、我々のほとんどはそういうわけにはいかないでしょう。アイデンティティとは、自分が逆境にあって挫折感や絶望感におそわれたときに、それでも歯を食いしばって立ち上がる力、すなわち「生きる力」を自分に与えるものです。順調な人生では、とくに自覚する必要もないままでいられるかもしれませんが、非常事態に直面してから、それをあわてて求めても無意味です(火事になってから消火器を買いに走るようなもの)。学問が人の人生を幸福にするものであると仮定するのなら、自分が生きる〈よりどころ〉を自覚して確立する方法を学ぶことは、全ての人に必要な学問であるということになるでしょう。厳しい現実ですが、人はみないつかは死すべきさだめを負うているからです。我々は、自分の死を見すえた上で、自分にとってのよりよい生、そして幸福を模索すべきなのではないでしょうか。

この講義では、倫理学という学問について、「自己を知る」ことを出発点とし、共に考えてゆくことを目指しています。材料とするのは、日本の古代から近現代にわたる思想や文献です。それらを単なる知識として吸収するのではなく、「それが現在の自分にどのように関わっているか」という視点から、諸君自身に独力で考察を深めてもらいます。あとはその方法に客観性や精度といった修正を加えつつ、最終的にレポートという形で諸君自身について語れるよう、「自身の生きる〈よりどころ〉」を再確認する考察力を養ってほしいと願っています。

到達日標

- ・倫理学という学問の方法を理解する。
- ・自己や社会について、確かな根拠に基づいて論理的に考える力を身につける。
- ・日本の過去の思想と、現代社会ならびに自己とがどのように関連しているのかを学ぶ。

授業の計画と準備学修 回数 授業の計画・内容 準備学修(予習·復習等) 準備学修の目安(分) 第1回 【ガイダンス】 ・講義の全体像、進め方、学修の目的と評価基準について 思想/哲学/宗教/道徳/倫理の相違点 ・現代日本において、日本の過去の思想を学ぶ意義 【予習】シラバスを読み、講義内容を把握しておく。 【復習】ガイダンスでの説明から、講義の全体像を確認する。この講義で、評価に関して修得を求めら れている事柄を理解する。 【他者理解のために I】 第2回 一神教と多神教 ・なぜ宗教によって戦争が起こるのか ・キリスト教と『旧約聖書』の世界観 【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の 60 講義内容を確認する。 第3回 【他者理解のために Ⅱ】 ・愛/恋/情の相違点 ・アガペー(キリスト教)、慈悲(仏教)、仁(儒学)の、現代日本社会における可能性 【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の 60 講義内容を確認する。

第4 四	【日本人の死生観 I】 ・我々はどこから来て、どこへ往くのか? ・伝統的な死生観(神道/仏教/儒学) ・現代的な死後の行方のデフォルトとは
	【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の 60 講義内容を確認する。
第5回	【親子という思想 I】 ・和辻哲郎による「二人共同体」「三人共同体」の概念 ・「親/子」は(事実でなく)思想によって成り立つ
	【予習・復習】前回までに配付されたテキスト資料について精読し、あらかじめ問題として提起された 90 事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の講義内容を確認する。
第6回	【親子という思想 II】 ・「親が子を育てる」ことの本質はなにか ・「親」が「子を育てる」ものだとすれば、では「子」は何をなすべきなのか
	【予習・復習】前回までに配付されたテキスト資料について精読し、あらかじめ問題として提起された 90 事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の講義内容を確認する。
第7回	【夫婦という思想 I】 ・夫婦という人倫の、形式と本質 ・人の夫となり、人の妻となることの難しさ
	【予習・復習】前回までに配付されたテキスト資料について精読し、あらかじめ問題として提起された 90 事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の講義内容を確認する。
第8回	【インターミッション】 ・小テスト ・ここまでの講義内容のおさらい ・自己の行為と責任について ・「自己実現」の落とし穴
	【予習・復習】ここまでの講義内容についてふりかえる。提示された小テスト課題について、復習と準 備をしておく。
第9回	【夫婦という思想 II】 ・「苦楽をともにする」とはどのような倫理的営為なのか ・人の夫となり、人の妻となることの易しさ
	【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の 60 講義内容を確認する。

第10 四	【日本人の死生観 II】 ・タナトス(死への衝動)がもたらす絶望と希望 ・「同じ蓮の台」という思想の構造 ・自己の生を支えるもの	
	【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の 講義内容を確認する。	90
第11回	【自己と超越 I】 ・武士道における「主従の契」の思想 ・自分を愛するからこそ他者のために生きる 【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の	60
	講義内容を確認する。	
第12回	【自己と超越 Ⅱ】 ・死線を越えて生きる思想—武士道における「恋」 ・真の「自己実現」をめざして ・道はどこでもなく、ここにしか無い(伊藤仁斎)	
	【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の 講義内容を確認する。	60
第13回	【日本人の心情倫理 I】 ・規範倫理と心情倫理 ・知ることと信じることの違い ・我々は「どうやって」他者や何かを信じるのか	
	【予習・復習】前回の講義で、問題として提起された事柄について、自分なりの考察を試みる。今回の 講義内容を確認する。	60
第14回	【日本人の心情倫理 II】 ・「何のために生きるか」と「誰がために生きるか」 ・「色即是空/空即是色」の智恵 ・心の中に身体があるというパラダイム(中江藤樹)	
	【予習・復習】これまでの講義内容の全体をふりかえり、おさらいする。提示されたレポート課題について考察し、考えを整理しておく。	180
第15回	【総括】 ・普遍とは、一般ではなく特殊においてのみ実現の可能性をもつ ・人間として生きることの意味	
	【予習・復習】レポートを完成させ、授業開始時に提出する。	レポート執筆にかかる、 各人の努力によって、時 間は異なります。

・配付するレンメや講義資料をもとに、講義の形式で進めてゆきます。適宜、祝聴見資料を用います。 ・学期末レポートでは、学修内容の理解度と、問題を自分の力で論理的に考察して論じることができているかどうか、かつ、それが倫理学の方法に拠っているかどうかという点を評価します。第8回で実施する小テストの結果を見て、必要があれば自分の学修姿勢を軌道修正してください。
・講義に関する要望や不満については、配付するリアクションペーパーで知らせてください。可能な限り、対応したいと思います。それにより、講義内容や進捗状況を調整することもあります。
成績評価の方法
学期末レポート(60%)、小テスト(10%)、授業内でのミニレポート(前回に問題を提示)などによる平常点(30%)を基本とします。ただし、授業への出席回数が10回に満たない場合、また出席に関して不正な行為が認められた場合は、原則として単位認定はできません。なお、努力点としてプラスに評価すべき要素があれば、それも勘案して総合的に評価します。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠します。具体的な事柄については、「授業の方法」を参照してください。
<u>必要な予備知識/先修科目/関連科目</u> 予備知識は必要としません。日本の過去の思想に、直接自分で触れていただきたいので古い文献も取り上げますが、基本的には現代語訳を
付けますので、古文が苦手な人も臆することなく学んでほしいと思います。
<u>テキスト</u> 特になし。毎回、レジメや講義資料として、プリントを配付します。
参考書 講義の中で、受講生の動向を見ながら、適宜指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了時に、教室で受け付けます。

科目名	倫理学の基礎 <3>	
教員名	的場 哲朗	
科目ナンバー	1401471020	単位数 <mark>2</mark>
配当年次	1	開講時期 2018年度 前期

道徳や倫理は時代や地域によって変化するのでしょうか、それとも変化しないのでしょうか。世界を見てみますと、 人生観や世界観、さらに労働観や恋愛・結婚観等は多種多様です。とすれば、道徳も倫理も多種多様ということになり そうです。しかし他方で、人を傷つけたり、約束を守ったり、嘘をついたりすることの問題となると、意外に時代や地 域を越えた普遍的な法則がありそうな気もします。はたして真実はどちらなのでしょうか。この問題は倫理学の根幹に かかわる難しいものですが、本講義では、道徳法則の普遍性を力強く説いたカントの倫理学を基本テキストにして倫理 (共同体の中の決まりごと)や道徳(個々人の良心から発した行為規範)などの倫理の問題を歴史的に概観したいと思い ます。

到達日標

- 近代倫理学の歴史が概観できる。
- ・カントの基本的な倫理学用語(理性と感性、自由と必然、傾向と意志、定言命法と仮言命法など)を理解し、現代の生活――生命保存や愛 の問題――の中でそれらがどのように生かされるかを具体的に理解することができる。
- ・カント以降の近代倫理思想史を概観し、現代の喫緊の課題である生命倫理や格差の問題について概観できる。 ・リアクションペーパーを毎回提出することで、自分の意見を論理的な文章でまとめることができる。

授業の計画と準備学修

回数 授業の計画・内容

> 準備学修(予習·復習等) 準備学修の目安(分)

第1回 本講の目的と概要

私の倫理学との出会いの話から、倫理学の面白さについて話します。次に、「倫理学」の語源(ギリシア語、日本語など)から 倫理学の定義をし、哲学・宗教・物理学との違いと共通点、そして倫理学を学ぶことの現代的な意味についてお話しし、一緒に 議論します。

倫理学と物理学、哲学と宗教について調べよう(予習、60分)。

90分

倫理学的な視点が必要な場面を新聞やネットなどで探してみよう(復習、30分)。リアクションペーパー の提出。

近代と個人の自立 第2回

近代倫理学は個々人の自立から出発します。自立とは何か。世間のしがらみとは何か。皆さんの体験を振り返りながら、「個 人の自立とは何か」についてグループディスカッションをしながら、カントの人格の倫理学を学ぶ意味についてお話しします。

ドイツの哲学者カントの生涯と思想について調べてみよう(予習、60分)。カントの人格論から考える と、行動の規範はどのようになるでしょうか。特に「校則」を思い出しながら、考えてみよう(調査学 習、復習、30分)。リアクションペーパーの提出。

第3回 カントの『道徳形而上学原論』を読もう。

序論を読み、倫理学、物理学、論理学の違い、経験と形而上学の違いについて学びます。文化系と理科系の違いについてディ ベートし、「道徳の形而上学」とはどのようなものかを「人種差別」の問題を事例にして学びます。

『道徳形而上学原論』を読んで、難しい表現や理解できない箇所にチェックしましょう(予習、60分)。 人種差別の問題以外に今日どのような問題があるかを新聞やネットで調べなさい(復習、30分)。リアク ションペーパーの提出。

第4回	「善意志」について学ぼう。 道徳的行為で大切な「意志」について学びます。学問には「知性」、行為には「意志」が大切ですが、「意志」が欠落すると どうなるかを生活の中で具体的に見つけてみよう(発見学習)。では、「知性」と「意志」、理論と実践のどちらが大切でしょう か(グループ・ディスカッション)。
	頭が良いことと意志が強いことについて調べてみよう(予習、30分)。「意志」と「性格」と「幸福」の 関係について調べなさい(調査学習、復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第5回	生命の尊さについて考えよう。 カントは倫理の具体的問題として小売人、友情、生命保存、愛の問題を挙げていますが、なぜカントは「生命の保存」を「義務」と考えたのかをグループ内でディスカッションしましょう。
	小売人、友情、生命保存、愛の問題の個所を読みましょう(予習、60分)。義務の立場から小売人や友情 90分について調べてみよう(復習、30分)。リアクションペーパーの提出。
第6回	現代の生命倫理について考えよう。 出生前診断、IPS細胞の研究の意味についてカントの規範倫理学をもとに考え、現代の哲学者ハーバーマスの「熟議」の意味に ついてディベートしましょう。
	「出生前診断」と「IPS細胞」と思想家ハーバーマスについて調べよう(予習、60分)。、科学の進歩 120分と倫理観の関係について調べましょう(調査学習、60分)(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第7回	「愛」の問題について考えよう。 カントは、愛は義務だと主張します。「好き」と「愛」、感情と義務、感性と理性とはどのようなことかを皆 で考えてみよう(問題解決学習)。エーリッヒ・フロムの『愛することについて』についてもお話します。
	「好き」(like)と「愛」(love)の違いについて調べよう(予習、60分)。エーリッヒ・フロムの『愛する 120分ことについて』を読んでみよう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第8回	カント倫理学の厳格主義のまとめ。 カントの「定言命法」と「仮言命法」を学び、具体的例(人命救助などの)を出して、真の道徳的行為とは何 かを考えます。
	「定言命法」と「仮言命法」について下調べしましょう(予習、30分)。どんなときにも「正直」は正し 60分いのでしょうか、考えてみよう(問題解列学習、復習、30分)。リアクションペーパーの提出。
第9回	ニーチェの道徳批判。 ニーチェは人間の深層心理の立場から道徳の成立を考え、道徳批判を行います。その意味で彼は、カントの厳格主義の対局に 立ちます。彼の『道徳の系譜』を紹介しながら、善悪の意味について皆でデスカッションしましょう。
	「怨恨」(ressentiment)という人間の心理現象について調べよう(予習、30分)。「勝った者が正義で、 負けた者が悪だ」と言われますが、これはどういうことか、日本史や世界史をさかのぼって、考えてみ よう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。

第10回	ベンサムの快楽計算 彼の、「快楽の増大と苦痛の減少」が道徳と立法の原理だという功利主義についてグループディスカッショ ンしましょう。
	功利主義、ベンサムについて調べよう(予習、30分)。自分の経験に照らして、道徳と快楽の関係につい 90分 て考えてみよう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第11回	ヘーゲルの倫理学 ヘーゲルは歴史の弁証法的な発展の中で倫理を考えます。彼の『法の哲学』について説明します。時代に よって倫理は変化するかどうかについてグループディスカッションしましょう。
	ヘーゲルについて調べましょう(予習、60分)。マルクスのヘーゲル批判、トマス・ピケティについて調 120分 べましょう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第12回	・
	ハイデガーの『存在と時間』について調べよう(予習、30分)。世人の中で生きることと、本来的に生き 90分 ることの違いについて考えよう (復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第13回	性善説と性悪説 孟子の性善説と荀子の性悪説について学び、どちらがより説得的かを皆でディスカッションしましょう。
	孟子と荀子、孔子について調べなさい(予習、30分)。『論語』の言葉や教えが生活の中でいきていることを調べてみよう(調査学習、復習、30分)。リアクションペーパーの提出。
第14回	日本の倫理学――和辻哲郎 彼の『人間の学としての倫理学』について話します。彼の、間柄としての倫理学とカントの、人格としての 倫理学との違いについてグループディスカッションをします。
	和辻哲郎について調べなさい(予習、60分)。日本人と西洋人の人間観・倫理観について調べてみよう (復習、60分)。リアクションペーパーの提出。
第15回	伝統的な倫理学と現代の倫理問題 現代の倫理的な問題(生命倫理、環境倫理、メディア倫理等)に対する伝統的な倫理学の可能性と問題点についてグループディ スカッションをします。
	現代の倫理問題についてネットや新聞などで調べなさい(予習、60分)。応用倫理学とはどのようなもの 120分かを調べましょう(復習、60分)。リアクションペーパーの提出。

授業の方法
講義が中心になるが、リアクションペーパーを生かし、学生の意見を積極的に聞きながら、ディスカッションもする。
成績評価の方法
試験(100%)
产体结果不甘油
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
・講義で取り扱った事項や知識を確認する。
①カントの基本ワードについて知識があるか
②主要な倫理思想家の基本的な考え方を知っているか。
③現代倫理問題について基礎知識があるか
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし
NIC-6 C
テキスト
『道徳形而上学原論』、カント、岩波書店、648円、SBNコード: 9784003362518
参考書
特になし
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後、喜んで教室で受けます。

된 모 & -		立世 。 の切は - ノ1 >	
科目名 教員名		文学への招待 <1> 桜井 宏徳	
从只们		טון בא וי אפוי	
科目ナン	バー	1201471050 単位数	2
配当年次		1 開講時期 2018年度 後期	
テーマ・			
	の和歌を読む	ご* 5歌人の一人であり、初めての勅撰和歌集『古今和歌集』の編纂を主導したほか、同じく	初めての日記文学である『+
佐日記』	を著すなど、	仮名文学の事実上の創始者として日本の文学・文化史上に大きな足跡を残した紀貫之の	
		『貫之集』『土佐日記』の和歌を扱います。 · 鑑賞することを通じて、その後の古典和歌の規範となった『古今和歌集』時代の和歌の	さまざまか実現と祭相の特色
			てよてよな孜然と光心の行亡
지 '축 디 /프			
到達目標 紀貫之		ぶことを通じて、日本人の美意識の原点ともいわれる『古今和歌集』時代の和歌の世界に	ついて理解を深めるととも
		りようなものであるのかについての基礎知識を身につけ、各自で和歌を鑑賞できるように	
授業の計	画と準備学修	<u></u>	
回数	授業の計画	・内容	
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回	紀貫之概説	(ガイダンスを含む)	
	【復習】プロ	リント・ノート等による授業内容の確認	60
第2回	『古今和歌의	集』仮名序	1
	【復習】プリ	ノント・ノート等による授業内容の確認	60
第3回	歌人としての	D始発	
	【復習】プロ	ノント・ノート等による授業内容の確認	60

第4回	表現の模索	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
第5回	『古今和歌集』前夜	
第 0回	百亏和歌朱』削仪	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
	EXEL P 7 P 1 V 1 V 1 T V 1 E V NEUD	
*** o ==		
第6回	『古今和歌集』の春の歌	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
	「後日】フリント・ノート寺による技术内台の推診	00
第7回	『古今和歌集』の秋・冬の歌	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
	【後白】 ノリント・ノート寺による技术内台の唯能	00
第8回	『古今和歌集』の恋の歌	
第8回		
第8回		60
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
第8回		60
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認 『古今和歌集』の離別・羇旅・哀傷・雑の歌	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認 『古今和歌集』の離別・羇旅・哀傷・雑の歌	60
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認 『古今和歌集』の離別・羇旅・哀傷・雑の歌	

第10回	『貫之集』の屛風歌(一)	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
第11回	『貫之集』の屛風歌(二)	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
第12回	『貫之集』の恋・雑の歌	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
第13回	『土佐日記』の船旅の歌	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
第14回	『土佐日記』の女児哀悼と貫之の喪失感	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60
第15回	『貫之集』に見る晩年の歌風と辞世の歌	
	【復習】プリント・ノート等による授業内容の確認	60

講義形式で行います。毎回配布するプリント(B4×2枚が基本です)と板書をもとに、講義を進めてゆきます。 成績評価の方法 学期末試験75%・平常点(授業への参加状況など)25%によって評価します。 **並績評価の基準** 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠します。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. 必要な予備知識/先修科目/関連科目 引用した古典作品には現代語訳を付すなど、日本の古典文学に馴染みのない履修者にも配慮して授業を進めますので、特に予備知識は必 要ありません。高校や大学受験で学んだ程度の古文の知識があれば充分です。ただし、常に関心と意欲を持って授業に臨むように心がけてください。文学部日本文学科所属の方は、他の平安文学に関する科目とあわせて履修すると、より理解が深まります。 なお、私語は他の履修者の学習の妨げとなりますので、厳に慎んでください。 特定のテキストは指定しません。毎回教材としてプリントを配布します。 参考書 講義に際してよく参照するものとして、以下の書籍を挙げておきます。☆印を付けたものは初心者でも読みやすい本です。 【古典和歌の基礎知識】 ☆渡部泰明 編『和歌のルール』 (笠間書院、2014年) ☆渡部泰明 著『和歌とは何か』〈岩波新書〉(岩波書店、2009年) 【貫之の伝記・評伝】 ・ 藤岡忠美 著『紀貫之』 〈講談社学術文庫〉 (講談社、2005年) 神田龍身 著『紀貫之 あるかなきかの世にこそありけれ』 〈ミネルヴァ日本評伝選〉 (ミネルヴァ書房、2009年) 【貫之の和歌の鑑賞】

☆田中登 著『紀貫之』〈コレクション日本歌人選005〉(笠間書院、2011年)

【『古今和歌集』のテキスト】

小町谷照彦 訳注『古今和歌集』〈ちくま学芸文庫〉(筑摩書房、2010年)

【『貫之集』のテキスト】

木村正中 校注『土佐日記 貫之集』〈新潮日本古典集成〉(新潮社、1988年)

【『土佐日記』のテキスト】

☆西山秀人 編『土佐日記(全)』〈角川ソフィア文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典〉(角川学芸出版、2007年)

授業時および授業の前後に随時受け付けます。

科目名		文学への招待 <2	>				1
教員名		太西 雅一郎	-				
科目ナン		1201471050		月月三井 7十 廿			2
配当年次		1		開講時期	2018年度 後	**7	
テーマ・ この講義		こ古代から現代まで	・のヨーロッパの文学をと	りあげます。異なる	時代背景や、多	を様な政治的	・宗教的あるいは思想的な
			が現実の状況・制度に対				1,1,1,1,1,1
제 농 다 분							
到達目標 DP1・		ーーーー 売解を通して、さま	ざまな時代の社会や制度	更 で、人間がお	かれた状況を理	里解できる。	
DP3 •	多様な文化し	こ触れ、思想的な問	いかけも行いつつ相互理 に、新たな世界の可能性	里解を深める。			
DP5.	又字が提起!	9 る问想掟起をもと	に、新にな世界の可能性	EICPIT(日Cの息兄	を発信じさる。		
	·画と準備学値 授業の計画						
	授業の計画 準備学修(予						準備学修の目安(分)
		アブラハム、モーセ	 z、文学の起源				十二十一一一
	取り扱うテ・	ーマについて予備知	1識を得ておくこと				90
第2回	ギリシア悲ル	<u></u> 劇、ソフォクレス					
	前回の授業	内容の復習と次回テ	ーマの予備知識の習得				120
第3回	シェイクス	ピアに様々な問題提	昆起を読む				
	前回の授業	内容の復習と次回テ	ーマの予備知識の習得				120

第4回	『社会契約論』の著者ジャン=ジャック・ルソー、真実を語るとはどういうことか				
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120			
第5回	グリム兄弟、メルヘンとドイツ語辞書				
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120			
第6回	ドストエフスキー、ロシアの文学				
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120			
第7回	『シャーロック・ホームズ』の作者コナン・ドイル				
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120			
第8回	ボルヘス、ラテンアメリカの文学				
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120			
第9回	プルーストと『失われた時を求めて』				
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120			

第10回	カフカ、プラハのユダヤ人、『変身』の謎	
	**************************************	1100
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120
第11回	アラブの文学	
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120
第12回	ジェイムズ・ジョイス、言語の解体と創造	
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120
	の回の以来でもの後日と久日)(の)間が眺め日内	120
第13回	ムーミン作家、トーベ・ヤンソン	
	**************************************	1100
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	
		120
		120
		120
		120
		120
第1/回	ジャン・ジュネ 故治作家の軸跡	120
第14回	ジャン・ジュネ、放浪作家の軌跡	120
第14回	ジャン・ジュネ、放浪作家の軌跡	120
第14回	ジャン・ジュネ、放浪作家の軌跡	120
第14回		
第14回	ジャン・ジュネ、放浪作家の軌跡 前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	120
第14回		
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	
第14回	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得	
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得 プリーモ・レーヴィ、アウシュヴィッツを証言すること	
	前回の授業内容の復習と次回テーマの予備知識の習得 プリーモ・レーヴィ、アウシュヴィッツを証言すること	120

授業の方法
基本的には講義形式で行う。部分的に映像資料を用いる。
成績評価の方法
毎回の授業内容のメモを、各回の授業終了時に提出する(75%)。
授業で扱った作品ないし文学者の作品を一つ読み1500字程度の感想文を提出する(25%)。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。
灰灰八子の灰根計 盛年(子別分30末)に午近する。
欧米の文学・社会・歴史に関連する科目。
KAVAT LA EXCIPE ON O
テキスト 使用しません。
既用しません。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<u>参考書</u>
適宜、指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。
ボータルサイトで周知する。

科目名	文学への招待 <3>	
教員名	原善	
科目ナンバー	1201471050	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 前期

テーマ・概要

最も現代的な超人気作家である村上春樹の超短篇の幾つかを読み味わう。

とうてい長篇作品を取り扱う時間がないなかで、長篇のテーマとも相通じる超短篇の読解を通して、村上春樹文学の本質に迫りつつ、文学の魅力や、各作品がテーマとする現代の様々な問題についても考える。

春樹作品の魅力を明らかにするためにも、他作家の作品(例えば秦恒平「加賀少納言」、M・エンデ「はてしない物語」、江戸川乱歩「人間椅子」、葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」等)と読み比べることもしてみたい。

到達目標

村上春樹の超短篇の魅力を存分に味わうこと、そのことで村上春樹の文学の本質に迫ること、をとりあえずの目標にしつつ、文学なるものの魅力や本質への理解も目指してもらいたい。

(対照読解)という方法の中で、相異なる2つのものを比較して共通点・相違点を炙り出すことで固定的な物の見方を斥ける、相対的・ 総体的な視点も養いたい。

授業の計	ナ画と準備学修	
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	1 ガイダンス。村上春樹の文学の概説。 「夜中の汽笛あるいは物語の効用について」読解	
	【予習】シラバスをよく読んで、授業の進め方を理解しておく。また、これまで読んだことのある村上 春樹作品の内容を思い出しておく。 【復習】村上春樹作品の本質を他の作品などで確認しておく。	. 60分
第2回	「四月の晴れた朝に100%の女の子に出会うことについて」の読解と映画鑑賞 (以下順不同)	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。	60分
第3回	「鏡の中の夕焼け」読解	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす る。	60分

第4回	「鏡」読解
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。
第5回	
æ.	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。
第6回	【 「FUN、FUN、FUN」読解
X3.0	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。
第7回	
м. Е	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。
第8回	「スパゲティー工場の秘密」読解
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。
第9回	「グッド・ニュース」読解
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。

第10回	「ビール」読解	
	【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす	60分
	<u> </u>	
第11回	「とんがり焼の盛衰」読解	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす	60分
	る 。	
第12回	「バースデー・ガール」読解	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす	60分
	る 。	
第13回	「パン屋襲撃」の読解と映画鑑賞	
第13回	「パン屋襲撃」の読解と映画鑑賞	
第13回		
第13回	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす	60分
第13回	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。	60分
第13回	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす	60分
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす る。	60分
第14回	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす	60分
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす る。	60分
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解	60分
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。	
第14回	 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サプテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】配布された英訳と対照するなりして授業内容の確認をする。 	
	【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。	
第14回	 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サプテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】配布された英訳と対照するなりして授業内容の確認をする。 	
第14回	 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】配布された英訳と対照するなりして授業内容の確認をする。 「ジョン・アプダイクを読むための最良の場所」読解 	60分
第14回	 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」誘解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】配布された英訳と対照するなりして授業内容の確認をする。 「ジョン・アブダイクを読むための最良の場所」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす 	
第14回	 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】配布された英訳と対照するなりして授業内容の確認をする。 「ジョン・アプダイクを読むための最良の場所」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 	60分
第14回	 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をする。 「ふわふわ」誘解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】配布された英訳と対照するなりして授業内容の確認をする。 「ジョン・アブダイクを読むための最良の場所」読解 【予習】前時の授業内容を振り返り、配布されたプリントで作品を読んでおく。 【復習】サブテキスト(『村上春樹超短篇小説案内』)の該当章を読むなりして授業内容の確認をす 	60分

授業の方法
技業の方法 基本的にはパワーポイント(あるいは電子紙芝居?)での講義形式を中心とするが、その読みを相対化すべく各自の読みを対照させる形
の、積極的な参加を促していきたい。 他ジャンルとの対照という意味でも、春樹作品を映像化したものの鑑賞も取り入れて、原作と映像作品とを対照させながら、原作の問題 を透かし出してみることも行ないたい。
成績評価の方法
受講者数によっては学期末にレポートを課すこともありうるが、基本的には毎授業時に提出した小課題の点数の合計という平常点のみで評価を行なう予定である。毎回の課題については WebClass を使いフィードバックしていくので参考にされたい。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。
处于4·元件的统义。/ h. Mr. 5·10 口 / 18·15·15·10 口
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特にないが、当該作品のテーマと対比できるような作品(文学に限らない映画や漫画などでも)を頭の中から呼び起こせるように普段から
の幅広い読書(をはじめとする文化享受)を行なっておくことを希望する。
テキスト
授業内でプリントを配布する。もっと早目の準備のために収録書を購入するなら、『カンガル一日和』(講談社文庫)『夜のくもざる』
(新潮文庫) 『象工場のハッピーエンド』 (新潮文庫) などに収められている。
参考書
参考書:『村上春樹作品研究事典改訂版』 村上春樹研究会編 鼎書房 4,000円 『村上春樹がわかる。』 アエラムック 朝日新聞社 1,200円 『村上春樹超短篇小説案内』 波瀬蘭著 学研パブリッシング 1,300円 『ゼロからわかる村上春樹』 学研ムック 学研パブリッシング 980円

質問・相談方法等(オフィス・アワー) 質問等は授業前・授業後に受け付けるが、電子メールでも随時受け付けている。

科目名	心理学の基礎 <1>			
教員名	高岡 佑壮			
科目ナンバー	1301471030		単位数	2
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期	

○理学は、得られたデータをもとにして、こころの性質や働きを科学的に探究する学問である。心理学の代表的な研究対象は、知覚、 記憶、学習、発達、性格、対人関係などを含み、多様な領域に広がっている。 本講義では、こうした代表的な研究領域を概説するとともに、それぞれの研究領域において基礎となる知見を紹介することを目的と する。 なお、心理学を初めて学ぶという人たちにも理解しやすいよう、体験ワークを実施したり、なるべく身近で具体性に富むエピソード等を紹介しながら授業を進める予定である。 また、授業の進捗や受講生の希望および担当教員の判断によって、内容を一部変更する場合がある。

到達目標

心理学の初歩に位置付く本授業では、以下の目標が達成されることを期待する。

- (1)心理学(および科学)の基本的な知識や考え方を身につけること。
- (2) 自己理解および他者理解のために、心理学の知識を活用できるようになること(およびその限定性を知ること)。

光のき				
乗の記 数	†画と準備学修 授業の計画・内容			
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)		
1回	イントロダクション ・授業の内容、進め方、評価、予習・復習の仕方等を知る			
	【復習】授業で紹介した内容を振り返り、理解する。	【復習】60		
2回	心理学の歴史 ・心理学の発展の歴史を学び、心理学の現状を知る ・人の心の動きがどのように解明されようとしてきたかに ついて学ぶ			
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるようにする。	【予習】10 【復習】50		
3回	心理学の方法 ・心理学の研究法を学ぶ ・心の動きや心のメカニズムについて科学的に研究(検討) するための発想と方法論を学ぶ			
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるようにする。	【予習】10 【復習】50		

hh 4	awa u u s s
第4回	脳のはたらき ・心と脳の関係について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるようにする。
第5回	感覚と知覚 ・人が世界をどのように体験し、認識するのかについて学ぶ ・モノの見え方 (視覚) の特徴と錯覚について理解する
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ うにする。
第6回	学習 ・経験によって人の行動はどのように変わるのかを学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ うにする。
第7回	記憶 ・人はどのようにモノを覚え、忘れるのかを知る ・記憶の種類や特徴を知る ・記憶法について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ うにする。
第8回	思考と言語 ・心の働きにおけることばの獲得とその役割を知る
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ うにする。
第9回	第9回 動機づけ ・人が行動を起こすメカニズムを学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるようにする。

hh 4 0	bit the (4) aman Am
第10回	性格(1) 理論編 ・性格を理解するための理論を学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ 一ドを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ 【復習】50 うにする。
第11回	性格(2) 実践編
	・性格を把握、測定するための方法を学び、体験する
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ 【復習】50
	「後首」授業で紹介した主要トピックやキーグ 一下を振り返り、理解を決めるとともに説明できるよ 【後首】50 うにする。
第12回	性格(3) 様々な性格理論 ・性格を把握するための多様な理論や枠組みを学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ 【復習】50 うにする。
	المارية
第13回	
	・人の心がどのように発達するのかを学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ【復習】50
	うにする。
第14回	社会心理学 ・人間関係・対人関係・組織における人の心の動きについて 学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ 【復習】50 「食習」である。
第15回	授業のまとめ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】50 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワ ードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよ 【復習】50
	「後音」授業で紹介した主要トピックやキーケートを振り返り、理解を決めることもに説明できるよー【後音】50 うにする。

授業は講義中心に進める。授業において毎回、レスポンスシートの提出を求める。普段からプリントを使った復習に力を入れ、学んだ内容 の整理に努めること。また、上で示された準備学修の時間はあくまで目安であって、各自の理解度に応じて取り組むこと。 ンスシート、期末テストの狙いは以下のとおりである。

- ・レスポンスシート: 各授業に参加して、学んだこと、感じたこと、思ったこと、疑問点を言語化し、各自の整理をすすめる(なお、必要に応じて、レスポンスシートの内容に対するフィードバックを次の回の講義で実施する)。
- ・期末テスト∶授業全体の学修内容についての理解度を確認する。

出欠確認のためにハンディターミナルカードリーダーを使用するため、必ず学生証を持参し、かざしてから授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業への参加状況やレスポンスシートの提出状況などの平常点(40%)、期末テスト(60%)、により総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

次の点に着目し、その到達度により評価する。

- (1) 心理学(および科学) の基本的な知識や考え方を身につけること。
- (2) 自己理解および他者理解のために、心理学の知識を活用できるようになること(およびその限定性を知ること)。

必要な予備知識/先修科目/関連科目 必要な予備知識・先修科目:特になし

関連科目:自己理解の心理学/こころの健康と臨床/脳科学と心

特になし。なお、各回のレジュメは事前にSeikei Portalにアップロードされるので、各自でダウンロードをした上で、それを印刷・持参 して授業に臨むこと。

特になし。必要に応じて、授業の中で紹介する。

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	心理学の基礎 <2>	
教員名	岩田 淳子	
科目ナンバー	1301471030	単位数 2
配当年次	1	

心理学は、これまで得られたデータや事実をもとにして、こころの性質や働きを科学的に探究する学問である。心理学の代表的な研究対象は、知覚、記憶、学習、発達、性格、対人関係などを含み、多様な領域に広がっている。

そこで、本講義では、こうした代表的な研究領域を概説するとともに、それぞれの研究領域において基礎となる知見を紹介することを目 的とする。

なお、心理学を初めて学ぶという人たちにも理解しやすいよう、体験ワークを実施したり、なるべく身近で具体性に富むエピソード等を 紹介しながら授業を進める予定である。

また、授業の進捗や受講生の希望および担当教員の判断によって、内容を一部変更する場合がある。

到達目標

心理学の初歩に位置付く本授業では、DP1(教養の習得)、DP2(課題の発見と解決)、DP3(他者との協働)を実現するために、以下を達 成目標とする。

- 3.1 (グライン) (1) 心理学(および科学)の基本的な知識や考え方を身につけること。 (2)自己理解および他者理解のために、心理学の知識を活用できるようになること(およびその限定性を知ること)。

	十画と準備学修	
]数	授業の計画・内容 準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
10	オリエンテーション	卒哺子修の日女(カ)
, I 🖭	・授業の内容、進め方、評価、予習・復習の仕方等を知る。	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。	【復習】50
	【復習】授業の全体像や進め方、評価基準等について確認する。	
2回	心理学の歴史的起源	
	・心理学の歴史を作り上げてきた重要な考えや論争について解説する	
	・現代心理学の枠組みを理解する。	
		ि च गर्भ । ०
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう	【予習】10 【復習】50
	にする。	
30	感覚過程と知覚	1
	・感覚は心理学的な水準でどのように経験されるのかについて解説する	
	・知覚を注意、定位、再認、抽象化、恒常性の問題から解説する。	
	【柔羽】 訪业次剉 たが占いロードレープロントフトレナ しゃ 一楽リーロナ楽し マハノ	[2 33] 10
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう	【予習】10 【復習】50
	にする。	

45.41	辛 強
第4回	意識 ・意識のさまざまな側面について解説する。 ・睡眠の習慣や段階、夢を見る目的についてフロイトの考え方を説明する。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第5回	学習と条件づけ ・馴化・古典的条件づけ・道具的(オペラント)条件づけ、観察学習など、学習の種類とその特徴について理解する。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第6回	記憶 1 ・記憶の3段階と記憶の種類について理解する。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第7回	記憶 2 ・健忘・記憶法・記憶の再構成など、日常的な記憶に関するトピックスについて解説する。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
第8回	言語と思考 ・言語理解と言語発達について解説する ・推論・問題解決など思考に関する心理学知見について理解する。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第9回	動機づけ ・人が行動を起こすメカニズムを学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。

第10回	感情 ・感情について基本的な知見を理解する ・ポジティブ心理学における肯定的感情の役割を理解する。				
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。				
第11回	知能 ・知能検査と現代の知能理論について理解する ・遺伝と知能、感情知能などのトピックスについて解説する。				
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。				
第12回	人格(パーソナリティ) ・人格の概念化と査定について理解する。 ・性格検査を体験してみる				
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。				
第13回	・ ・他者の存在・没個性化・傍観者効果をキーワードに 社会的影響について理解する。				
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。				
第14回	社会心理学(社会的認知) ・印象形成・説得的コミュニケーション・対人魅力をキーワードに社会的認知について理解する。				
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。				
第15回	・				
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【予習】10にする。 【復習】50				

授業は講義中心に進める。授業において毎回、レスポンスシートの提出を求める。普段からプリントを使った復習に力を入れ、学んだ内容 の整理に努めること。また、上で示された準備学修の時間はあくまで目安であって、各自の理解度に応じて取り組むこと。

なお、レスポンスシート、期末テストの狙いは以下のとおりである。

- ・レスポンスシート:各授業に参加して、学んだこと、感じたこと、思ったこと、疑問点を言語化し、各自の整理をすすめる(なお、必要に応じて、レスポンスシートの内容に対するフィードバックを次の回の講義で実施予定である)。
- ・期末テスト:授業全体の学修内容についての理解度を確認する。

また、出欠確認のために学生証を使用するため、必ず持参して授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業への参加状況やレスポンスシートの提出状況などの平常点(40%)、期末テスト(60%)、により総合的に評価する。 なお、平常点の範囲で、中間課題を課す場合がある。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。

次の点に着目し、その到達度により評価する。

- (1) 心理学(および科学)の基本的な知識や考え方を身につけること。
- (2) 自己理解および他者理解のために、心理学の知識を活用できるようになること(およびその限定性を知ること)。

必要な予備知識/先修科目/関連科目

関連科目:自己理解の心理学/こころの健康と臨床/脳科学と心

なし。各回のレジュメは事前にSeikei Portalにアップロードされるので、各自でダウンロードをした上で、それを持参して授業に臨むこ ٤٠

参考書 内田一成監訳2015「ヒルガードの心理学」金剛出版 必要に応じて、紹介する。

アワー)

科目名	心理学の基礎 <3>	
教員名	林 潤一郎	
科目ナンバー	1301471030	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 前期

的とする。

なお、心理学を初めて学ぶという人たちにも理解しやすいよう、体験ワークを実施したり、なるべく身近で具体性に富むエピソード等を 紹介しながら授業を進める予定である。

また、授業の進捗や受講生の希望および担当教員の判断によって、内容を一部変更する場合がある。

到達目標

心理学の初歩に位置付く本授業では、DP1(教養の習得)、DP2(課題の発見と解決)、DP3(他者との協働)を実現するために、以下を 達成目標とする。

- (1) 心理学(および科学)の基本的な知識や考え方を身につけること。 (2)自己理解および他者理解のために、心理学の知識を活用できるようになること(およびその限定性を知ること)。

受業の言	十画と準備学修	
到数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション ・授業の内容、進め方、評価、予習・復習の仕方等を知る。	
	【復習】授業で紹介した内容を振り返り、理解する。	【復習】60
2回	心理学の歴史 ・心理学の発展の歴史を学び、心理学の現状を知る。 ・人の心の動きがどのように解明されようとしてきたかについて学ぶ。	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	【予習】10 【復習】50
3回	心理学の方法 ・心理学の研究法を学ぶ。 ・心の動きや心のメカニズムについて科学的に研究(検討)するための発想と方法論を学ぶ。	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるようにする。	【予習】10 【復習】50

₩ 4 =	殿のけれさき
第4回	脳のはたらき ・心と脳の関係について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第5回	感覚と知覚
	・人が世界をどのように体験し、認識するのかについて学ぶ。 ・モノの見え方(視覚)の特徴と錯覚について理解する。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第6回	学習 ・経験によって人の行動はどのように変わるのかを学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第7回	記憶
	・人はどのようにモノを覚え、忘れるのかを知る。 ・記憶の種類や特徴を知る。
	・記憶法について学ぶ。
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
## 0 F	B 4 1 ===
第8回	思考と言語 ・心の働きにおけることばの獲得とその役割を知る。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第9回	動機づけ ・人が行動を起こすメカニズムを学ぶ。
	・ハルツ」刺で心しサイルーへムで子心。
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。

第10回	性格(1) 理論編・性格を理解するための理論を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第11回	性格(2) 実践編・性格を把握、測定するための方法を学び、体験する。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第12回	性格(3) 様々な性格理論 ・性格を把握するための多様な理論や枠組みを学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第13回	発達心理学 ・人の心がどのように発達するのかを学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
第14回	社会心理学・人間関係・対人関係・組織における人の心の動きについて学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第15回	授業のまとめ
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【予習】10 にする。

授業の方法

授業は講義中心に進める。授業において毎回、レスポンスシートの提出を求める。普段からプリントを使った復習に力を入れ、学んだ内容の整理に努めること。また、上で示された準備学修の時間はあくまで目安であって、各自の理解度に応じて取り組むこと。

- なお、レスポンスシート、期末テストの狙いは以下のとおりである。
 ・レスポンスシート:各授業に参加して、学んだこと、感じたこと、思ったこと、疑問点を言語化し、各自の整理をすすめる(なお、必要に応じて、レスポンスシートの内容に対するフィードバックを次の回の講義で実施予定である)。
- ・期末テスト:授業全体の学修内容についての理解度を確認する。

また、出欠確認のために学生証を使用するため、必ず持参して授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業への参加状況やレスポンスシートの提出状況などの平常点(40%)、期末テスト(60%)、により総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。

次の点に着目し、その到達度により評価する。

- (1) 心理学(および科学)の基本的な知識や考え方を身につけること。
- (2) 自己理解および他者理解のために、心理学の知識を活用できるようになること(およびその限定性を知ること)。

必要な予備知識/先修科目/関連科目

関連科目:自己理解の心理学/こころの健康と臨床/脳科学と心

特になし。なお、各回のレジュメは事前にSeikei Portalにアップロードされるので、各自でダウンロードをした上で、それを持参して 授業に臨むこと。

参考書

特になし。ただし、必要に応じて、授業の中で紹介する。

科目名	自己理解の心理学 <1>			
教員名	平山 敦子			
科目ナンバー	1201471040		単位数	2
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期	

心理学とは、一言で言うならば「心の真理を探究する学問」であろう。心理学の専門領域は多岐にわたり、認知心理学、健康心理学、社会 心理学、発達心理学、教育心理学、臨床心理学など非常にバラエティに富んでおり、現在も、それぞれの領域で新しい知見が蓄積されてい る。

この授業では、これ まで得られた心理学の研究知見の中から「青年期を生きる大学生が自分自身を知るために役立つと思われるもの」に焦点を当て、紹介する。前半では、主に青年期に関する心理学の諸理論を学ぶ。後半では、主にメンタルヘルスに関する心理学の諸理論を学ぶ。さらに、こうした心理学の知見とあわせて、大学生が心理学的にライフサイクル上どのような時期と位置づけられるのか、また大学生が経験しやすい課題やその取り組みのあり方、さらにメンタルヘルスの問題とその対処法等について講義する。

本講義では、知識の獲得と並行して、心理テスト等を用いた自己理解・自己分析のワークを重視する予定である。本講義によって、受講 生がこれまでの自分を振りかえり、今の自分を見つめ、これからの自分を考える機会を提供できればと考えている。

到達目標

- (1) 自己理解に有用だと思われる心理学諸領域の基礎的知見を学ぶこと。
- (2) 心理テスト等のワークで自己理解を深めること。
- (3) 自己分析を通して現在の生活や今後の人生に役立ちそうな知見を自ら探し出し、それらを活かしていくこと。

受業の計	画と準備学修	
到数	授業の計画・内容 準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第1回 オリエンテーション ・授業の内容、進め方、評価、予習・復習の仕方等を知る。 ・心理学の基本的発想について学ぶ。	
	【復習】授業で紹介した内容を振り返り、理解する。	【復習】60
第2回	青年期から自己を振り返る(1)-ライフサイクル理論- ・ライフサイクル理論を学ぶ ・青年期の発達課題について学ぶ	1
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	【予習】10 【復習】50
第3回	青年期から自己を振り返る(2)-自己概念、自尊感情、自己評価- ・自己概念・自尊感情・自己評価について学ぶ	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるようにする。	【予習】10 【復習】50

第4回	青年期から自己を振り返る(3) -人間関係の変遷- ・乳児期から青年期までの人間関係の変遷を学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
** **	青年期から自己を振り返る(4)-学生から社会人への過渡期として-
第5回	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第6回	自己の性格を知る -性格理論、性格検査- ・性格理論について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第7回	児童及び青年期にみられる心の問題から自己を振り返る(1)-発達障害- ・「病気」ではなく生まれつきの特性としての発達障害を理解する ・様々な発達障害とその付き合い方・サポート法について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第8回	児童及び青年期にみられる心の問題から自己を振り返る(2)-メンタルヘルスの問題- ・適応と不適応が連続線上にあることを理解する ・様々な精神疾患とその付き合い方・サポート法について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第9回	自己が不安を感じるとき(1)-不安についての心理学- ・不安とは何かを学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。

第10回	自己が不安を感じるとき(2)-対人不安-
NJ I O	・対人不安について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第11回	
	・認知行動的アプローチから抑うつが起こる仕組みとその対処について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第12回	自己が憂うつを感じるとき(2)-精神分析的アプローチ- ・精神分析理論から抑うつが起こる仕組みとその対処について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
*** 1 O E	
第13回	自己を支える(1)-不安・憂うつ・ストレスを軽減する方法・上手に付き合う方法- ・自分でできる様々なストレス対処法について学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第14回	自己を支える(2)-不安・憂うつ・ストレスを軽減する方法・上手に付き合う方法-
	・専門家による心のケアについて学ぶ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
第15回	授業のまとめ
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。

授業は講義中心に進めるが、授業の中で心理テストの実習や作業をほぼ毎回行う。また、これらの作業を通じて行った自己分析の結果や感 想をレスポンスシートにまとめ、毎回提出する。普段からプリントを使った復習に力を入れ、学んだ内容の整理に努めること。また、上で 示された準備学習の時間はあくまで目安であっ て、各自の理解度に応じて取り組むこと。

なお、レスポンスシート、期末テストの狙いは以下のとおりである。

- ・レスポンスシート: 各授業に参加して(心理テスト等の結果も含めて)、学んだこと、感じたこと、思ったこと、疑問点を言語化し、各自の整理をすすめる(なお、必要に応じて、レスポンスシートの内容に対するフィードバックを次の回の講義で実施する)。
- ・期末テスト:授業全体の学習内容についての理解度を確認する。

※出欠の確認はレスポンスシートの提出/未提出によってではなく、教室の端末を利用する。従って必ず学生証を持参して授業に臨むこ と。学生証を忘れた場合は欠席扱いとなるので注意すること。

成績評価の方法

授業への参加態度やレスポンスシートの内容などの平常点(30%)、期末テスト(70%)により評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

次の点に着目し、その到達度により評価する。

- (1) 自己理解に有用だと思われる心理学諸領域の基礎的知見を学ぶこと。
- (2) 心理テスト等のワークで自己理解を深めること。
- (3) 自己分析を通して現在の生活や今後の人生に役立ちそうな知見を自ら探し出し、それらを活かしていくこと。

必要な予備知識/先修科目/関連科目 関連科目:心理学の基礎/こころの健康と臨床/脳科学と心 また、教員免許取得希望の学生は履修することが望ましい。

特になし。なお、各回のレジュメは事前にSeikei Portalにアップロードされるので、各自でダウンロードをした上で、それを持参して授 業に臨むこと。

特になし。ただし、必要に応じて、授業の中で紹介する。

随時、電子メールで受け付ける。

科目名	自己理解の心理学 <2>	
教員名	林 潤一郎	
科目ナンバー	1201471040	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 後期

心理学とは、これまで得られたデータや事実をもとにして、こころの性質や働きを科学的に探究する学問である。心理学の専門領域は、 認知心理学、学習心理学、発達心理学、健康心理学、教育心理学、臨床心理学などに分けれ、現在も、それぞれの領域で新しい知見が蓄積 されている。

この授業では、これまで得られた心理学の研究知見の中から「青年期を生きる大学生が自分自身を知るために役立つと思われるもの」に 焦点を当て、紹介する。前半では、主に青年期に関する心理学の諸理論を学ぶ。後半では、主にメンタルヘルスに関する心理学の諸理論を 学ぶ。さらに、こうした心理学の知見とあわせて、大学生の発達課題、大学生の過去とこれから(発達臨床心理学)についての見通し、メ ンタルヘルスの問題とその対処(精神医学や臨床心理学)、等について、担当教員の臨床心理士としての経験に基づく情報提供も織り交ぜ ながら講義する。

また、本講義では、知識の獲得と並行して、心理テスト等の用いた自己理解・自己分析のワークを重視する予定である。本講義によって、受講生がこれまでの自分を振りかえり、今の自分を見つめ、これからの自分を考える機会を提供できればと考えている。 なお、授業の進捗状況および学生の関心や担当教員の判断によって、内容を一部変更する場合がある。

到達且標

DP1 (教養の習得)、DP2 (課題の発見と解決)、DP3 (他者との協働)を実現するために、以下を達成目標とする。

- (1) 自己理解に有用だと思われる心理学諸領域の基礎的知見を学ぶこと。
- (2) 心理テスト等のワークで自己理解を深めること。
- (3) 心理学の知見に基づく自己分析を通して、自分の普段の生活や今後の人生に役立ちそうな知見を見出し、それらを活かしていくこと。

哲業の言	+画と準備学修	
回数	回こ半順子 参 授業の計画・内容	
		準備学修の目安(分)
第1回	第1回 オリエンテーション ・授業の内容、進め方、評価、予習・復習の仕方等を知る。 ・心理学の基本的発想について学ぶ。	
	【復習】授業で紹介した内容を振り返り、理解する。	【復習】60
第2回	青年期に関する諸理論から自分自身を振り返る(1) ・青年期意識、認知発達理論、ライフサイクル理論を学ぶ。	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	【予習】10 【復習】50
第3回	青年期に関する諸理論から自分自身を振り返る(2) ・青年期意識、認知発達理論、ライフサイクル理論を学び、そこから自分自身の特徴を振り返る(続き)) 。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるようにする。	【予習】10 【復習】50

第4回	青年期に関する諸理論から自分自身を振り返る (3) ・自己概念、自尊感情、自己評価を学ぶ。
	ロし物心、口寺巡月、ロし町岬とすか。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第5回	青年期に関する諸理論から自分自身を振り返る(4) ・人間関係(親子関係、友人関係や恋愛関係)の一般的変遷とその多様性を学ぶ。
	にする。
第6回	 青年期に関する諸理論から自分自身を振り返る(5) ・人間関係(親子関係、友人関係や恋愛関係)の一般的変遷とその多様性を学ぶ(続き)。
	・人间関係(税予関係、及入関係や必変関係)の一般的変遷とその多様性を子ふ(続き)。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【ア省】該当員科をダウンロートし、プリントアウトした上で、一週り、日を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
第7回	青年期に関する諸理論から自分自身を振り返る(6) ・性格理論、性格検査を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第8回	メンタルヘルスに関する諸理論から自分自身を振り返る (1) ・児童期および青年期にみられやすい様々な心の問題を学ぶ(続き)。
	・元里別のよび月午別にかられてすい様々な心の问題を子か(称さ)。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第9回	メンタルヘルスに関する諸理論から自分自身を振り返る(2) ・児童期および青年期にみられやすい様々な心の問題を学ぶ(続き)。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。

第10回	メンタルヘルスに関する諸理論から自分自身を振り返る(3)
	・不安についての心理学を学ぶ。
	【復音】技集で紹介した主要トロックやキーソートを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復音】50 にする。
第11回	メンタルヘルスに関する諸理論から自分自身を振り返る (4) ・抑うつ (憂うつ) についての心理学を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【7首】該当員科をすりプロードと、プリプドアグドとた工と、一通り、日を通じておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
第12回	メンタルヘルスに関する諸理論から自分自身を振り返る(5)
	・ストレスについての心理学を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第13回	メンタルヘルスに関する諸理論から自分自身を振り返る (6) ・不安、抑うつ、ストレスを軽減する方法や上手に付き合う方法を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第14回	メンタルヘルスに関する諸理論から自分自身を振り返る(7) ・不安、抑うつ、ストレスを軽減する方法や上手に付き合う方法を学ぶ(続き)。
	「「女、」はりつ、ハーレハと狂感する力点にエテに同じ日り力点とデふ(肌ピ)。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
	にする。
第15回	授業のまとめ
A) 10E	
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】60
	にする。

授業の方法

授業は講義中心に進めるが、授業の中で心理テスト等の実習や作業を行う。また、これらの作業を通じて行った自己分析の結果や感想をレスポンスシートにまとめ、毎回提出する。普段からプリントを使った復習に力を入れ、学んだ内容の整理に努めること。また、上で示された準備学修の時間はあくまで目安であって、各自の理解度に応じて取り組むこと。

なお、レスポンスシート、期末テストの狙いは以下のとおりである。

- ・レスポンスシート:各授業に参加して(心理テスト等の結果も含めて)、学んだこと、感じたこと、思ったこと、疑問点を言語化し、各 自の整理をすすめる(なお、必要に応じて、レスポンスシートの内容に対するフィードバックを次の回の講義で実施予定である)。
- ・期末テスト:授業全体の学修内容についての理解度を確認する。

また、出欠確認のために学生証を使用する可能性があるため、必ず持参して授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業への参加状況やレスポンスシートの提出状況などの平常点(40%)、期末テスト(60%)、により総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。

次の点に着目し、その到達度により評価する。

- (1) 自己理解に有用だと思われる心理学諸領域の基礎的知見を学ぶこと。
- (2) 心理テスト等のワークで自己理解を深めること。
- (3) 心理学の知見に基づく自己分析を通して、自分の普段の生活や今後の人生に役立ちそうな知見を見出し、それらを活かしていくこと。

必要な予備知識/先修科目/関連科目

関連科目:心理学の基礎/こころの健康と臨床/脳科学と心また、教員免許取得希望の学生は履修することが望ましい。

テキスト

特になし。なお、各回のレジュメは事前にSeikei Portalにアップロードされるので、各自でダウンロードをした上で、それを持参して 授業に臨むこと。

参考書

特になし。ただし、必要に応じて、授業の中で紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

科目名	自己理解の心理学 <3>	
教員名	岩田淳子	
科目ナンバー	1201471040	単位数 2
配当年次	1	- 開講時期 2018年度 前期

心理学とは、これまで得られたデータや事実をもとにして、こころの性質や働きを科学的に探究する学問である。心理学の専門領域は、認知心理学、学習心理学、発達心理学、健康心理学、教育心理学、臨床心理学などに分けれ、現在も、それぞれの領域で新しい知見が蓄積されている。自己理解の心理学<3>では、 臨床心理学(なんらかの心の問題や葛藤をもつ人々に対して、広い意味での心の科学に基づく知識や技法を用いて、心理的苦悩を軽減するために心理援助を行い、それを通して問題の解決や改善を目指す実践・理論・技法について研究する学問)の知見から、大学生の発達課題、青年期にみられる精神医学的問題、大学生の過去とこれから(発達臨床心理学)について、講師の臨床心理士としての臨床経験を織り交ぜながら講義する。

こころの問題は一部の人にみられるのではなく、だれにでも起こり得る。受講生がこれまでの自分を振りかえり、今の自分を見つめ、これ からの自分を考える際に役立つ、自己理解の心理学を講じる。 本講義を受講することにより、青年期を生きる大学生が、こころの成長、 健康なこころ、他者に共感できる人間関係を身につけた大人として社会の構成員となるための基礎づくりを目指す。

到達目標

DP1 (教養の修得)を実現するために、以下を目標とする。

- (1) 自己理解に有用だと思われる臨床心理学の基礎的知見を学ぶこと。
- (2) 心理テスト等のワークで自己理解を深めること。
- (3)臨床心理学の知見に基づく自己分析を通して、自分の普段の生活や今後の人生に役立ちそうな知見を見出し、それらを活かしていくこと。

C 0		
きの計	・ 計画と準備学修	
τ	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
0	第1回 オリエンテーション	
	・授業の内容、進め方、評価、予習・復習の仕方等を知る。	
	・データに基づいた現代大学生像について知る。	
	【復習】授業で紹介した内容を振り返り、理解する。	【復習】60
20	大学生にとっての「今」:青年期	
[11]		
	・アイデンティティの意味するものを考える。	
		[
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう	【予習】10 【復習】50
	にする。	
0	自分のこころをとおして理解する精神医学的問題	
	┃(1)「抑うつ」 ┃・抑うつが起こるメカニズムとその予防について学ぶ。	
	14. 2 2 8 2 0 2 2 一 2 立て C 0 1 Mulc 2 6 . C 上の。	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。	【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	【復習】50
	I-7 'U o	

hin t	**************************************
第4回	自分のこころをとおして理解する精神医学的問題 (2) 「不安」
	・不安、特に対人不安が起こるメカニズムとその対処について学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。
	にする。
第5回	自分のこころをとおして理解する精神医学的問題
	(3)「強迫とトラウマ」 ・強迫症状およびPTSDが起こるメカニズムとその対処について学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
第6回	自分のこころをとおして理解する精神医学的問題
	(4) 「依存・アディクション」 ・依存・アディクション、特にネット依存が起こるメカニズムとその予防について学ぶ。
	KII 77477 JJC NIC471 KII N EC 87 NIC CONTRICTO CTS.
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
第7回	
	・障害について適切に理解するとともに、発達障害概念が社会にもたらした影響について学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50
第8回	大学生にとっての「これまで」
	(1)乳幼児期
	・乳幼児期の発達課題と、乳幼児期にみられやすい様々な心の問題を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
第9回	大学生にとっての「これまで」
	(1)乳幼児期 (続き)
	・乳幼児期の発達課題と、みられやすい様々な心の問題を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。
	1-7 00

M 10 -	+=+	
第10回	大学生にとっての「これまで」 (2) 学童期・思春期	
	・学童期・思春期の発達課題と、みられやすい様々な心の問題を学ぶ。	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【予習】10	
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	
第11回	子どもの心理療法 ・子どもを対象とした心理療法「遊戯療法」について学ぶ。	
	・非言語的な接近としての心理療法について学ぶ。	
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50 にする。	
	। —	
第12回	大学生にとっての「これから」 (1)成人期(中年期を中心に)	
	・成人期、特に中年期の発達課題と、みられやすい様々な心の問題を学ぶ。	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。	
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう ┃【復習】50	
	にする。	
第13回	大学生にとっての「これから」	
	(2) 老年期 ・老年期の発達課題と、みられやすい様々な心の問題を学ぶ。	
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50	
	にする。	
第14回	家族の発達と家族療法 ・家族の発達という視点とそれぞれの段階の特徴、また家族療法について学ぶ。	
	- み肽い元圧にいり忧忌にてイルてイルの权怕の付徴、よに多肤燉広に ノいし子ふ。	
	【予習】該当資料をダウンロード」 プリントアウト」た上で 一通り 日を通しておく 【【予習】10	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50	
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう ┃【復習】50	
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう ┃【復習】50	
第15回	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう ┃【復習】50	
第15回	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】50にする。	
第15回	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。 授業のまとめ 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】60	
第15回	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。 授業のまとめ 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】60	

授業の方法

授業は講義中心に進めるが、授業の中で心理テスト等の演習や作業を行う。また、これらの作業を通じて行った自己分析の結果や感想をレスポンスシートにまとめ、毎回提出する。普段からプリントを使った復習に力を入れ、学んだ内容の整理に努めること。また、上で示された準備学修の時間はあくまで目安であって、各自の理解度に応じて取り組むこと。

なお、レスポンスシート、期末テストの狙いは以下のとおりである。

- ・レスポンスシート: 各授業に参加して(心理テスト等の結果も含めて)、学んだこと、感じたこと、思ったこと、疑問点を言語化し、各自の整理をすすめる(なお、必要に応じて、レスポンスシートの内容に対するフィードバックを次の回の講義で実施予定である)。
- ・期末テスト:授業全体の学修内容についての理解度を確認する。

成績評価の方法

授業への参加状況やレスポンスシートの提出状況などの平常点(40%)、期末テスト(60%)、により総合的に評価する。 なお、平常点の範囲で、中間課題を課す場合がある。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。

次の点に着目し、その到達度により評価する。

- (1) 自己理解に有用だと思われる臨床心理学の基礎的知見を学ぶこと。
- (2) 心理テスト等のワークで自己理解を深めること。
- (3)臨床心理学の知見に基づく自己分析を通して、自分の普段の生活や今後の人生に役立ちそうな知見を見出し、それらを活かしていくこと。

必要な予備知識/先修科目/関連科目

関連科目:心理学の基礎/こころの健康と臨床/脳科学と心また、教員免許取得希望の学生は履修することが望ましい。

テキスト

特になし。なお、各回のレジュメは事前にSeikei Portalにアップロードされるので、各自でダウンロードをした上で、それを持参して授業に臨むこと。

参考書

特になし。ただし、必要に応じて、授業の中で紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

科目名		現代社会と哲学	
教員名		関口浩	
科目ナン		1301475010 単位数	2
配当年次		2 開講時期 2018年度 後期	
テーマ・ 私たち		}の人間性あるいは個性はとても大切なもののはずです。しかしながら、現代社会のなかで 和	ムたちがそのような自分の
人間性を いものに とを、現	·円満に向上されてします はなってします ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	させてゆくことは、そう簡単なことではないようです。現代の労働者の多くが、大きな組織の5。壊れたら、いくらでも代りのあるもの、そういう個性のない部品のようなものと見なされまでは「人間疎外」と言いますが、この講義ではそのような人間疎外の問題を中心に、今日の5か、ということを考えてゆきたいと思います。	の中の一つの歯車にすぎな れてしまう。このようなこ
到達目標			L7 0 1
修者各自	が自分自身の	ヽちばん深いところを洞察しようとする根本的な思索について、それを単に知識として学習す D精神のなかでそうした思想家たちの<事柄>を共に経験してもらいたい。 ▼もまた、自分自身でそのような<事柄>を思索できるようになってもらいたいと思います。	
	·画と準備学修	多	
回数	授業の計画	・内容	
第1回	準備学修(予	習·復習等) ィティへの問い(1) 『臨済録』における殺仏殺祖説	準備学修の目安(分)
		授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	3 0分
第2回	アイデンティ	ィティへの問い(2) 『十牛図』における自己の問題	
	復省として、	授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	60分
第3回	アイデンティ	ィティへの問い(3) 『十牛図』における自己の問題、前回の続き。	•
	復習として、	授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	60分

第4回	大衆社会の問題(1) S. キルケゴール『現代の批判』	1
554回	大水社会の问题(I) 3. イルグコール『妖人の批刊』	
		In a 0
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
#F.E	ナーサークの問題(ツ) ドフェ・ファナー 『ナニマバコのロギ』 かく「ナ帝明ウ・・現仏・にしょ てのウ	中の問題
第5回	大衆社会の問題(2) ドストエフスキー『カラマゾフの兄弟』から「大審問官」、現代人にとっての自	田の问題
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
第6回	「精神なき専門人、心情なき享楽人」、M・ウェーバーの現代批判	
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
第7回	官僚制の問題(1) M・ウェーバー『官僚制』、遺稿「経済と社会」より	
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
第8回	 官僚制の問題(2) M・ウェーバー『官僚制』の続き―社会政策学会での発言を参照して―	!
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
	復省として、授耒中に配布されて資料をあらたので熱就すること。	007
第9回	 官僚制の問題(3) H・アーレント『イェルサレムのアイヒマン』	1
No E		
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分

第10回	官僚制の問題(4) 杉原千畝と官僚の倫理	
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
	ELECTIVE TO THE THE CASE CONTROL OF THE CONTROL OF	
第11回	官僚制の問題(5) G・リッツァ『マクドナルド化する社会』	
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
第12回	M・ウェーバーの価値自由説	
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	60分
## 10 F		
第13回	エド・マローを例として、ジャーナリズムの役割	
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	60分
第14回	M・ハイデッガーの現代技術論	
MI III	7 1 7 2 73 43 30 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
	佐辺 1	I o o /\
	復習として、授業中に配布されて資料をあらためて熟読すること。	6 0 分
第15回	まとめ	
	今期の授業全体を回想して、その意義を考えてもらいたい。	1604
	¬州WIX未主体を凹心しし、てW息我を考えしもりいたい。	60分
		I

授業の方法 講義。 絵画や写真、映画などヴィジュアルな資料も必要に応じて使っていきたいと思ってます。
- 1/d=20 pg a + 14
成績評価の方法
授業への積極的な参加を評価する。平常点(出席、発言、授業内レポートなど)20%、定期試験80%
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
いかなる予備知識もとくに求めません。
関連科目は「哲学の基礎」。
$T + \lambda \Gamma$
テキスト とくに定めない。(毎回、資料を配付する)
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する)
とくに定めない。(毎回、資料を配付する)
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する)
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する)
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919
参考書 M・ウェーパー『権力と支配』(講談社学術文庫)濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919 左近司祥子『西洋哲学の10冊』、岩波書店、819円、ISBN-13:978-4005006137
とくに定めない。 (毎回、資料を配付する) 参考書 M・ウェーバー『権力と支配』 (講談社学術文庫) 濱嶋朗 訳、1,155円、ISBN-13:978-4062920919

科目名		現代社会と倫理学			
教員名		佐藤 雅男			
科目ナン	バー	1301475020		単位数	2
配当年次		2	開講時期	2018年度 後期	
テーマ・					
[テーマ	'〕必須 ?からの出発				
	いらの山光				
〔概要〕	・のロ木の田キ	! ! ! まの文章を、抜枠しながら読んでゆく。例え	ラボ垣沢論士は 『	*文明論う郷敦』「終言	」で、口木人は、毘労な過度期
を生き抜	かざるを得な	い理由で、自らの過去の経験によって、新力	たに学び知った文明	を照らすことが出来る。	と言った。そこには眼前に在る
		ヽうものが、「今の一世を過ぐれば、決して∓ 逆に飛躍のチャンスと見なすような精神構造		ような好機会と把握され	れている。これは近代日本の混
こうした	状況は現代に	こも存在し、そこでは人間の死生観が問われて	ている。倫理学の根		
を先導し	た人物達の思	!想を学びながら、現代社会で暮らす「人の- -	-生」をめぐる私達	の問題を考えてみたい。	
到達目標					
〔到達目	標〕必須				
		モ導した思想家の文章を読みながら、その意味 らえる発想を身につける。	未を考えることで、	今を生きる私達の指針	を形成する。
· 物 · · · ·	夕円印11〜こと	のんの光心を対につける。			
	画と準備学例				
回数	授業の計画				** #* #
第1回	準備学修(予授業のガイク				準備学修の目安(分)
第1凹	授業のカイス				
	123 本 0 = -	- 1 A 1-15 to 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			Inn
	授業のテート	てと全体像をつかむ。			60
第2回	明治維新とこ	文明開化。			
	歴史的な時何	代背景と国際情勢をつかむ。			60
*** O ==	=== ·	- VII - A - L-			
第3回	啓蒙思想一神	虽 次郦			

60

「独立の気力」という言葉について考える。

第4回	自由民権思想一中江兆民。	
	「東洋のルソー」と言われた人物像をつかむ。	60
第5回	 キリスト教-内村鑑三。	
7 ,70 L	1 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	
	「無教会主義」の意味をつかむ。	60
第6回	国民道徳一教育勅語。	
另U凹	<u>国氏足术一致自初的。</u>	
	中味の再検討をする。	60
	المراباتين	
佐 7日	本送の美・図会工♪	
第7回	東洋の美一岡倉天心。	
	「自我の顕現」の意味をつかむ。	60
佐の同	 浪漫主義一北村透谷。	
第8回		
	私小説の意味をつかむ。	60
	位は、このでは、	00
*		
第9回	自然主義一田山花袋と島崎藤村。	
	10月子羊の珍根の辛吐 たんした	Ico
	浪漫主義の登場の意味をつかむ。 私小説の意味をつかむ。	60

第10回	夏目漱石の文明論。	
	下田歌子の歌と思想。	
	「内発的開化」の意味をつかむ。	60
	17704704103 47164111 2 17 2 0	
第11回		
MILE	森鴎外の文明論。 与謝野晶子の歌と思想。	
	「利他的個人主義」や「貞操論」の意味をつかむ。	60
## 4 O C		
第12回	西田幾多郎の哲学。	
	「純粋経験」の意味をつかむ。	60
第13回	和辻哲郎の倫理学。	
	「間柄的存在」の意味をつかむ。	60
第14回	小林秀雄の批評。	<u>, </u>
	レポートの書き方。	
	「宿命の人間学」の意味をつかむ。	60
	・日中の人間子」の意外でした。	
第15回	坂口安吾の思想。	
	レポートの提出。	
		loo.
	思想表現の方法を実践する。	60

[日本の十二]	
授業の方法 毎回の授業時に、資料を配布する。それを基に授業を進める。基本的には講義形式である。	
成績評価の方法	
授業中に配布した資料を引用して、1200字程度のレポートを書いてもらい、それを評価する。書き方に関しては、一回目の授業で概	略を言
うが、13回目と14回目の授業で、より詳しく説明する。	
学期末レポート (90%) 、平常点 (10%) を基本とする。	
成績評価の基準	
成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。	
必要な予備知識/先修科目/関連科目	
特になし。	
テキスト	
授業時に、毎回、資料を配布する。	
参考書	
<u>参与者</u> 『述語集Ⅰ』『述語集Ⅱ』(中村雄二郎、岩波新書)	
『日本の思想』(丸山真男、岩波新書)	
『堕落論』(坂口安吾、新潮文庫)	
質問・相談方法等(オフィス・アワー)	
夏尚・柏談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に、教室で受付る。	

科目名		現代社会と宗教				
教員名		松岡 秀明				
科目ナン		1101475030			単位数	2
配当年次		カリキュラムにより異な	 ります。	開講時期	2018年度 前期	Z
テーマ・	概要					
宗教を考	察する際に有	可効な諸概念の理解および 快像や音楽を積極的に用い)理解を通して、	宗教の多様性の考える	。そのうえで、日本とブラジル
の赤我を	「似紙ソる。『	大隊で日米で憤煙の110円に	ର ୍ଚ			
지나는 다 #	5					
<mark>到達目標</mark> 宗教の多		「るとともに、ある宗教現	象に遭遇したら、それ	を分析的に捉え	らるようになることを	·目標とする。
伝来の計	-画と準備学修	₩				
	授業の計画					
	準備学修(予	習·復習等)				準備学修の目安(分)
第1回		フション:宗教とはなにか 申教、宗教進化論、等宗教		甲解する		
	1年3人に 少1	"我、小我连心빼、牙小我	の低本问題に グいて	EMF 7 OU o		
	字 羽,	とは何かを自分なりに考え	アルケノださい			60分
		で学んだ宗教の定義とは別		こみてください。		00 77
第2回	儀礼					
WIT E	儀礼の一般的		年中儀礼を学んだうえ	こで、さまざまな	宗教儀礼を検討し、日	1本の葬儀について考える。
	映像:現代Ⅰ	日本の非犠				
	予習:自分7	が参加した儀礼を挙げてみ	てください。	- 4 (0.)		60分
	復省:ハン	ドアウトを参照にして、授	業内容の埋解を深めて	こください。		
第3回	アニミズム	こざいからてもいった無生	畑にも 知め電 にいっと	- 切地学が定って	これてし来るスマーニブ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	生物のみなり	59田や巨石というた無土	がにも神で霊というだ	こ 起	いると考えるナーミ人	なについて共体的にみてい
	/ - 72	19—11—2 App	W. L. ch. c	- / 18 1 -		loo ()
	復省:ハン	ドアウトを参照にして、授	:耒内谷の埋解を深めて	こくたさい。		60分

第4回	祝祭 時には死者がでるような大規模なお祭り騒ぎである祝祭が、社会でとのような意味を持っているかを検討する。 映像:リオ・ デ・ジャネイロのカルナヴァル				
	ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分			
第5回	憑依あるいは変性意識状態 世界各地に見られるが、近年の日本では例外的なこの現象の持つ意味について考えていく。 映像:アメリカのキリスト教系教団信者の憑依状態 ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分			
第6回	空間と宗教 信者はなぜ聖地に赴き、なにを見出すのか。 映像: カトリックの聖地サンティアゴ・デ・コンポステラ(スペイン)				
	予習:これまで訪れた宗教施設についての印象を言語化してみてください。 復習:ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分			
第7回	宗教と音楽: グレゴリオ聖歌からゴスペルまで 世界の宗教で音楽はさかんに用いられているが、日本ではそうではない。なぜだろうか。 映像: グレ 等々	 √ゴリオ聖歌、ゴスペル			
	予習:これまで耳にした宗教音楽を挙げてみてください。 復習:ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分			
第8回	宗教と暴力 残念なことに、人類の歴史は宗教を原因とする戦争とともにあったと言っても過言ではない。宗教が持	昔つ暴力性を考えてみる。			
	ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分			
第9回	宗教と規範 宗教はなにも行なうべきか、なにを行なってはいけないかを人々に示している。それがいかなる原因に	依るかを考えていく。			
	ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分			

第10回	キリスト教概観 キリスト教といっても、さまざまな流れがある。カトリックとプロテスタントを中心にその地理的分布と歴史的展開を把握する。			
	ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分		
第11回	イスラム教概観 近年なにかと話題となるイスラム教だが、日本人の多くはその輪郭さえも知らないのが現状である。聖 つ、その一端を知る。			
	予習:イスラムのイメージはどんなものですか? 復習:ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分		
第12回	仏教概観 インドに誕生した仏教は、その伝播の過程で大きく変容して今日に至っている。東南アジアの上座部仏 教を比較する。			
	ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分		
第13回	日本宗教概観 仏教、神道、新宗教を整理して捉える。 映像:伊勢神宮の遷宮			
	予習:自分の家の墓がどこにあるかを調べてみてください。 復習:ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分		
第14回	ブラジル宗教概観 多種多様なブラジルの宗教を概観する。 映像:カトリック神父の音楽的パフォーマンス、憑依を行なう宗教カンドンブレ			
	ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分		
第15回	まとめ			
	ハンドアウトを参照にして、授業内容の理解を深めてください。	60分		

授業の方法	
講義形式で行なう。	授業の最後にレスポンス・シートを提出してもらい、可能な限り受講者の問題意識を授業に反映させていく。
成績評価の方法	
レスポンスシートと	:期末試験によって評価する。授業の環境保持のため、私語には厳しく対処する。また、特別な理由がない限り、講義開
始後20分以後の数室	というない。
71 K 2077 X K 07 7X 3	
İ	
İ	
成績評価の基準	
成蹊大学の成績評価	五基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.	(1.00)
garaeren neres	
必要な予備知識/先	5.修科目/関連科目
なし	
テキスト	
特に指定しない。	
付に相足しない。	
İ	
参考書	
授業で毎回配布する	らハンドアウトに、次回の授業の参考文献を示す。
İ	
İ	
質問·相談方法等(:	オフィス・アワー)
毎回 授業の最後に	ニ質問のための時間を確保する。
プロ、 スペツ収及に	

科目名		日本の思想史				
教員名		須佐 俊吾				
- 1 -		10011756				
科目ナン		1201475040		88 -# 0+ #0	単位数	2
配当年次		2		開講時期	2018年度 前期	
テーマ・	概要 神ー神道とは	+何か <u>—</u>				
H 747(0)	717 17JEC 16	2 -] <i>1</i> 3 .				
到達目標						
日本の民	族宗教である	るとされる神道に関して基	基本的な事柄が説明できる。			
授業の計	画と準備学例	》				
回数	授業の計画					** ** ** * * * * * * * * * * * * * * *
第1回	準備学修(予	者・復習等) : 本講義の目的と授業計画	ត			準備学修の目安(分)
あ 「凹	カイチンへ	: 本語我の日的と授業計	<u> </u>			
	【作品】 =# =	美衣わ紅ししょ こした西く	的的にまとめておいて下さり			60
	【復百】碑	残ぐの品 ししたことを安か	が別にまるのであいて下るい	, ' ₀		00
第2回						
	神話と神道-	- カミとは何かー1				
	神話と神道-	- カミとは何かー1				
	神話と神道-	-カミとは何か-1				
	神話と神道-	- カミとは何か-1				
			内的にまとめておいて下さ!	ν _ν ο		60
			内的にまとめておいて下さい	.\ _o		60
			的的にまとめておいて下さり	,\ ₀		60
			内的にまとめておいて下さい	,\ ₀		60
			的的にまとめておいて下さい	,\ ₀		60
	【復習】講	義でお話ししたことを要系	的的にまとめておいて下さり	,\ _o		60
	【復習】講		的的にまとめておいて下さい	,\ ₀		60
第3回	【復習】講	義でお話ししたことを要系	的的にまとめておいて下さい	,\ ₀		60
	【復習】講	義でお話ししたことを要系	的的にまとめておいて下さり	,\ _o		60
	【復習】講覧 神話と神道・	&でお話ししたことを要≨ −カミとは何か−2				
	【復習】講覧 神話と神道・	&でお話ししたことを要≨ −カミとは何か−2	的的にまとめておいて下さい 対的にまとめておいて下さい			60
	【復習】講覧 神話と神道・	&でお話ししたことを要≨ −カミとは何か−2				
	【復習】講覧 神話と神道・	&でお話ししたことを要≨ −カミとは何か−2				
	【復習】講覧 神話と神道・	&でお話ししたことを要≨ −カミとは何か−2				

第4回	神話と神道ーカミとは何かー3	
	┃ 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
第5回	祭祀と神道一祭りとは何かー1	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
*** C 🗔		
第6回	祭祀と神道一祭りとは何かー2	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
第7回	 祭祀と神道-祭りとは何か-3	
宏/凹	【 奈祀と仲担一条りとは何かー3	
第7 回	余祀と仲追=余りとは何か=3 	
东/ 凹	余祀と仲追一余りとは何かー3	
东/凹		Ico
第 7回		60
第7 四		60
第 /凹		60
第 /凹		60
第8回		60
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1	60
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1	
第8回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1	
第8回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	
第8回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	
第8回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	
第8回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か2	60
第8回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か2	60
第8回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か1 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神社とは何か2	60

第10回	神社とは何か3	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
第11回	神道と仏教の関係	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
第12回	神道と天皇	•
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
第13回	神道と国学	•
第13回	神道と国学	
第13回		60
第13回		60
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
第13回		60
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神道と新興宗教	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	60
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神道と新興宗教	
第14回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神道と新興宗教 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	
	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神道と新興宗教	
第14回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神道と新興宗教 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。	
第14回	【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 神道と新興宗教 【復習】講義でお話ししたことを要約的にまとめておいて下さい。 まとめ:日本人の信じて来た神とは何か	60

講義形式。 基本的に冷型などは取けしませんので、タウで講義なましぬかん。したかだして下さい。
基本的に資料などは配付しませんので、各自で講義をまとめたノートを作成して下さい。 上記の授業計画は便宜的なもので、一応の目安とお考え下さい。
工能の技業計画は使且的なもので、一心の自女とあ考え下さい。 とくに第13,14回に関しては極簡単にお話するだけ、あるいは全く言及しない可能性もありえます。
とくに第13,14世に関しては極間単にお話りるだけ、めるいは主く言及しない可能性もありえまり。
成績評価の方法
課題レポート(1回、100%)。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
成蹊八子の成績計画金字(子與第55条)に字拠する。/drades in the codise are based on the circeria of Serker offiversity Regulation No. 39.
・レポートは、その内容と同等に文章の正確さも重く見ます。
・出席は取りませんので、出席回数は一切考慮しません。
心面かる性知識 / 生放列日 / 明連列日
必要な予備知識/先修科目/関連科目
高校程度の日本史の知識は必須。
= 2-7
テキスト
とくに無し。
とくに無し。
参考書
とくに無し。 <u>参考書</u> 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006 菅野覚明 『神道の逆襲』 講談社現代新書 2001
参考書 伊藤聡 『神道とは何か - 神と仏の日本史』 中公新書 2012 井上寛司 『「神道」の虚像と実像』 講談社現代新書 2011 井上順孝 『神道入門 日本人にとって神とは何か』 平凡社新書 2006

科目名		脳科学と心				
教員名		山本 愛実				
科目ナン	·š—	1101475050			単位数	2
配当年次		2	開講時期	2018年度		
テーマ・						
脳神経科	学の最新の研	T究テーマを例としてとりあげ、神経科学上の)成果が人間理解や	社会生活		
に大きな	影響を及ぼし	始めていることを概説する				
到達目標 脳神経科	学の基礎的な	: :知識を習得するとともに、それがわれわれ <i>の</i>)生活や社会にどん	な影響を		
		会力を身につけることを目標とします。	, <u> </u>	-C *> = C		
授業の計	画と準備学修	\$				
回数	授業の計画・	· · 内容				
	準備学修(予					準備学修の目安(分)
第1回	1. 脳神経科	学とは何かその意義を考える				
		を授業後に読む。 E確認し復習する。				60
	会にはいる。	『唯談し後首する。 ば、次の章に目を通す。				
第2回	2. 知覚					
	環境変化の見	見落としについて、知覚のメカニズムを知る				
	教科書の2章	を授業後に読む。				60
	授業の内容を	を確認し復習する。 ば、次の章に目を通す。				
	木竹がめれい	3、次の早に日を通り。				
第3回	3. 記憶					ļ
おり凹	岛. 記憶 偽記憶研究 <i>₫</i>)現状と展望、偽記憶とうその脳メカニズム <i>0</i>	D違いを知る			
	*****	+ 4回 ** (4) - = + + 、				Ico
		を授業後に読む。 E確認し復習する。				60
	余裕があれる	ず、次の章に目を通す。				
						i e

第4回	4.自由意志 意志と行為の脳メカニズム、自由意志の存在に疑問を投げかける脳科学の研究について考える	
	教科書の4章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第5回	5.意思決定 薬物依存と意思決定の歪み、薬物による健常な意思決定の歪みにより、薬物依存からの脱却の困難さを気	- 知る
	教科書の5章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第6回	6. 道徳 道徳の脳科学、道徳・倫理を脳科学の視点で考える	
	教科書の6章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第7回	7. 社会性の神経経済学 脳神経科学の最新の研究分野である信頼に関する神経経済学について、社会にとって互いの信頼の重要 基盤を知る	
	教科書の7章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第8回	8. マインドリーディング ニューロイメージング法の解説、脳科学は他人の心を読み取れるのか	
	教科書の8章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第9回	9. ブレインマシンインターフェイス ブレインマシンインターフェイスとは何か、その目的は?失った機能をどこまで機械で補えるのか	
	教科書の9章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60

第10回	10.精神疾患 精神疾患について知り、その社会の中での問題を考える、精神疾患は脳機能の疾患である	
	教科書の10章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	160
第11回	11. スマートドラッグ 薬による能力の増強について現状を知る、スマートドラッグは許されるのか	
	教科書の11章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第12回	12. 教育 三歳児神話について関連する脳科学的研究を学ぶ、脳科学は教育に役立つのか	
	教科書の12章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第13回	13.加齢 加齢に伴う認知機能の低下について考える、なぜ、お年寄りを狙う犯罪が多いのか	
	教科書の13章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 余裕があれば、次の章に目を通す。	60
第14回	14. 広告利用 脳トレ広告の問題点を知る、似非科学に騙されないために	
	教科書の14章を授業後に読む。 授業の内容を確認し復習する。 試験に備え今まで授業内で取り上げた内容について復習する。	60
第15回	15. まとめ 神経科学リテラシーと社会的意義)と最終回に定期試験を行う	
	15回目に試験を行うため、14回目までに授業で行った内容について復習する。試験範囲は授業で取り扱った内容全てである。	60

授業の方法
講義を主とする。
成績評価の方法
試験による。
中央の
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
noguration no. 55.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
現代科学についての知識はそれほど必要としない。
テキスト 1787年 17874年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 17874年 1787年 1787年 1787年 1787年 17874年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 1787年 17
脳神経科学リテラシー
勁草書房
信原幸弘、原塑、山本愛実 編
参考書
特になし。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
頁向・相談方法等(オフィス・アワー) 授業開始前と終了後に教室で受け付ける。
な未開知則と称 垓に教主じ文リ別リる。

科目名	こころの健康と臨床	
教員名	林 潤一郎	
科目ナンバー	1201475060	単位数 2
配当年次	2	開講時期 2018年度 前期

近年、こころの健康問題は社会的に大きな話題となっている。ストレスをかかえやすい現代社会においては、こころの健康とその問題に ついての正しい知識と対策を知っておくことは、今後の学生生活や社会生活における自分自身を支える上で、また周囲の人と接する際に、 有用なものとなるであろう。

本講義では、臨床心理学や精神医学で扱われる代表的なこころの健康問題を取り上げ、多様な理解の枠組みとその予防策・対応策を紹介 する。特に、臨床心理学において発展を遂げている認知行動理論および認知行動療法を中心に、心の健康問題(主に精神障害)の予防や軽減および心の健康維持増進に有益だと思われる様々な研究成果や臨床的な知見を紹介する予定である。

なお、授業の進捗および学生の関心や担当教員の判断によって、内容を一部変更する場合がある。

到達日標

- DP1 (教養の習得)、DP2 (課題の発見と解決)、DP3 (他者との協働) を実現するために、以下を達成目標とする。 (1) (自他の) こころの健康問題に対する正しい知識を得ること(で、誤解や誤った偏見を減らすこと)。 (2)こころの健康問題で困ることを減らすために必要な予防的知識を学ぶこと。 (3)こころの健康問題で困った際に、その症状を和らげたり、その問題から抜け出るために役立つような対処のレパートリーを学ぶこ ٥ع

	画と準備学修	
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション ・授業の内容、進め方、予習・復習の仕方等を説明する。 ・こころの健康問題の概観を知る。	
	【復習】授業で紹介した内容を理解する。また、主要トピックやキーワードを振り返り、説明できるようにする。	【復習】60
第2回	こころの健康とその問題を理解するための様々な枠組み(1) ・こころの健康一不調の連続性、定義、諸基準等を知る。 ・こころの問題を理解するための代表的枠組みを知る。	•
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	【予習】10 【復習】50
第3回	こころの健康とその問題を理解するための様々な枠組み(2) ・こころの問題を理解するための代表的枠組みを知る(続き)。 ・認知行動療法の概要を知り、体験を通して学ぶ。	•
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。	【予習】10 【復習】50

第4回	こころの健康とその問題を理解するための様々な枠組み(3) ・認知行動療法の概要を知り、体験を通して学ぶ(続き)。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第5回	気分障害(1) ・気分障害を理解する。 ・「日常的に経験する(抑うつ気分)」と「うつ病」の異同を知る。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第6回	気分障害(2) ・気分障害で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第7回	気分障害(3) ・気分障害で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ(続き)。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第8回	睡眠障害 ・睡眠の基本性質を知る。 ・睡眠障害を理解する。 ・睡眠障害で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。
第9回	不安障害(1) ・パニック障害を理解する。 ・パニック障害で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。

第10回	不安障害(2) ・社会不安障害(社交不安障害)を理解する。 ・社会不安障害(社交不安障害)で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。			
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。			
第11回	不安障害(3) ・強迫性障害を理解する。 ・強迫性障害で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。			
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。			
第12回	パーソナリティ障害 ・パーソナリティ障害を理解する。 ・パーソナリティ障害で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。			
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。			
第13回	摂食障害 ・摂食障害を理解する。 ・摂食障害で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。			
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。			
第14回	統合失調症 ・統合失調症を理解する。 ・統合失調症で困った際に役立つ対処(改善)法および予防法を学ぶ。			
	【予習】該当資料をダウンロードし、プリントアウトした上で、一通り、目を通しておく。 【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう にする。			
第15回	授業のまとめ			
	【復習】授業で紹介した主要トピックやキーワードを振り返り、理解を深めるとともに説明できるよう 【復習】60 にする。			

授業の方法

授業は講義中心に進める。授業において毎回、レスポンスシートの提出を求める。普段からプリントを使った復習に力を入れ、学んだ内 容の整理に努めること。また、上で示された準備学修の時間はあくまで目安であって、各自の理解度に応じて取り組むこと。 なお、レスポンスシート、期末テストの狙いは以下のとおりである。

・レスポンスシート:各授業に参加して、学んだこと、感じたこと、思ったこと、疑問点を言語化し、各自の整理をすすめる(なお、必要に応じて、レスポンスシートの内容に対するフィードバックを次の回の講義で実施予定である)。

・期末テスト:授業全体の学修内容についての理解度を確認する。

また、出欠確認のために、学生証を使用するので、必ず持参して授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業への参加状況やレスポンスシートの提出状況などの平常点(40%)、期末テスト(60%)、により総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。

- 次の点に着目し、その到達度により評価する。 次の点に着目し、その到達度により評価する。 (1) (自他の) こころの健康問題に対する正しい知識を得ること(で、誤解や誤った偏見を減らすこと)。 (2) こころの健康問題で困ることを減らすために必要な予防的知識を学ぶこと。 (3) こころの健康問題で困った際に、その症状を和らげたり、その問題から抜け出るために役立つような対処のレパートリーを学ぶこ ہ ع

必要な予備知識/先修科目/<u>関連科目</u>

関連科目:心理学の基礎/自己理解の心理学/脳科学と心

特になし。なお、各回のレジュメはSeikei Portalにアップロードされるので、各自でダウンロードをした上で、それを持参して授業に 臨むこと。

参考書

特になし。ただし、必要に応じて、授業の中で紹介する。

ポータルサイトで周知する。

科目名		音楽への招待				
教員名		西釋 英里香				
科目ナン	/バー	1301475070			単位数	2
配当年次		2		開講時期 2018年度		
テーマ・						
				世紀までの音楽について学る 春にこいて学になっていて学る		つのテーマを設ける。
		流すのではなく、分析! ニ焦点をあてる。	的な観点から音楽を把握で	できるようになることを目標	として、音楽分	↑析の基礎を学ぶ。本講義
C10-C (%0	-mm 2 95 C 0 0				
	-					
	養の修得)を	実現するため、次の3)				
			〔基礎的な知識を修得する ぎえ、説明することができ			
			説明することができる。			
	一画と準備学					
回数	授業の計画 準備学修(予					準備学修の目安(分)
第1回	導入:西洋	音楽史概観 音楽史概観				
	西洋音楽!	史における時代区分とそ	その音楽様式を概観する。			
	四業で学生	ご事項やキーワードを研	# 図 オ ス			160
	技术で子の	こ事項 ドイーノードを加	医前心り つっ			00
第2回	音楽作品(1) はじのトミに <u>ち</u> たさえ	のかについて共ニフ			
	百笨作品	はどのように存在する	のかについて考える。			
	授業内容を	確認したうえで、自分の)考えもまじえながら、し			160
	12.41.11.21			11 123 662 65 665 6		
第3回	音楽作品(2	7)	保証されるのかどうかにつ	リング考える		•
	日末作品(ル ⋈─1±はとひようにな	下皿でれるのかと フかにつ	かく行んる。		
	授業内容を	確認したうえで 白公の)考えもまじえかがら !	·ポートとしてまとめておく。		1 60
	スペいせて	_{年間} ひに ノんて、 日刀 0	> 17 C C C C C C W W . D C D	··· 1 C O C & C W C 60 \ 0		"

第4回	音楽作品(3) 音楽作品は、それを生み出した作曲者とどのような関係にあるのかについて、さまざまな考え方を学ん				
	授業内容を確認したうえで、自分の考えもまじえながら、レポートとしてまとめておく。	60			
第5回	楽譜 (1) 西洋音楽史における記譜法の変遷について学ぶ。	Ico			
	授業で学んだ事項やキーワードを確認する。	60			
第6回	楽譜 (2) 楽譜の機能や、音楽作品と楽譜の関係について考える。				
	授業内容を確認したうえで、自分の考えもまじえながら、レポートとしてまとめておく。	60			
第7回	調 音楽分析の出発点として、調(長調や短調)を中心とする音楽理論の初歩を学ぶ。				
	授業で学んだ事項やキーワードを確認する。	60			
第8回	音楽の形式 音楽における「形式」概念について整理したあと、さまざまな楽曲形式について概観する。				
	授業で学んだ事項やキーワードを確認する。	60			
第9回	変奏曲形式 (1) ベートーヴェンの《ディアベリのワルツによる33の変奏曲》を中心教材として、変奏技法について学ぶ。				
	授業内容を確認しながら、CD等を鑑賞する。	60			

第10回 変奏曲形式 (2)				
	前回に引き続き、ベートーヴェンの《ディアベリのワルツによる33の変奏曲》を中心教材として、変奏技法について学ぶ。			
	授業内容を確認しながら、CD等を鑑賞する。	60		
第11回	 ソナタ形式 (1)			
ип	ベートーヴェンのピアノ・ソナタ、弦楽四重奏曲、交響曲を教材として、ソナタ形式について学ぶ。			
	 授業内容を確認しながら、CD等を鑑賞する。	60		
第12回	ソナタ形式 (2) モーツァルトの協奏曲におけるソナタ形式について学ぶ。			
	授業内容を確認しながら、CD等を鑑賞する。	60		
第13回	ソナタ形式 (3)			
	リストの《ピアノ・ソナタ ロ短調》などの複雑なソナタ形式について学ぶ。			
	授業内容を確認しながら、CD等を鑑賞する。	60		
第14回	 音楽について語るための言葉			
7 ,7	音楽分析は、何のために行うのかについて考える。			
	 授業内容を確認したうえで、自分の考えもまじえながら、レポートとしてまとめておく。	160		
	大木			
第15回	まとめ これまでの授業を総括し、学期末試験対策を行う。			
		1		
	まとめプリントを中心にして、これまでの授業の内容を整理して記憶する。	60		
		1		

- ・配布プリントをもとに、講義を行う。 ・授業でとりあげる音楽作品のCDやDVDも鑑賞する。ただし、授業では作品の一部しか鑑賞することができないので、自分でも積極的 に作品に触れる努力をしてほしい。
- ・授業のなかで、あるいは授業の終わりに、その日の授業内容をふまえた簡単な実習もしくはテスト(レポート)を実施することもある (授業回数の3分の2程度)。実施日は事前に告知しない。
- ・学期末テストでは、基礎的な知識を問うとともに、あるテーマに沿って論じてもらう。
- ・授業の進捗によって、内容を一部変更する場合がある。

成績評価の方法

平常点(授業内レポートもしくはテスト)30%及び学期末テストの成績70%により評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

- 次の点に着目し、その達成度により評価する。 ・授業でとりあげた作曲家とその作品について基礎的な知識を修得し、分析的な観点から明確に説明することができる。
- ・音楽について自分なりの興味を深め、自由に論じることができる。

必要な予備知識/先修科目/関連科目 楽譜を読めることが望ましいが、もちろん読めなくても履修可。

西洋芸術音楽(クラシック音楽)を中心に扱うことを了承されたい。

特になし。

授業中に適宜紹介する。

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名		美術への招待	
教員名		人見 伸子	
科目ナン	バー	1101475080 単位数	2
配当年次		2 開講時期 2018年度 前期	2
テーマ・	概要		
挑戦した	「伝統」とは	É美術史には、それまでの伝統や価値観に新風をもたらす芸術家が次々に登場した。この授業は何だったのか、彼らがもたらした「革新」が次の世代にどう伝えられたかという点に注目されるキーワードに注目しながら、それぞれの芸術家や美術作品に関心をもち、理解を深めでいる。	しながら、その芸術を検証
到達目標 1. 近代美		E知り、要となる芸術家や作品への理解を深める。	
2. 現在開	催されている	5展覧会を訪れ、実際の作品に触れる機会を設け、報告レポートを書く。	
	画と準備学修 授業の計画		
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回	授業の概要 ・授業計画・	/ 近代美術の流れ やテキストについて説明する。	
	シラバスを。	よく読み、授業計画や概要を理解しておく。	60分
第2回	ダヴィッド ・19世紀初頭	と新古典主義 頁にフランスで活躍したダヴィッドと、古代美術復興の新たな動きについて	
	テキストや多事例を確認す	参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット−を利用して、他のする。	60分
第3回		ヒロマン主義 義と対峙するロマン主義、その中心画家だったドラクロワの作品と社会的背景について	
	テキストや参	参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット−を利用して、他の する。	60分

第4回	ターナー:風景画の黄金期 ・イギリスの風景画家ターナーは自然と真摯に向き合い、その美とエネルギーを表現した。
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。
第5回	クールベとレアリスム ・ありのままの現実を描こうとしたクールベと当時の美術界の状況について
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 60分 事例を確認する。
第6回	モデルニテの画家マネ ・印象派に先駆けて「近代生活」を描こうとしたマネについて
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。
第7回	ルノワールと印象主義 ・印象主義の誕生と中心画家ルノワールの生涯と作品について
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。
第8回	スーラと新印象主義 ・スーラが取り組んだ点描は、科学的精神の賜物だった。
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。
第9回	20世紀絵画の父セザンヌ ・現代美術の画家たちから尊敬を集めたセザンヌの生涯と作品について
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 60分 事例を確認する。

第10回	ゴーギャン:西欧社会からの離脱 ・西欧社会に見切りをつけ、新天地へと旅立ったゴーギャンの作品とその後について				
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。				
第11回	モローと象徴主義 ・国立美術学校教授として若手画家を育てながら、精神世界の表現に専心したモローの生涯と作品について				
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。				
第12回	クリムトと世紀末芸術				
	・世紀末ウィーンの華といわれるクリムトの生涯と作品について				
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 60分 事例を確認する。				
第13回	マティスとフォーヴィスム ・20世紀初頭、ピカソとともに美術の新時代を築いたマティスについて				
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。				
第14回	ダリとシュルレアリスム ・ダリとシュルレアリスム(超現実主義)の正体について				
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 60分 事例を確認する。				
第15回	まとめ・授業全体を振り返り、近代美術の潮流を確認する。				
	テキストや参考図書を読んで知識や視野を広めるとともに、画集やインターネット-を利用して、他の 事例を確認する。				

授業の方法
毎回プリントを配布し、スライドやビデオで画像を提示しながら、講義形式で授業を進める。最新の展覧会情報を紹介するので、美術館に 足を運び、実際の作品を見る機会を作ってほしい。
成績評価の方法 中間の報告レポート(30%)、期末のレポート課題(50%)、平常点(20%)を総合して評価する。 単位認定には、3分の2以上の出席と2回のレポート提出が必須条件である。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.
- 必要な予備知識/先修科目/関連科目 - 必要な予備知識/先修科目/関連科目
とくになし。
テキスト
高階秀爾監修 『[カラー版] 西洋美術史』 美術出版社 ISBN4-568-40064-3
参考書授業の中で随時紹介する。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	人間と美術
教員名	人見 伸子
科目ナンバー	1201475090 単位数 2
配当年次	2 開講時期 2018年度 後期
テーマ・概要	
	抗して以降、多数の日本の文物が海外に渡り、さまざまな地域や国に影響をもたらした。「ジャポニスム」と総称され
る現象は、その後、≒	半世紀ほど続いたが、表面的な日本趣味から精神の深い部分への浸透にいたるまで、その様相は多岐にわたる。 この
	ナる「ジャポニスム」の状況を紹介し、その特徴や国による違いを考察するとともに、建築や音楽といった他分野にも
	さらに現在、日本の文化が世界各国でどのように受容されているかについて検証し、グローバルな現代社会における文
化交流のあり方を考え	<i>(()</i>

- 到達目標
 ・ジャポニスムの普遍性を理解し、自分が発見した実証的な例について考察する。
 ・グローバル化が進む現代社会において、日本の文化が果たすべき役割について考えてみる。

†画と準備学修 授業の計画・内容	
	準備学修の目安(分)
授業の概要 / ジャポニスムとは何か? ・授業の内容や進め方、参考文献や評価について説明する。 ・黒船来航以前の日本と海外との交流について触れる。	
シラバスの内容を理解して授業にのぞむ。	60分
フランス(1)1890年以前:絵画と工芸の革新 ・パリ万博をきっかけに起こった日本ブームとは? ・文学者や美術評論家を魅了した日本 ・印象派の画家と浮世絵との関係	
・テキストの該当箇所 pp.26-50 を事前に読んでおく。 ・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	60分
フランス (2) 1890年以降:装飾芸術への浸透 ・日本人画商の活躍 ・ポスターや工芸品における日本美術の影響	
・テキストの該当箇所 pp.51-68 を事前に読んでおく。 ・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	60分
	 ・授業の内容や進め方、参考文献や評価について説明する。 ・黒船来航以前の日本と海外との交流について触れる。 シラバスの内容を理解して授業にのぞむ。 フランス(1) 1890年以前:絵画と工芸の革新・パリ万博をきっかけに起こった日本ブームとは?・文学者や美術評論家を魅了した日本・印象派の画家と浮世絵との関係 ・テキストの該当箇所 pp. 26-50 を事前に読んでおく。・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。 フランス(2) 1890年以降:装飾芸術への浸透・日本人画商の活躍・ポスターや工芸品における日本美術の影響 ・テキストの該当箇所 pp. 51-68 を事前に読んでおく。

第4回	イギリスのジャポニスム	
	・ロンドン万博とジャポニスム	
	・ヴィクトリア朝の絵画と浮世絵の関係 ・家具調度品・工芸品・書籍に現れた日本の影響	
	<u> </u>	
	・テキストの該当箇所 pp.69-89 を事前に読んでおく。	60分
	・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	
第5回	L アメリカ:東回りとフェミニズムのジャポニスム	
为이미	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	・日本の影響を受けた女性画家たち	
		60分
	・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	,,
第6回	オランダ:出島の国のジャポニスム	
	・東インド会社が果たした役割 ・陶磁器に見られる日本の影響	
	「阿阪命にたられる日本の影音	
	・テキストの該当箇所 pp.90-109 を事前に読んでおく。 ・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	60分
	・クヤルースムの具体的な争例を自り快証。 	
第7回		
	前衛芸術家グループ「二十人会 (レ・ヴァン)」の活動	
	・テキストの該当箇所 pp. 110-119 を事前に読んでおく。	60分
	・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	
第8回	L オーストリア:∶総合的ジャポニスム	
名の回	・ウィーン分離派とジャポニスムの関係	
		60分
	・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	0073
第9回	北欧のジャポニスム	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	・北欧デザインと日本の工芸の関係	
	・テキストの該当箇所 pp. 161-169 を事前に読んでおく。	60分
	・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	

第10回	建築のジャポニスム ・コンドル、マッキントッシュ、ライトを中心に、西欧と日本の双方向的な関係を考察				
	・テキストの該当箇所 pp.187-201 を事前に読んでおく。 ・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	60分			
第11回	音楽と舞台芸術のジャポニスム ・日本をテーマにしたオペラやオペラ・コミックの流行 ・ドビュッシーと日本 ・テキストの該当箇所 pp. 202-215 を事前に読んでおく。 ・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	60分			
第12回	・ジャポースムの具体的な事例を目り検証。 写真のジャポにスム				
33.12	・江戸末期から明治初期にかけて日本を訪れた西欧の写真家たち ・スティーグリッツやスタイケンを魅了した日本美術 ・テキストの該当箇所 pp. 216-230 を事前に読んでおく。	1 60分			
	・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	00 27			
第13回	モードのジャポニスム ・西欧に大量に輸出された日本のキモノと流行 ・日本の服飾を巧みに活かしたデザイナーたち				
	・テキストの該当箇所 pp.231-245 を事前に読んでおく。 ・ジャポニスムの具体的な事例を自ら検証。	60分			
第14回	クール・ジャパン:日本文化の海外発信 ・日本文化発信の歴史 ・今後の課題について				
	自分の考えをまとめる。	60分			
第15回	授業のまとめ ・これまでの授業を振り返り、理解を深める。 ・日本文化の海外発信について、自分の立場で考えてみる。				
	自分の考えをまとめて、レポートの準備をする。	60分			

授業の方法 毎回、スライドやDVDによって画像を提示しながら、講義形式で授業を進める。最新の展覧会情報を紹介するので、美術館に足を運び、実際の作品を鑑賞する機会をぜひ作ってほしい。
成績評価の方法
2回のレポート課題(30+50%) と出席点(20%) を綜合して評価する。 単位認定には、3分の2以上の出席と2回のレポート提出が必要である。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし。
テキスト ジャポニスム学会編『ジャポニスム入門』思文閣出版 2000年 ISBN4-7842-1053-9 C1020
参考書 大島清次 『ジャポニスム 印象派と浮世絵の周辺』 美術公論社 1980年、講談社学術文庫1992年
馬渕明子 『ジャポニスム 幻想の日本』 ブリュッケ 1997年、新版2004年 その他、授業時に随時紹介
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	多文化主義と文学
教員名	大熊 昭信
科目ナンバー	1301475100 単位数 2
配当年次	2 開講時期 2018年度 前期
異文化間の交流には 文学作品のうちで、	はどのような社会なのか。どのように形成されたのか。そこでの文化はいったいどのような形をとっているのか。また どのような形態があるのか。そうしたことを概論的に紹介しながら、現在、そうした状況から生産され消費されている 主として英米文学や英語圏の文学、それに日本文学から取り上げ、その概要や作家の抱えた問題などを、適宜映像や生 参照しつつ、批評的に解説する。あわせて多文化社会の文学の特徴であるクレオールやエクソフォンの文学、世界文学 訳の役割を考える。

到達目標

多文化社会とそこで生まれた文学を理解し、それを批評的に分析できる能力を涵養する。

第3回 第3回 多文化社会のありかた(1)

むこと。

予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 90分 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読 むこと。

予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 90分 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読

第4回	第4回 多文化社会のありかた(2)
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 90分 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読 むこと。
第5回	第5回 多文化社会における移動―作家と作品
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 90分 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読 むこと。
第6回	
33°E	
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 90分 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読 むこと。
第7回	
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で ┃ 9 0分
	講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読むこと。
第8回	第8回 宗主国の作家 (1) 一移住者
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 90分 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読 むこと。
第9回	第9回 宗主国の作家(2)一旅行者、コスモポリタン
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 90分 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読 むこと。

第10回	第10回 クレオール	
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で 講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読 むこと。	9 0分
M: 11 []	# 4 A D - T A V T - T	
第11回	第11回 エクソフォニー	
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読むこと。	9 0分
第12回	第12回 翻訳	
37 12 E		
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読むこと。	9 0分
第13回	第13回 世界文学	
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読むこと。	90分
第14回	第14回 日本の場合―在日と移民、アイヌと沖縄	
	予習は、成蹊ポータルで配信された授業概要を通読しておくこと。復習は、その概要に基づいて授業で講義した内容のメモを通読して、理解を定着させること。また、興味があれば、紹介された参考書を読むこと。	90分
第15回	第15回 まとめ	
3,710		0.07
	これまでの講義概要を通読して、質問内容を整理しておく。	90分

節帯の上は
授業の方法 パソコンからの映像を見ながらの講義を中心とするが、質疑応答の時間を求めて双方向の授業にする。
ハノコンからの吠隊を見なからの語我を中心とするか、貝疑心合の時间を水のに双方向の技术にする。
成績評価の方法
期末試験(80%) と授業への積極的な貢献度(20%)などで総合的に評価する。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし。
テキスト
特になし。
N-6-=
参考書 ***
第1回の授業概要で参考書リストを成蹊ポータルで配信する。あえて挙げれば
大熊昭信・庄司宏子編著『グローバル化の中のポストコロニアリズム―環太平洋諸国の英語文学と日本語文学の可能性』(風間書房、20
1 3) 2 0 世紀英文学研究会編『英文学と他者』(金星堂、2014)
20世紀英文子研究会編『英文子と他有』(並生堂、2014) アッシュクロフト、ビル、ガレス・グリフィス、ヘレン・ティフィン『ポストコロニアルの文学』木村茂雄訳、青土社、1998)
プランエフロンド、こル、ガレス・プランイス、ベレン・ディンイン『小スドコローデルの大子』 小門及離前、肩工性、「998/
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	サブカルチャーと文学	
教員名	清水 均	
科目ナンバー	1201475110	単位数 2
配当年次	2	開講時期 2018年度 前期

テーマ・概要

かつては「サブ・カルチャー」とみなされ、文字通り「サブ」扱いされていた(ポジティブにもネガティブにも)アニメやマンガといった文化領域が、メイン・カルチャーあるいはポップ・カルチャーとして「日本を代表する文化」という扱い方をされるようになって久しい。「文化」は私たちにとって何らかの価値や意味があるとされるが、特に、私たちの日々の営みと地続きに存在する「サブ・カルチャー/ポップ・カルチャー」は、意識的にも無意識的にも、あるいは好きでも嫌いでも、私たちの生活様式や生活感情そのものに価値や意味をもたらすものであるといえ、私たちは嫌でもその強い影響下にあるといえる。そうした文化環境にあって、「文学」は「活字離れ」という一括りの元でその地盤沈下がたびたび指摘されるが、では、現代の「文学」は「サブ・カルチャー/ポップ・カルチャー」から疎外された存在(=無関係)でいられるのであろうか?

本講座では、特に2000年代の「サブ・カルチャー/ポップ・カルチャー」を中心とする現代の文化状況を俯瞰すると同時に、そうした文化 状況における「文学」の立ち位置を、主に村上春樹において検証することとする。

到達日標

①日本の現在の文化環境についての概要を知ることによって、現代人である私たちが、今どのような世界に存在しているのかを把握できる。

②現代社会が戦後、特に高度経済成長期とバブル期を経てどのように形成されてきたかについて、主に「文化」の視点によってその歴史観 を説明することができる。

③私たちが生きる現代にあって、自らが他者や社会とどのように関わりながら生きていけるのかということのヒントを得ることができる。 ④様々な文化の中にあって現代日本文学は何を表現してきたのか、今後何を表現すべきなのかを見通すことができる。

	h画と準備学修	
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス及びイントロダクション 序 『新世紀エヴァンゲリオン』と文化の変容 / 戦後日本の文化状況の推移を概観する	•
	(予習) 「高度経済成長」と「バブル」に関して、映像(Youtube等を含む)や関連書籍によって各自でその概要を理解しておく。 第7回目の授業時に予定している「到達度確認テスト」までの期間に各自時間を作って予習しておく。	60分~90分
第2回	I-1 2000年代に到るまでの想像力の変容 : 高度経済成長終焉前後における変容① -マンガ表現の変容	1
	(予習) 「高度経済成長」と「バブル」に関して、映像(Youtube等を含む)や関連書籍によって各自でその概要を理解しておく。 第7回目の授業時に予定している「到達度確認テスト」までの期間に各自時間を作って予習しておく。 (復習) 第2回目の授業内容のポイントをまとめておく。	60分~120分
第3回	I-2 2000年代に到るまでの想像力の変容 : 高度経済成長終焉前後における変容② -大衆音楽の変容	
	(予習) 「高度経済成長」と「バブル」に関して、映像(Youtube等を含む)や関連書籍によって各自でその概要を理解しておく。 第7回目の授業時に予定している「到達度確認テスト」までの期間に各自時間を作って予習しておく。 (復習) 第3回目の授業内容のポイントをまとめておく。	60分~120分

** A	1.2.2000年出口到了十六の相係もの本南	1
第4回	I-3 2000年代に到るまでの想像力の変容 京毎名はより、これは、スカロの	
	:高度経済成長終焉前後における変容③	
	-映像にみる「家族」の問題と「個人主義」 の浸透	
		100 () 100 ()
		60分~120分
	「高度経済成長」と「バブル」に関して、映像(Youtube等を含む)や関連書籍によって各自でその概	
	要を理解しておく。	
	第7回目の授業時に予定している「到達度確認テスト」までの期間に各自時間を作って予習しておく。	
	第4回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
//r [[]	7. 4. 0000 F. U. G. T. 7. 4. 4. 9. 48. 4. 9. 4. 6.	
第5回	I-4 2000年代に到るまでの想像力の変容	
	:バブルとその崩壊前後 -村上春樹の登場とその変容	
	一代工存倒の豆場とての変合	
	(予習)	60分~120分
		00 37 ~ 120 37
	「高度経済成長」と「バブル」に関して、映像(Youtube等を含む)や関連書籍によって各自でその概要を理解してなり	
	■要を理解しておく。 第7回目の授業時に予定している「到達度確認テスト」までの期間に各自時間を作って予習しておく。	
	第7回日の投来時にアたしている「到達及確認アスト」まての新聞に各日時間で作ってア自しておく。 (復習)	
	第5回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
第6回	Ⅱ-1 2000年代の想像力の展開	
35 VID	:「古い想像力」から「新しい想像力」へ	
	・・ロゥ Pivivi O・M Oo・M Oo・M Noise	
	(予習)	60分~90分
	「高度経済成長」と「バブル」に関して、映像(Youtube等を含む)や関連書籍によって各自でその概	007) ~ 307)
	要を理解しておく。	
	第7回目の授業時に予定している「到達度確認テスト」までの期間に各自時間を作って予習しておく。	
	第7日日の100元末時にアとしている「到達及唯職アスト」よくの新聞に石日時間を下ってアロしておく。 (復習)	
	第6回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
	NOBIORXIIIONTOTESCOCIONS	
第7回	到達度確認テスト	•
л., <u>П</u>	・予習内容の理解度をチェックするためのテスト	
	Tarra de la companya	
	Ⅱ-2 2000年代の想像力の展開	
	:「郊外共同体」の可能性	
	一映画『下妻物語』を中心に①	
	(予習)	60分~90分
	村上 村上春樹『1084』(計3巻)を、第13回目の授業時までに読んでおく。	
	(復習)	
	第7回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
	37 LL 0 X 7 L 0 X 7 L 0 C 0 C 0 C 0 C 0 C 0 C 0 C 0 C 0 C 0	
	1	
第8回	Ⅱ-3 2000年代の想像力の展開	-
), o o p	:「郊外共同体」の可能性	
	一映画『下妻物語』を中心に②	
	(予習)	60分~90分
	対上春樹『1084』 (計3巻) を、第13回目の授業時までに読んでおく。	'' ''
	(復習)	
	第8回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
第9回	Ⅱ-4 2000年代の想像力の展開	
	: 昭和ノスタルジーブームと家族の問題	
	-『クレヨンしんちゃん劇場版』を中心に	
	(予習)	60分~90分
	村上春樹『1084』(計3巻)を、第13回目の授業時までに読んでおく。	
	(復習)	
	第9回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
		I

第10回	Ⅱ-5 2000年代の想像力の展開	
	:新たな家族像をめぐって	
	- 『サマーウォーズ』を中心に	
	(予習)	60分~90分
	(ア自) 村上春樹『1Q84』(計3巻)を、第13回目の授業時までに読んでおく。	005 ~ 905 ·
	刊工作詞『1904』(FIO名)と、第10回日の技术時よくに説んでおく。 (復習)	
	第10回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
第11回	II-6 2000年代の想像力の展開	
おい回	:村上春樹とその周辺	
	- 村上春樹エルサレム賞スピーチと	
	伊坂幸太郎『モダンタイムズ』	
	(予習)	60分~90分
	↑♪ョク 村上春樹『1Q84』(計3巻)を、第13回目の授業時までに読んでおく。	007] - 907]
	(復習)	
	第11回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
第12回	Ⅱ-7 2000年代の想像力の展開	
	: 村上春樹『1084』を読む①	
	(予習)	60分~90分
	、, こ, 村上春樹『1Q84』(計3巻)を、第13回目の授業時までに読んでおく。	,
	(復習)	
	第12回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
第13回	Ⅱ-8 2000年代の想像力の展開	
	: 村上春樹『1084』を読む②	
		60分~90分
	第13回目の授業内容のポイントをまとめておく。	
tric 1 A 🖂	T. 0. 0000 F // 0. TR // 1. 0. TR	
第14回	II-9 2000年代の想像力の展開 : 『魔法少女まどか☆マギカ』と『サイコパス』	
	: 『魔法少女まとか☆マイカ』と『リイコハス』 	
	(45-77)	Inn the same
	(復習) 第14回目の授業内容のポイントをまとめておく。	60分~90分
	第14回日の技業内谷のバイントをまとめておく。 	
第15回	II - 10 現代文化の現在地	
WI LOFE	:『シン・ゴジラ』と『君の名は。』の共通点	
	: 私たち(主人公たち)は何と戦っているのか	
	(復習)	60分~90分
	(復音) 第15回目の授業内容のポイントをまとめておく。	00万・マックカ
	MITTER TO MAINTENANT OF THE WOOD NO.	
		I

授業の方法
授業内容からすれば学生間の意見交換ができる演習形式が望ましいが、通例の受講者数からすると、基本的には講義形式をとらざるをえない。「到達度確認テスト」と「最終レポート」において授業内容の把握度、理解度を計るので日頃の予習・復習を各自充分に行なっておい
で、「到達皮権能がスト」と「最終レルート」において技業内各の指揮皮、壁牌皮を計るのでも頃のです。複音を各自元ガに打なっておい てほしいし、それを含めて「授業」ということになる。
尚、第1回目の授業から内容に深く立ち入るので、その後の授業理解のためにも受講者は最初の授業から出席してほしい。
成績評価の方法
1、平常点:授業参加状況並びに「到達度確認テスト」に対して50%
尚、「到達度確認テスト」の課題は以下の通りである。
「到達度テスト」の課題:「高度経済成長」「バブル」についての予習をまとめたもの。
2、「最終レポート」に対して50% 尚、「最終レポート」の課題等については授業時に指示する。
「「「「「」」の味趣寺に「いいは技未時に指示する。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
放映大子の放稿計画基準(子則第39条)に準拠する。/drades in the course are based on the criteria of serker offiversity Regulation No.39.
negaration no. 53.
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特に必要な予備知識等はない。
付に必ずるア連科を表するない。
テキスト
特に指定するものはない。授業は随時プリント資料を配布してこれを使用する。
参考書
<u> 参考音</u> 適当であると思われるものにつては授業時に紹介する。
胆当 Cののことが1/1/2のでしています。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付ける。

単位数 2	科目名		ことばの科学					
開講時期 2018年度 前期 Fで講義するものである。ことばの諸相を音声・形態・統語・意味・語彙・文体の観点から解説ことばの歴史的変化などについて、ブリントを用いて説明していく。具体的には、最も変化が大き象として講義する。 でく一般的な知識を身につけることを目標とする。音声学、言語学などの授業を受けていると、では、 準備学修の目安(分) の授業内容の説明を行う。 0分	教員名		小倉 美知子					
関議時期 2018年度 前期 ドで講義するものである。ことばの諸相を音声・形態・統語・意味・語彙・文体の観点から解説ことばの歴史的変化などについて、ブリントを用いて説明していく。具体的には、最も変化が大き象として講義する。 ごく一般的な知識を身につけることを目標とする。音声学、言語学などの授業を受けていると、では、表現のでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれ	科目ナン	バー	1101475130				単位数	2
二とばの歴史的変化などについて、プリントを用いて説明していく。具体的には、最も変化が大き像として講義する。 ごく一般的な知識を身につけることを目標とする。音声学、言語学などの授業を受けていると、で 準備学修の目安(分) の授業内容の説明を行う。 0分	配当年次		2		開講時期	2018年度	前期	
二とばの歴史的変化などについて、プリントを用いて説明していく。具体的には、最も変化が大き像として講義する。 ごく一般的な知識を身につけることを目標とする。音声学、言語学などの授業を受けていると、で 準備学修の目安(分) の授業内容の説明を行う。 0分	テーマ・この授業		‡礎を分かけ見∪形で ≣	#恙するものである こと	げの諸相を音声	. 形能。統	运。音味 。該	5畳・文体の組占から解説する
ごく一般的な知識を身につけることを目標とする。音声学、言語学などの授業を受けていると、。 準備学修の目安(分) の授業内容の説明を行う。	と共に、	ことばと社会	€・ことばと脳・ことに	ばの歴史的変化などについ	て、プリントを	用いて説明	していく。具	は は体的には、最も変化が大き
準備学修の目安(分)	く、現仕	は世外言語	ごもめる央語を対象とし	しに蔣莪り る。				
準備学修の目安(分)								
準備学修の目安(分)								
準備学修の目安(分)								
準備学修の目安(分)								
準備学修の目安(分)								
準備学修の目安(分)								
準備学修の目安(分)								
準備学修の目安(分)	到達目標		-#==	60 46 45 40 5th 4 th 1 1 7		- 7 · + + 4	====	*の切場とロリー1、フリーよう
の授業内容の説明を行う。 0分	ことはに に内容が	こついて、特I [、] 理解しやすし	こ央語についてのごく- いと思う。	- 般的な知識を身につける	ことを目標とす	る。昔声学	、言語字など	この授業を受けていると、さら
の授業内容の説明を行う。 0分								
の授業内容の説明を行う。 0分								
の授業内容の説明を行う。 0分								
の授業内容の説明を行う。 0分								
の授業内容の説明を行う。 0分	授業の計	画と準備学	多					
の授業内容の説明を行う。 0分	回数	授業の計画	• 内容					進世光板の日中(ハ)
	第1回	準備学修(予 Introduction						準備字修の日安(分)
				W				lo o
の基礎。		ノリントを	配布し、これからの授業	兼内谷の 説明を行 う 。				0分
の基礎。								
の基礎。								
の基礎。								
	第2回	音について。	音声学・音韻論の基礎	楚。				.
内容を復習しておくこと。		プリントを	配布し説明する。内容:	を復習しておくこと。				30分
	*** 0 🗔			7.04. 4.18. 0.14. 48.1	0001-T- T-1	\$11 12 7 0 1		
	第3回	首変化につ	いて。なせ音は変化すん	るのか、なせスペリンクと	の間に不一致か	*生するのか	0	
化するのか、なぜスペリングとの間に不一致が生ずるのか。								
化するのか、なぜスペリングとの間に不一致が生ずるのか。		音変化につ	ハて説明するので、前[回の内容をよく記憶してお	くこと。			30分
内容を復習しておくこと。 30分	弗Z凹 ———							30分
内容を復習しておくこと		ブリントをi	配布し説明する。内容:	を復習しておくこと		•	•	•
I								
	第3回	音変化につ	ハて。なぜ音は変化す <i>-</i>	るのか、なぜスペリングと	の間に不一致か	が生ずるのか	, 0	,
化するのか、なぜスペリングとの間に不一致が生ずるのか。								
 化するのか、なぜスペリングとの間に不一致が生ずるのか。								
化するのか、なぜスペリングとの間に不一致が生ずるのか。		音変化につ	ハて説明するので、前[回の内容をよく記憶してお	くこと。			30分
								ı

第4回	形態について。なぜ形態は変化するのか。	
	通時的変化、地域による変化について説明するので、内容を整理しておくこと。	30分
第5回	語形成について。ことばの様々な形はどのように作られるのか。	
	プリントを配布して説明するので、前回と合わせ、内容を整理しておくこと。	30分
第6回	統語ということ。なぜ様々な文法があるのか。	
#10E	制Lin C U・ J C C。 な E 1*ペ な人/A が のののが。	
	文法の変遷を説明するので、初回に配布したプリントの参考文献を見ておくこと。	30分
第7回	文法の諸問題。なぜ文法は変わっていくのか。	
	プリントを用いて問題を解いていくので、前回の説明を復習しておくこと。	30分
第8回	このばの意味。辞書で見る意味について。	
	プリントを配布するので参照すること。	30分
第9回	ことばの意味はどのように変化するのか。辞書的意味とコンテクストによる意味。	
	前回のプリントをよく見ておくこと。	30分

第10回	こ t ばが語彙を増やす仕組みである語形成と借入語。		
	プリントを配布するのでよく読んでおくこと。	30分	
第11回	語彙の歴史的変化。選ばれて残るものと無くなるもの。		
	前回のプリントをよく読んでおくこと。	30分	

第12回	文体とジャンル。書きことばの変遷。		
	プリントを配布するので、よく読んでおくこと。	30分	
第13回	言語習得の過程。ことばはどの様に学ばれるか。		
ж10 <u>Б</u>	日出日内の延生。ことはほどの様に子はれるのが。		
	プリントを配布するので、初回のプリントの参考文献と合わせて見ておくこと。	30分	
第14回	社会の中で変化することば。地域方言に対する社会方言。		
	初回のプリントの参考文献をよく見ておくこと。	30分	
第15回	まとめ		
	これまでに配布したプリントをよく見て、その内容を復習しておくこと。	60分	

講義形式で、	ほぼ毎回プリントを配布し説明する。授業時間の最後に10~15分程度の質問時間を設けるので、できるだけ質問するように心
がけること。	
0	
成績評価の方	· 注
	要と思われる問題について、少なくとも1回はレポートを提出してもらう。また授業の最終週に筆記試験を行う。
技术の间に必	安とぶわれる问題について、少なくとも「回はレハートを掟山してもり」。また技業の取於週に単記試験を行う。
+ / ± = = (= - + +	
成績評価の基	準
	.績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation I	lo. 39.
V.T. 6. 7. 11. 6.	
	識/先修科目/関連科目
音声学、言語	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよ
音声学、言語	
音声学、言語	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよ
音声学、言語 うな素養がな	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。
音声学、言語 うな素養がな	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。
音声学、言語 うな素養がな	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよ
音声学、言語 うな素養がな	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。
音声学、言語 うな素養がな テキスト プリントによ	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。
音声学、言語 うな素養がな	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。
音声学、言語 うな素養がな テキスト プリントによ	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。
音声 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。 り授業を進める。初回に参考文献を列挙したプリントを配布するので、その際に読むべき書籍などを紹介する。
音 声 声 ま さ で で で で で で で で で で で で で	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。 り授業を進める。初回に参考文献を列挙したプリントを配布するので、その際に読むべき書籍などを紹介する。 法等(オフィス・アワー)
音 声 声 ま さ で で で で で で で で で で で で で	学などの授業を受けていると、授業内容が理解しやすい。また英文法、ドイツ語、フランス語なども役に立つ。しかしそのよくとも差し支えない。 り授業を進める。初回に参考文献を列挙したプリントを配布するので、その際に読むべき書籍などを紹介する。

科目名	ファッションと文化			
教員名	和田 早苗			
科目ナンバー	1101475140		単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期	2018年度 前期	
	•	•		

アーマ・概要
ファッションを服の形態についてのみ表すことばとしてではなく、人や民族、歴史にかかわる文化としてとらえていく。
講義では、ファッションを、衣服・服飾・服装・流行・・・などを表わすことばとして広く扱う。まず、人間にとってファッション
(服)とは何であり、なぜ人は装うのかを考える。次に、衣服の役割・機能面を概観した後でファッションの歴史(服飾史)をたどりながらその時代背景や生活感情との関わりの中で服をとらえていく。また、現象としての流行やファッション産業などにも触れる。
外面的なおからなどにより、内容や原皮を変更する場合すます。 なお、授業の進捗により、内容や順序を変更する場合もある。

到達目標

DP1(教養の修得)、DP3(他者との協働)、DP5(表現力、発信力)を実現するため、次の3点を到達目標とする。
①文化的な側面から、ファッション(服)をとらえて、説明することができる。
②ファッション(服)と人との関わりについて自分なりに考えると述べることができる。

- ③ファッションに関する事象についてグループで意見交換を行い、他者の意見から様々な考え方、見方について学び、自分の考えを深める ことができる。

	十画と準備学修	
回数	授業の計画・内容	**#**********************************
W-1 [2]	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 授業の内容、授業の進め方、受講上の注意点 ファッションとは何か	
	【予習】シラバスを読み、講義内容の全体像を把握する。 【復習】ファッション(服)についての自分の考えを整理する。	60
第2回	人はなぜ服を着るのか	
	【予習】第1回目の授業内容をふまえて、人にとってファッション(服)とは何か、自分の考えを持つ。 【復習】文学作品の中の服飾描写の例を確認する。	60
第3回	衣服の役割	
	【予習】衣服にはどのような役割があるのか、自分なりに考えておく。 【復習】今回取り上げた内容について、具体例を考える。	60

第4回	衣服の機能		
	【予習】快適な衣服について自分の考えを整理しておく。 【復習】日本の季節に応じた服装について理解を深める。		
第5回	民族服、西洋ファッション史(1)		
	【予習】様々な気候に適した服とはそれぞれどのようなものか、考えをまとめておく。 60		
	【復習】歴史の流れの中でのファッション、着る人とファッションとのかかわりについて考えを整理する。 		
第6回	西洋ファッション史 (2)		
	【予習・復習】歴史の流れの中でのファッション、着る人とファッションとのかかわりについて考えを 60 整理する。		
第7回	西洋ファッション史 (3)		
	【予習・復習】歴史の流れの中でのファッション、着る人とファッションとのかかわりについて考えを 60		
	整理する。		
第8回	日本服飾史(1)		
	【予習・復習】歴史の流れの中での服飾、着る人と服飾とのかかわりについて考えを整理する。 60		
第9回	日本服飾史(2)		
	【予習・復習】歴史の流れの中での服飾、着る人と服飾とのかかわりについて考えを整理する。 60		

第10回	服飾と文様		
	【復習】着物の文様の構図や意味などについて理解を深める。	60	
第11回	ファッションと流行		
	【復習】流行という事象とファッションとのかかわりについて自分の考えを整理する。	60	
第12回	第二次世界大戦後の日本の流行色・ファッションの変遷		
	【復習】ファッションと経済、社会生活とのかかわりについて理解する。	60	
第13回	ファッション産業		
	【復習】今回取り上げた内容を身近な例に当てはめて説明できるようにする。	60	
第14回	様々なファッション		
	【復習】今回取り上げた内容と自分とのかかわりについて考える。	60	
第15回	季節感と服、着心地とは		
	【予習】着心地について考えをまとめておく。 【復習】学期末試験に備え、これまでの学修内容を確認する。	90	

授業の方法
スライド、DVDなど視聴覚教材を使用しながら講義を中心に授業を進める。その日の配布資料や講義内容に関する授業内の小レポートを毎回実施する。小レポートの記述内容の一部を紹介しながら授業を進めることもある。また、少人数で授業の内容に関するディスカッショ
本国 実施する。 パンパードの記述的各の一部を紹介しながら100米を進めることもある。 よた、タス数で100米の内各に関するティスカック = ンを行うことも予定している。
│ なお、第1回目の授業時に受講上の注意点を説明する。
私語には厳しく対処する。
成績評価の方法
投票内の提出物(約70%)、筆記試験(約30%)、授業への参加状況などに基づき総合的に評価を行う。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。
次の点に着目し、その達成度により評価する。 ・文化的な側面から、ファッション(服)をとらえているか。
・ストリス
- ファッションに関する事象について、他者の意見から様々な考え方、見方について学び、自分の考えを深めることができているか。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし
<u>テキスト</u> 特になし
行になし
<u>参考書</u>
特になし
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	映像と文化	1
教員名	滝浪 佑紀	
科目ナン	1201475150	単位数 2
配当年次		
テーマ・	概要	
私ビータ年 バ募 たデ本一のよーり ちオ科映特りグ、 旦 とに目画撮具、み	映像文化の関係はいかなるものだろうか?120年にわたる映画史を辿りつつ、最近のスクにも考察の対象を広げることによって、20世紀・21世紀の映像文化について、概観的かっでは、イントロダクションに続いて、映画の発明から、サイレント映画・トーキー映画、言までを、ハリウッド、欧州、日本映画を中心にたどり、続いて、その応用編として、(1)にG映画の考察、(2)映画を超えて、テレビやミュージックビデオ、アニメの分析に着手では、グリフィス、エイゼンシュタイン、小津、溝口、ヒッチコック、キャプラ、タランティーノ、ノーランなどの映画監督の作品を扱うことになるだろう。また、授業のがなさんの興味のある作品についても授業で扱っていきたいと考えている。	つ多角的にアプローチする。 ニューウェーブ、近年のブロックバス サイレント映画美学、政治的映画、近 する。 ウェルズ、ゴダール、大島、スピル 生行に応じて、学生からもリクエストを
	・画と準備学修 授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
	映画を見るとは?:編集の原理 [キーワード]ウォン・カーウァイ、小津安二郎、黒沢清、編集、視線 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	I 60分
第2回	映画史Ⅰ:初期映画から物語映画へ	·
	[キーワード] リュミエール兄弟、D・W・グリフィス、映画言語の発展、編集の文法、物詞	吾映画
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分
第3回	映画史 II: サイレント映画全盛期	'
	〔キーワード〕ジョセフ・フォン・スタンバーグ、セルゲイ・エイゼンシュタイン、欧州 フレント映画美学	アヴァンギャルド映画、リズム、サイ
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分

第4回	映画史皿:トーキー初期 		
	[キーワード] フランク・キャプラ、バスビー・バークレー、小津安二郎、編集のリズムの変化、ミュージカル、第二次世界大 戦前に映画が含意していた「夢」		
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分	
第5回	映画史Ⅳ:戦後映画 〔キーワード〕オーソン・ウェルズ、フレッド・アステア、フィルム・ノワール、B級映画、スタジオ・	・シュニノの海茲の火!	
	新しい映画文法	・フステムの洞洛の売し、	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分	
第6回	映画史 V: ニューウェーブ		
	[キーワード] ジャン・リュック・ゴダール、大島渚、吉田喜重、映画の持つ政治性、非物語映画		
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	[60分	
第7回	映画史 VI:ニューウェーブ以降		
	〔キーワード〕アメリカン・ニュー・シネマ、プログラム・ピクチャー、勝新太郎、ロマン・ポランス ダース	キー、ヴィム・ヴェン	
	ダース		
	ダース	キー、ヴィム・ヴェン 60分	
	ダース		
	ダース		
第8回	ダース 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史狐: ブロックバスター		
第8回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。		
第8回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	60分	
第8回	ダース 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史狐: ブロックバスター		
第8回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	60分	
第8回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	60分	
第8回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	60分	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史 で: ブロックパスター [キーワード] スティーブン・スピルバーグ、スターウォーズ、スペクタクル、大作映画とは何か? 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史	60分 60分 しい編集法、CG、特撮	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史 映画史 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	60分	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画史	60分 60分 しい編集法、CG、特撮	

第10回	映画史を捉え直すⅠ:サイレント映画美学 	
	〔キーワード〕小津安二郎、エルンスト・ルビッチ、1920年代のハリウッド映画、戦間期大衆文化、大	恐慌
	 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分
第11回	映画史を捉え直す Ⅱ :政治的映画	•
	〔キーワード〕大島渚、テレビ、1968年、ポリティカル・モダニズム	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分
		0071
第12回	映画史を捉え直す皿:2000年以降のアクション映画	
	〔キーワード〕バットマン、ミッション・インポッシブル、マトリックス、CG、特撮、人間と機械の関	係、人間とコンピュータ
	の関係、スマートフォン	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分
第13回	映画以外の映像文化Ⅰ:テレビ	
	[キーワード] 野球中継、ニュース、映画とテレビの相違点、スタンリー・カヴェル	
	[キーワード]野球中継、ニュース、映画とテレビの相違点、スタンリー・カヴェル	
	[キーワード] 野球中継、ニュース、映画とテレビの相違点、スタンリー・カヴェル 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分
		60分
		60分
		60分
Mrs 4 4 F	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ	60分
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	60分
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ	60分
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ	60分
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション	
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション	
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II : ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	
第14回	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化II:ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化II:アニメ	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II : ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化II:ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化II:アニメ	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化II:ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化II:アニメ	
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: アニメ [キーワード] アニメ、ジブリ作品、リミテッド・アニメーション、3D	60分
	授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: ミュージックビデオ [キーワード] MTV文化、You Tube、映画とは異なる編集の原理、アトラクション 授業時に指定した映像作品について、あらためて鑑賞すること。 映画以外の映像文化 II: アニメ [キーワード] アニメ、ジブリ作品、リミテッド・アニメーション、3D	60分

授業の方法
映像を共に鑑賞し、それについて論じる。
が、体でストー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
成績評価の方法
学期末レポートを課す。
子朔木レハートで味り。
- 学術学芸/アの女 洋
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
心亜なる供知識ノ生体対日ノ関連科日
必要な予備知識/先修科目/関連科目
<u>必要な予備知識/先修科目/関連科目</u> とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。
必要な予備知識/先修科目/関連科目 とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。
必要な予備知識/先修科目/関連科目 とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。
<u>必要な予備知識/先修科目/関連科目</u> とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。
必要な予備知識/先修科目/関連科目 とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1 』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶ
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶあたって有益
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 デキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶあたって有益 質問・相談方法等(オフィス・アワー)
とくに予備知識はいらないが、映画や映像文化に対し、強い思い入れがあることが望ましい(好き嫌いは問わない)。 テキスト 必要があれば、授業内で周知します。 参考書 ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1』堤和子・増田珠子・堤龍一郎訳、フィルムアート社、2003年、映画の専門用語を学ぶあたって有益

科目名	映像と人間	
教員名	北小路 隆志	
科目ナンバー	1201475160	単位数 2
配当年次	2	開講時期 2018年度 後期

テーマ・概要

テーマは「映画のより分析的な見方」を学んだうえで、「映画を通して《見ること》の多様性や歴史」を考察し、その一帰結として、現在の「監視社会」を捉えることです。ふだん皆さんは映画館に出かけたり、家で鑑賞するなどして映画に接し、よほど難解であったり特殊であったりする作品でもない限り、その内容を理解しているはずです。しかし、皆さんは本当に映画を《見ること》ができているでしょうか。単にそこで展開される物語に一喜一憂しているだけではないでしょうか。19世紀末に誕生した映画は、20世紀を《映画の世紀》とする見方も成立するほど、巨大な娯楽産業として世界中で影響力を持ち、わたしたちの視覚のあり方を決定づけました。映画は長い時間をかけて、さまざまな物語を語るための技法を身につけ、それを洗練させたり変化させたりしてきており、今なおさまざまな視覚表現の規範となっています。この授業では、まず(物語の)「内容」に傾きがちなわたしたちの映画鑑賞のあり方に疑問を呈し、(物語の)形式(語り方や映画技法、技術的な側面)により焦点を当てた鑑賞法について学びます。さらに、そうした下地を会得したうえで、「見ること(記述がら20世紀への移行期に出現した新たな視覚芸術=映画を通して、ほとんどの人にとって当然のものとして把握されてきたのか。19世紀から20世紀への移行期に出現した新たな視覚芸術=映画を通して、ほとんどの人にとって当然のものとしてある《視覚=見ること》についての認識を新たにしてもらおうと考えています。この授業は、そうした「見ること」の多様性や歴史の帰結として、「監視社会」を捉え、視覚に伴う《権力》の問題を扱うことで締め括る予定です。

到達日標

①現在もなお規範となっている映画の基本的な技法を学び、より分析的な映画(映像)鑑賞法を身につけることができる。 ②映画を通して「見ること=視覚」の歴史や哲学を学び、とりわけ、「見ること=視覚」と「権力」の関係から生じる、「監視社会」についての理解を深めることができる。

授業の計画と準備学修 回数 授業の計画・内容 準備学修(予習·復習等) 準備学修の目安(分) 第1回 ガイダンス ・授業の概要や狙い、進め方について説明する。 ・参加者各自に、これまで抱いてきた映画観について発表を求め、検討する。 ・シラバスの内容を読み込み、あらかじめ授業内容を把握する。 ・各自の映画観(これまでどのような映画を見てきたか、どんな映画が好きか、それはなぜか、など) をまとめておくこと。 映画の見方についての授業① 第2回 ・映画の基本的性格をめぐる考察〜映画の「平面性」とフレームによる限定について (関連資料の配布) ・授業で習った内容の確認と理解。 ・関連資料の読み込みと理解しにくい箇所の下調べ。 映画の見方についての授業② 第3回 映画的空間についての考察。 ・画面と画面外空間の関係について。 ・授業で習った内容の確認と理解。 60 ・関連資料の読み込みと理解しにくい箇所の下調べ。

第4回	映画の見方についての授業③ ・ショットとはなにか。 ・その分類法やカメラの動きについて。	
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・関連資料の読み込みと理解しにくい箇所の下調べ。	60
第5回	映画の見方についての授業④ ・サウンドをめぐる考察。 ・サウンドと画面の関係について。 (関連資料の配布) ・授業で習った内容の確認と理解。	90
	・サイレント映画を見る。	
第6回	映画の見方についての授業⑤ ・サイレント映画固有の魅力と可能性。 ・ここまでの授業のまとめ。	
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・関連資料の読み込みと理解しにくい箇所の下調べ。	60
第7回	小テスト ・これまでの授業内容の理解度を確認するためのもの。	
	・テスト準備のために、これまでの授業内容の復習や配布資料の精読。	90
第8回	小テスト内容についての振り返り。・課題についての考察。・各自の答案についての検証。	
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・各自のテスト結果への振り返り。	60
第9回	映画の起源とそこでの眼差し (視覚) のあり方についての授業① ・関連作品の上映と簡単な解説。	
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・関連作品への考察を小レポートにまとめる。	90

第10回	映画の起源とそこでの眼差し(視覚)のあり方についての授業② ・関連作品めぐる参加者の発表と討議。 ・映画誕生期の時代背景と眼差しの関係について。 (関連資料の配布)		
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・関連資料の読み込みと理解しにくい箇所の下調べ。	60	
第11回	映画の起源とそこでの眼差し(視覚)の歴史についての授業③ ・映画史の進展と物語化をめぐる考察。 ・編集についての考察。		
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・関連資料の読み込みと理解しにくい箇所の下調べ。	60	
第12回	「監視社会」と映画についての授業① ・視覚をめぐる思考の考察。 ・覗き見る視線と映画の関係について。		
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・課題作品の鑑賞。	90	
第13回	「監視社会」と映画についての授業② ・前回の振り返りと課題作品についての発表、討議、解説。 ・監視社会についての考察と次回課題作品の紹介		
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・課題作品を鑑賞し、各自の考えをまとめるなど。	120	
第14回	「監視社会」と映画についての授業③ ・課題作品についての発表、討議。 ・監視社会についての考察。		
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・課題作品の振り返り。	60	
第15回	映画とは何か?—「見る/見られること」と社会についての授業 ・全体のまとめ。		
	・授業で習った内容の確認と理解。 ・全体の復習と期末レポートの準備。	60	

授業は講義を中心に進めるが、適宜、関連する映画の(主として部分的な)上映も行う。もちろん、授業の一環としての上映であり、そも そも映画についての授業である以上、真剣な態度での鑑賞が必要とされ、上映作品についての口頭での質問やディスカッションを行う場合 もある。なお、授業に関連する映画を随時、自主的に鑑賞することが望ましいが、それに要する時間については、特記したケースを除き、 基本的に上記の準備学修時間に含まれない。 なお、各レポート、テストの狙いは以下の通りである。

小テスト:授業や関連資料での学習を通し、映画の基本的な技法について理解でき、それを作品鑑賞で具体的に応用し、文章化できるかを 確認する。

<u>小レポート:先のテストの結果を踏まえた改善ができているか、さらに映画の主題を正確に把握し、必要に応じて調べるなどして文章化す</u>

ることができるかを確認する。(実施の有無は授業の進行で決める) 期末レポート:授業全体の内容(映画の分析的な鑑賞法や視覚性に関する諸問題についての理解)をどこまで自分のものとし、(できれ ば)各自のオリジナルな発想を展開できているかを確認する。

	4mm ()	

期末レポート(50%)、小テストやレポートも含め、授業での発表や発言など、授業への積極的な参加(50%)による総合評価。

ਹ績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識 / 先修科目/関連科目

なし。

授業中に適宜指定する。

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	7	て化人類学の考え方			
教員名	3	E吉 美加			
51 D L 1		101475170		>× /+ */-	10
科目ナン配当年2		101475170 コリキュラムにより異なります。	開講時期	単位数 2018年度 後期	2
		リケイエノムにより共なりより。	川神巧知	2010年及 後期	
<u>テーマ</u> 本授		ナるラティーノ、カリブ系、アフ	リカ系アメリカ人のコミュニ	ティの形成を理解し、各コ	スニック集団の文化表象に
ついてご	文化人類学的視	点から考察するものである。			
		アフリカ系アメリカ人、メキシ ぞれのコミュニティにみられる若		二カ糸、キューバ糸である	る。米国主流社会との関係性
		(100) = 1 = 7 110 5 10 6			
到達目標		¥ 18 18 A 1 3 4 W 00 A 4 7 1 4 4	- 15 m /m / 1		L = 182
	者は、文化人類 ⁵ ことを学ぶ。	学がどのような学問であるかをま	『す埋解し、人種やエスニシテ	ィにまつわる社会的文化的	り事がらを文化人類字的に考
また、	米国社会のア	フリカ系アメリカ人、カリブ系、	ラティーノがそれぞれにどの	ようなコミュニティを形成	戈し、文化的社会的活動を
行ってし	ハるのかについ	て説明できるようになる。			
揺業の言	計画と進歴学修				
授業の記 回数	計画と準備学修 授業の計画・				
					準備学修の目安(分)
	授業の計画・				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画・ 準備学修(予習				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画・ 準備学修(予習				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画・ 準備学修(予習				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画・ 準備学修(予配 ガイダンス				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画・ 準備学修(予配 ガイダンス	· 復習等)			
回数	授業の計画・ 準備学修(予配 ガイダンス	· 復習等)			
回数	授業の計画・ 準備学修(予配 ガイダンス	· 復習等)			
回数	授業の計画・ 準備学修(予配 ガイダンス	· 復習等)			
9 第1回	授業の計画・準備学修(予費がイダンスを) である プリ	・復習等)			
回数	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ	・復習等)	 紀明する		
9 第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ	・復習等) ントをよく読んでおくこと	説明する		
第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ	・復習等) ントをよく読んでおくこと	 説明する		
9 第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ 文化人類学の	・復習等) ントをよく読んでおくこと とは? 特徴、学問形成の背景について記	前 明する		6 0 分
9 第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ 文化人類学の	・復習等) ントをよく読んでおくこと	説明する		
9 第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ 文化人類学の	・復習等) ントをよく読んでおくこと とは? 特徴、学問形成の背景について記	説明する		6 0 分
第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ 文化人類学の	・復習等) ントをよく読んでおくこと とは? 特徴、学問形成の背景について記	説明する		6 0 分
第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ 文化人類学の	・復習等) ントをよく読んでおくこと とは? 特徴、学問形成の背景について記	前手る		6 0 分
第1回	授業の計画・ 準備学修(予報 ガイダンス 配布するプリ 文化人類学の	・復習等) ントをよく読んでおくこと とは? 特徴、学問形成の背景について記	前 する		6 0 分
9 第1回	授業の計画・ 準備学修(予整 ガイダンス 配布するプリ 文化人人類学のションフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系ア	とは? 持徴、学問形成の背景について記 リントをよく読んでくること	D 形成		60分
9 第 1 回 第 2 回	授業の計画・ 準備学修(予整 ガイダンス 配布するプリ 文化人人類学のションフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系アフリカ系ア	とは? 特徴、学問形成の背景について記	D 形成	全米で黒人コミュニティが	60分

60分

配布されたプリントをよく読んでくること

第4回	南部とシカゴ、ワシントンD.C.、ニューヨーク、ロサンゼルスなどの米国大都市部のアフリカ系アメリカ人の生活経験いて解説する			
	配布されるプリントをよく読んでくること。講義中、言及する都市や州名を地図で確認すること	20分		
第5回	ブラックカルチャー ジャズにおけるアフリカ系アメリカ人やカリブ系の影響、 ソウル音楽、R&Bなどに共通してみられる「黒人らしい」特徴について解説する			
	配布されるプリントをよく読んでくること	1 5分		
第6回	ラティーノとは? ラティーノと呼ばれる人びとはどういう人びとなのだろうか。彼らの米国社会における影響は?なぜ多 流入しつづけるのかについて解説する	I くのラティーノが米国に		
	教科書の該当章をよく読んでくること	30分		
第7回	メキシコ系アメリカ人 19世紀半ばの米墨の関係を説明した後、どのようにメキシコ人が「アメリカ人」になったかをみてい およびロサンジェルスのメキシコ系のコミュニティを具体的にみていく。そのなかで、若い人びとの間 の文化を検討する。			
	教科書の該当章をよく読んでくること。メキシコ系文化にどのようなものがあるかを各自調べてくる。	4 5 分		
第8回	ロサンゼルスのメキシコ系とサルバドル系 ロサンゼルスにおいてどのようにメキシコ系とサルバドル系がコミュニティをそれぞれ形成しているの	か理解する		
	教科書の該当章をよく読んでくること。サルバドル系の文化にどのようなものがあるか各自調べてくる	4 5 分		
第9回	プエルトリコ系アメリカ人 プエルトリコ系が「米国人」になった歴史的経緯を説明した後、彼らが集中するニューヨーク市のコミ く。	ュニティについてみてい		
	教科書の該当章をよく読んでくる。プエルトリコ系文化にどのようなものがあるか各自調べてくる	4 5 分		

第10回	プエルトリコ系の文化復興運動	
	ニューヨーク市で1950年代からみられたプエルトリコ系による社会運動に注目する。また、サルサ	、ボンバ、レゲトンなど
	の文化表象を検討し、アイデンティティの表象とどのようにかかわっているかを理解していく	
	教科書の該当章をよく読んでくる	4 5 分
第11回	キューバ系アメリカ人	•
	キューバと米国の歴史的なかかわりを理解した後、キューバ人が大勢米国にやってきた時期を検討する	。また、彼らがマイアミ
	に築いたキューバ系コミュニティのなかからどのような文化が登場したかをみていく。	
	教科書の該当章をよく読んでくる	40分
	7711	"
第12回	ドミニカ系アメリカ人	
	ドミニカ人が大勢米国に押し寄せてくるようになった社会的背景を検討しながら、ニューヨーク市の彼	らのコミュニティについ
	て解説する。	
	教科書の該当章をよく読んでくる	40分
第13回	ニューヨークのドミニカ系コミュニティ	
		
	ラティーノやアフリカ系も多く居住するドミニカ系コミュニティでどのような若者文化が創造されてい	るかについてみていく。
	ラティーノやアフリカ系も多く居住するドミニカ系コミュニティでどのような若者文化が創造されてい	るかについてみていく。
	ラティーノやアフリカ系も多く居住するドミニカ系コミュニティでどのような若者文化が創造されてい	るかについてみていく。
	ラティーノやアフリカ系も多く居住するドミニカ系コミュニティでどのような若者文化が創造されてい 教科書の該当章をよく読んでくる	るかについてみていく。
	教科書の該当章をよく読んでくる	
第14回		
第14回	教科書の該当章をよく読んでくる	20分
第14回	教科書の該当章をよく読んでくる	
第14回	教科書の該当章をよく読んでくる	20分
	教科書の該当章をよく読んでくる 講義のまとめ 配布したプリント、教科書を再読する	20分
第14回	教科書の該当章をよく読んでくる	20分
	教科書の該当章をよく読んでくる 講義のまとめ 配布したプリント、教科書を再読する	20分
	教科書の該当章をよく読んでくる 講義のまとめ 配布したプリント、教科書を再読する	20分
	教科書の該当章をよく読んでくる 講義のまとめ 配布したプリント、教科書を再読する	20分
	教科書の該当章をよく読んでくる 講義のまとめ 配布したプリント、教科書を再読する	60分
	教科書の該当章をよく読んでくる 講義のまとめ 配布したプリント、教科書を再読する	20分
	教科書の該当章をよく読んでくる 講義のまとめ 配布したプリント、教科書を再読する	60分

授業の方法
教科書をよく読んできてもらう。授業時に配るワークシートに書き込みをしながら、自分の理解度を確認していく。講義の後、映像資料を
参考にしながら、理解をさらに深めていく。
ー 成績評価の方法
Xin in in in in in in in in in in in in i
リアクションペーパー10%、
授業参加度(発言、グループワークでの積極性) 20%、
小テスト 20%
期末テスト 50%
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
Regulation No. 55.
2. 开放来供给她,4. 据以中,4. 图1. 2. 图1. 2. 图1. 2. 图1. 2. 图1. 图1. 图1. 图1. 图1. 图1. 图1. 图1. 图1. 图1
必要な予備知識/先修科目/関連科目
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特になし
特になし
特になし テキスト
特になし
特になし テキスト
テキスト 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版、1800円、ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
テキスト 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版、1800円、ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
<u>テキスト</u> 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版, 1 8 0 0 円, ISBN 9784864292627
デキスト 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版、1800円、ISBN 9784864292627 参考書 初回授業時指示す
特になし デキスト 三百美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版、1800円、ISBN 9784864292627 参考書 初回授業時指示す 質問・相談方法等(オフィス・アワー)
デキスト 三吉美加 『米国のラティーノ』 大学教育出版、1800円、ISBN 9784864292627 参考書 初回授業時指示す

科目名		政治学の基礎 <1>	
教員名		立石 洋子	
科目ナン	バー	1301472010 単位数	2
配当年次		1 開講時期 2018年度 後期	
テーフェ	- 押 - 一		
到達目標 DP1 政治学の	基本的な概念 養の修得) 養本的な理論	念や理論、現代日本の政治制度とその問題点、国際政治の現状について学ぶ。)、DP2(課題の発見と解決)、DP3(他者との協働)を実現するため、以下を到達論や概念、日本の政治制度とそれが作り出された歴史的な過程、国際政治の現状を学ぶこために必要となる知識を身につける。	目標とする。 とにより、私たちの生活と政
	画と準備学修 授業の計画		
山奴	準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回		といった概念を中心に政治とは何かを考え、政治学の対象について学ぶ。 レジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第2回		- 1 歴史について考察する。 レジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第3回		ー2 とデモクラシーについて検討する。 レジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分

第4回	デモクラシー 3			
	非民主的体制について学ぶ。			
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	60分		
第5回	マスメディアと政治			
	マスメディアの政治的・社会的役割と世論への影響について考える。			
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
		0 0 7,		
第6回	日本の政治 1			
лоп	日本の政党政治の歴史と現状について学ぶ。			
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
	配布されたレンユメとナイストの該当部分を読む。 	007		
第7回	 日本の政治2			
新/凹	選挙制度と政治参加、投票率について考察する。			
		I o o //		
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
** 0 E	D + OTV O			
第8回	日本の政治3 日本の国会の基本的な制度を説明する。			
	ロ本の国立の基本的は前見で説明する。			
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
第9回	日本の政治4			
	日本の行政について学ぶ。			
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	60分		
		* =		
		İ		

第10回	日本の政治 5 日本の地方自治の歴史と現状、その特色について概説する。			
	日本の地方自治の歴史と現状、その特色について概説する。			
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
第11回	日本の政治 6			
	戦後日本の外交政策について考察する。			
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
	HEIDERON DE LA CALLANDE MEDIO			
第12回	国際政治 1			
	国際政治を分析するうえで必要となる思想や規範を学ぶ。			
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
	自動物でもにレンエグとナイストの該当的力を配位。	007		
第13回	国際政治 2			
	現代の国際政治と日本の役割を検討する。			
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
第14回	まとめ 1	ļ		
	授業の内容を振り返り、日本と世界が直面する問題について考える。			
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
		00%		
第15回	まとめ2			
	授業の内容を振り返り、日本と世界が直面する問題について考える。			
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分		
	BUPでかたレンエグとテスペーの成当即力を認む。			

授業の方法
配布するレジュメに基づいて講義を進める。授業の内容について、コメントシートの提出を求めることがある。
成績評価の方法
定期試験の成績、コメントシートによって評価する。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。
テキスト
使用しない。
\$
参考書 佐藤史郎、上野友也、松村博行著『はじめての政治学 第2版』法律文化社、2017年、苅部直、宇野重規、中本義彦編『政治学をつか
佐藤文郎、工野及也、松竹得17者『はしめての政治子 第2版』法律文化社、2017年、刈印直、子野皇院、中本我彦編『政治子をづか む』有斐閣、2011年。
も 「
新聞、七秋十汁気(ナマッフ・マロー)
質問・相談方法等 (オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

科目名 教員名	政治学の基礎 <2> 立石 洋子		
狄貝石	71 H		
科目ナン		単位数 2	
配当年次		開講時期 2018年度 前期	
テーマ・ 政治学の <u>到達目標</u> DP1 政治学の	・概要の基本的な概念や理論、現代日本の政治制度とその問題点、国際政治	台の現状について学ぶ。 高働)を実現するため、以下を到達目標とする。	と政
受業の計 回数	計画と準備学修 授業の計画・内容		
	準備学修(予習·復習等)	 準備学修の目安(分)	
第1回	政治とは何か 1 権力や自由といった概念を中心に政治とは何かを考え、政治学の対	対象について学ぶ。 6 0 分	
第2回	デモクラシー 1 民主主義の歴史について考察する。	T 0	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分	
第3回	デモクラシー 2 現代の世界とデモクラシーについて検討する。	•	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分	

第4回	デモクラシー 3	
	非民主的体制について学ぶ。	
		0.07
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第5回	マスメディアと政治	
	マスメディアの政治的・社会的役割と世論への影響について考える。	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第6回	日本の政治 1	
N L.	日本の政党政治の歴史と現状について学ぶ。	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第7回	日本の政治2	
第7回	選挙制度と政治参加、投票率について考察する。	
	た子間及に吸出を加く及ぶ中にフレ こうボナ b 。	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第8回	日本の政治3	
N L	日本の国会の基本的な制度を説明する。	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	60分
第9回	日本の政治4	
おり回	日本の行政について学ぶ。	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分

第10回	日本の政治 5	
	日本の地方自治の歴史と現状、その特色について概説する。	
	配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第11回	日本の政治 6	
	戦後日本の外交政策について考察する。	
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
	HEIDENOCED SIZE CONTROL AND HEIDENOCED CONTROL	
第12回	国際政治 1	
	国際政治を分析するうえで必要となる思想や規範を学ぶ。	
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
	自動物でもにレンエグとナイストの該当的力を配位。	007
第13回	国際政治 2	
	現代の国際政治と日本の役割を検討する。	
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
第14回	まとめ 1	ļ
	授業の内容を振り返り、日本と世界が直面する問題について考える。	
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
		00%
第15回	まとめ2	
	授業の内容を振り返り、日本と世界が直面する問題について考える。	
	L 配布されたレジュメとテキストの該当部分を読む。	6 0 分
	BUPでかたレンエグとテスペーの成当即力を認む。	

授業の方法 配布するレジュメに基づいて講義を進める。授業の内容について、コメントシートの提出を求めることがある。
成績評価の方法
定期試験の成績、コメントシートによって評価する。
た 対 試験 い 以順、コメンドン一ドによって計画する。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
必要な予備知識/先修科目/関連科目 日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。 テキスト
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。 テキスト
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。 <u>テキスト</u> 使用しない
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。 テキスト 使用しない 参考書
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。 テキスト 使用しない 参考書
日頃から政治に関する報道に関心を持つことが必要である。

科目名		経済学の基礎 <1>	1
教員名		福澤の光学の一般に対しては、日本の一般に対しには、日本の一般には、日本の一般に対しは、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一般には、日本の一般に対しには、日本の一般に対しには、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体には、日本の一体にはは、日本の一体にはは、日本の一体にはは、日本の一体にはは、日本の一体にはは、日本の一体にはは、日本の一体にははは、日本の一体にははは	
최모		1401470000	**
科目ナン 配当年次		1401472020 単位 1 開講時期 2018年度 後期	数 2
行のよう	済は自由な な公共セク:	市場取引を通じて各種の「資源配分」が決まっていくのが基本であるが、「市場経済ターも大きな役割を果たしている。本講義では、ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎点から考えていく。 なお、授業の進捗によって、内容を一部変更する場合がある。	
지 '축 다 +표	5		
到達目標 DP1 (教 ā	養の修得)を	実現するため、以下を到達目標とする。	
現代社会	を理解する	ための重要な視角として、「経済的なものの見方・考え方」を育てることを目標にす	る。
授業の計	・画と準備学(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
回数	授業の計画		
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回	イントロダ	クション	
	2 = .87 +	生力:#美内 <i>索力T</i> 你到于 7	I 60
	授業の全体	読み講義内容を確認する。 像や進め方、評価基準等について確認する。	00
第2回	<ミクロ編	>	
NIT E	家計の行動		
	財への需	安	
	家計による	消費財の需要量と価格の関係(需要曲線)の意味を理解する。	90
第3回	家計の行動	ψA	•
	労働の供	Pio	
	家計による	労働の供給行動を考える。	60

第4回	企業と生産活動					
	競争的企業による供給行動と生産費用との関係(供給曲線)を考える。	90				
第5回	競争市場と資源配分					
	競争市場における資源配分の効率性の意味を理解する。	60				
第6回	競争市場の失敗					
	競争市場が成立する条件とともに、それが成立しないケースを理解する。	60				
第7回	政府と公共財 政府の規模、政府の機能、公共財とタダ乗り					
	政府の機能を経済学的に理解する。	60				
第8回	政府支出の資金調達					
	政府と民間部門との間のお金の流れを理解する。	60				
第9回	これまでのまとめと補足 授業内テスト					
	イントロダクション、及び、ミクロ編に関するこれまでの学習内容を確認する。	60				

第10回	授業内テストの解説と補足 <マクロ編>	
	マクロ経済	
	日本経済の規模、経済成長率、景気循環	
	→ 明 = → /- か) ↑ ウハの N)	Ico
	中間テストにおける自分の到達度を確認し、不十分な点があれば補う。	60
	マクロ経済とは何か理解する。	

第11回	GDPの概念とその成長・循環	
	GDPとは何か理解する。	90
	25. 216.17.6 -27.17. 3.6	
第12回	物価と為替レート	
	物価、インフレーション・デフレーション 為替レート、実質経済成長率	
	何日レー・、大兵性が成民十	
	名目と実質との違いを理解する。	90
第13回	貨幣・金融市場と利子率	
	金融市場のキーワードを理解する。	60
第14回	マクロ経済政策 政府と中央銀行	
	財政政策、金融政策、マクロ政策の効果	
	マクロ経済政策とは何かを理解する。	60
第15回	ナトル・これは何とつればの佐辺	
弗10凹	まとめ ミクロ編とマクロ編の復習	
	全体を振り返り、各テーマの要点を確認する	90

授業の方法 講義資料と板書を中心に講義を行うが、講義内容と連動性の高い参照文献の一例として以下の参考書を挙げる。その他類似の参考文献を含
講義員科と板書を中心に講義を行うが、講義内谷と運動性の高い参照文献の一例として以下の参考書を挙げる。その他類似の参考文献を含 め、詳細は、必要に応じ、講義内で紹介する。なお、授業の進度に応じて、授業内でのテストの実施時期や回数は異なることがある。
ᆠᄼᆥᅷᄀᆕᇹᆠᆟ
成績評価の方法 平常点 (授業内のテスト) 30%、期末試験70%
一市点(1支末内の)へ下)50%、粉木試験10%
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
次の点に着目し、その達成度により評価する。 ・経済学の基本的なキーワードを正確に理解しているか。
・ミクロ経済学やマクロ経済学が扱うテーマを論理的に理解できているか。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし
テキスト
特になし。
必要に応じて授業内で指示する。
参考書
『入門経済学(第2版)』井堀利宏【著】新世社;サイエンス社
ISBN: 9784883841110 (4883841111) 2572円 また、必要に応じて授業内で指示する。
よた、必安に心して授未内で相示する。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に受付ける

科目名		経済学の基礎 <	2>						
教員名		藤垣 芳文							
최모		1501470000					254 1 L 361	10	
科目ナン 配当年次		1501472020 1			開講時期	2018年度	単位数 後期	2	
ポコーク		<u>'</u>			1913 1117 11 17 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	2010千皮	i∾.Wi		
現代の経	済は自由なて		各種の「資源配分」 を果たしている。 ス						
到達目標 DP1(教養		実現するため 以	下を到達目標とする	ā.					
現代社会	を理解するが	ための重要な視角	として「経済的な号以、経済社会の動同	ものの見方・考	え方」をはぐ できるように	くみ、様々 なることを	な経済問題や約 到達目標とする	経済事象に る。	関する新聞報道や
授業の計	画と準備学								
	授業の計画 準備学修(予							淮供学丛	多の目安(分)
	イントロダ								
	授業に先立	って配布する資料	に基づき予習、復	習すること。				120	
第2回	家計の行動	(1)財への需要							
	授業に先立	って配布する資料	に基づき予習、復	習すること。				120	
第3回	家計の行動	(2)労働の供給							
	授業に先立	って配布する資料	に基づき予習、復	習すること。				120	

第4回	企業と生産活動				
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120			
第5回	競争市場と資源配分	li oo			
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120			
第6回	市場の失敗				
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120			
第7回	政府と公共財: 政府の規模、政府の機能、公共財とタダ乗り				
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120			
第8回	財政のしくみ(1)財政民主主義と予算制度				
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120			
第9回	財政のしくみ(2)日本の財政の概要				
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120			

第10回	マクロ経済:日本経済の規模、経済成長率、景気循環	
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120
the 1.1		
第11回	GDPの概念とその成長・循環	
	L 授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120
	技术に元立つ(配仰する具科に基づさで百、接首すること。	120
第12回	物価と為替レート:物価、インフレーション・デフレーション、為替レート、実質経済成長率	•
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120
第13回	貨幣・金融市場と利子率	L
у, . с Д		
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120
第14回	マクロ経済政策 政府と中央銀行 財政政策 全融政策 マクロ政策の効果	
第14回	マクロ経済政策 政府と中央銀行、財政政策、金融政策、マクロ政策の効果	
第14回		1120
第14回	マクロ経済政策 政府と中央銀行、財政政策、金融政策、マクロ政策の効果 授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120
第14回		120
第14回		120
第14回		120
第14回		120
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120
		120
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	120
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	
第14回	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	
	授業に先立って配布する資料に基づき予習、復習すること。	

授業の方法
原則として講義形式で行う。 各回の授業で使う資料は seikei potal のこの授業のページの資料欄に授業1週間前をめどに掲示する。授業開始前にダウンロードして 予習し,授業中にはそれを参照できるように持参すること。
成績評価の方法
不定期に授業内小テストを行い、その成果を最大50%までの範囲で最終評価に繰り入れる。学期末には筆記試験を行う。これらを総合評価する。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39. 上記の達成目標の達成度に基づき評価する。
必要なる体が強力を移動して
必要な予備知識/先修科目/関連科目とくになし。
テキスト とくに指定はしない。ただし下記の参考書を準テキストとして用いる予定。
参考書
『グラフィック経済学 第2版』浅子和美・石黒順子【共著】新世社。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

科目名		経済学の基礎 <3>	
教員名		武藤 恭彦	
科目ナン	バー	1501472020 単位数	2
配当年次		1 開講時期 2018年度 前期	-
テーマ・	概要		
のか、市	場において売	O基礎について解説します。まず、経済学の基本的な考え方を説明します。次に、私たちは 長り手と買い手はどのように行動するのか、市場に政府は介入すべきかについて考えていき -部変更する場合があります。	はどのように意思決定を行う まます。なお、授業の進捗状 としている。
到達目標		ᄝᄺᅺᇫᆂᇄᇄᆝᇌᆍᇫᅑᅼᆇᄆᄺᆖᇈᅶᄀ	
• 経済的	な考え方を身		
・需要と	供給を用いた		
	画と準備学修		
	授業の計画・ 準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回	イントロダク		十冊子修の日文(ガ)
	【多翌】ショ	ラバスを熟読する。	160
		プハスと 業の全体像や進め方、評価基準などについて確認する。	00
第2回	経済学の十月	大原理	
	【復習】講郭	義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
第3回	経済学者らし	しく考える	1
	【復習】講皇	- 義資料を熟読。キーワードについて説明できるよ う にする。	60
	HITT		

第4回	相互依存と交易(貿易)からの利益(1)	
		60
第5回	相互依存と交易(貿易)からの利益(2)	
	 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	TICE IN MARKET I TO THE PORT OF THE PORT O	
第6回	市場における需要と供給の作用(1)	
	 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	TICE IN MARKET COMMISSION OF THE PROPERTY OF T	
第7回	市場における需要と供給の作用(2)	
第7回		60
第7回		60
第7回		60
第7回		60
第7回		60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
第7回		60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1)	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1)	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1)	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1)	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1)	
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策 (1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1)	
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策 (1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策 (1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(2)	60
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策 (1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(2)	60
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(2)	60
第8回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(1) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 需要、供給、および政府の政策(2)	60

第10回	弾力性	
		Ico
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
第11回	消費者、生産者、市場の効率性(1)	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	The state of the s	
笙12回	消費者、生産者、市場の効率性(2)	
A7.12III	们交出、工产目、中场20m平压(E)	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
第13回	外部性(1)	
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
第14回	【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	60
第14回		60
第14回		60
第14回		60
第14回	外部性(2)	
第14回		60
第14回	外部性(2)	
第14回	外部性(2)	
第14回	外部性(2)	
第14回	外部性(2)	
	外部性(2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
第14回	外部性(2)	
	外部性(2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
	外部性(2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
	外部性(2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。	
	外部性 (2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 まとめ 【予習】これまでの講義資料を熟読。	
	外部性(2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 まとめ	60
	外部性 (2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 まとめ 【予習】これまでの講義資料を熟読。	60
	外部性 (2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 まとめ 【予習】これまでの講義資料を熟読。	60
	外部性 (2) 【復習】講義資料を熟読。キーワードについて説明できるようにする。 まとめ 【予習】これまでの講義資料を熟読。	60

授業の方法
板書と配布物を中心に、講義形式で授業を行います。授業中に小テストを数回行い、授業内容の理解度を確認します。
成績評価の方法
平常点(授業内の小テスト)30%、期末試験70%
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
上記、到達目標の達成度に基づいて評価する。
必要な予備知識/失修利日/関連利日
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特におりません
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特にありません。
特にありません。
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2
特にありません。 デキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2 参考書 適宜紹介します。
特にありません。 テキスト 『マンキュー入門経済学 第2版』、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社、3200円+税、ISBN 978-4-492-31443-2

科目名	社会学と現代 <1>	
教員名	挾本 佳代	
科目ナンバー	1401472030	単位数 2
配当年次	1	開議時期 2018年度 後期

ーマ・概要

「公と私のゆくえ」

この授業では「公と私」をキーワードに、現在、わたしたちが生きている社会がどのような問題を抱えているのかを考察していく。

「公と私」とは、「社会と個人」「国家と個人」とも言い換えることができる。これまで、わたしたち個人が感じてきた閉塞感は、個人が 社会の中で生きづらいというだけでなく、個人が社会との距離感があまりにもありすぎるという現状からも引き起こされているのかもしれ まない。個人の利益を追求すると、社会的正義が成り立たなくなるという事例も、「公と私」の問題のひとつといえる。

この授業では、わたしたち個人が社会の中でおかれている現状も考えていく。自分が生きている社会を追求してみようという強い問題意識 をもって、授業に臨んで欲しい。

到達目標

DP1 (教養の修得)、DP2 (課題の発見と解決)、DP3 (他者との協働)、DP5 (表現力、発信力)を実現するため、以下を到達 目標とする。

- ③社会の中での自らの立ち位置を明確に他人に理解させることができる。

	十画と準備学修	
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
10	イントロダクション	
	・授業の内容、その進め方、予習・復習の仕方などを説明する。 ・「公と私」の関係性の破綻にはどのようなものがあるかを把握する。	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
[2回	「社会」とは何か/その理論	
	・社会学における社会理論を解説する。 ・そもそも「社会」とはどういう状態を指し示しているのかを解説する。 ・社会学の歴史を通し、「社会」がどのように捉えられるべきものとして変遷してきたのかを解説	iする。
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
3回	「社会」としての人間の結びつき/つながりの限界(1)	
	・「無縁社会」の現状を解説する。 ・NHK「無縁社会キャンペーン」を考察する。 ・「無縁社会」批判を解説する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	

第4回	┃「社会」としての人間の結びつき/つながりの限界(2) ┃	
	・「無縁社会」は人間の結びつきやつながりの限界なのかどうかを考察する。	
	┃ ┃【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	1 60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
	【後日】 ヤーノード、ヤー似心に りいて呼ばり ることが くさるようにしておく。	
第5回	わたし探しのゆくえ	
	・社会の中で上手くコミュニケーションがとれない人間は、アイデンティティの在処を追い求める「わればならないのか、について解説する。	たし探し」をし続けなけ
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第6回	マスメディアに踊らされる個性のゆくえ	
		れるかについて老える
	て - 、 アバム、 間間能、 ことのと	
	【マ羽】 共同の共業の見後に担こととと研究にのいて、下型さとしてむく	Inn
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	90
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。 ┃	
第7回	中間テスト	
	・これまでの授業で学修してきた理解度を確認するためのテストを行う。	
	【予習】これまでの授業で学修してきたことを、自分の言葉で解説することができるようにしておく。	60
第8回	コミュニティの可能性	
	・コミュニティは人間の結びつき、つながりを密接なものにするのかどうかを考察する。	
	・「コミュニティ」という言葉が使われる現状を解説する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	1 60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。 	
第9回	コミュニケーション不全は解決できるか	
	・平野啓一郎による「分人」という考え方を解説する。 ・「分人」によって社会の中の一人の人間は救われるかどうかを考察する。	
	· MACINE DE LE AUT OF MONTHING WINDOW COM E GRAP OF	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	

弗10回	大さな政府と小さな政府と個人	
	・「大きな政府」「小さな政府」を解説する。 ・それぞれの政府の問題点についても検討する。 ・個人が「公」との矛盾を小さくするには、どちらの政府が良いのかを考察する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第11回	 ネットワーク/メディアの可能性	
	・社会全体と個人の意思疎通を図るものとして、ネットワークやメディアはどのように使われていくべ ・メディアによって作り上げられる「理想の自分像」はないかどうかを考察する。	きかを解説する。
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第12回	社会病理から公と私を考える	!
	・自殺の増加、うつ病などの精神疾患者の増加、不登校児童の増加といった社会病理から、社会における。	る個人の現状を考察す
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第13回	社会的正義と個人(1)	
жиод	・ロールズ『正義の理論』を解説する。	
	・ロールズ正義論の批判を解説する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	┃ ┃【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第14回	社会的正義と個人(2)	
	・個人の利益と、社会的正義の相克関係をさらに解説する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第15回	授業のまとめ	
	・これまでの学修内容を振り返り、現代社会における「公と私」の諸問題を確認する。 ・わたしたちの社会は、個人にとって生きやすいものかどうかを考える。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】到達度確認テストに向けて、キーワード、キー概念について解説することができるようにして おく。	

随時授業の中で、与えられた課題に対する解答/コメントを作成する。
上で示された準備学習の時間は目安であるので、各自の理解度に応じて取り組むことが求められる。
なお、各テスト、課題の狙いは以下の通りである。 ・中間テスト:第1回~6回までの学修内容についての基礎的な理解度と、キーワードの理解を確認する。
・課題に対する解答/コメント:授業ごとの到達度を確認する。
・到達度確認テスト:授業全体の学修内容についての理解度を確認する。
成績評価の方法 「際は行う課題。の紹答(コルント(150)」 中間ニュー(250) 「利達療物製ニュー(600)」による総合部籍と共主にし、所聞など概念。
随時行う課題への解答/コメント(15%)、中間テスト(25%)、到達度確認テスト(60%)による総合評価を基本とし、質問など授業への積極的な参加をプラスに評価する。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。
次の点に着目し、その達成度によって評価する。
・基礎的なキーワード、鍵概念の的確な理解。
・「社会と個人」「公と私」の相克に対する深い思考。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし。「現代のマスメディア」(前期、挾本担当)
<u>テキスト</u> 授業で適宜指示をする。
及木で屋直沿がとりも。
参考書
授業で適宜指示をする。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
ポータルサイトで周知する。
1

科目名	社会学と現代 <2>	
教員名	金崎 一郎	
科目ナンバー	1501472030	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 後期

テーマ・概要

社会学は従来イメージしにくい学問であると考えらてきたが、近年その研究対象の広さからか、「社会学の時代」と言われるまで一般に受け入れられた感がある。社会の様々な領域に応用され、ポップな印象を持っている学生も多いだろう。この講義では、3つの議論に分けて社会学の内容を見ていくことにしたい。

A 社会学の前提に関わる議論

- B マクロな社会についての社会学的な説明に関わる議論
- C ミクロな社会についての社会学的な説明に関わる議論

まずAにおいて、社会学だけでなくより広く社会科学の見地から概念や理論構成、人間観、文化・集団・個人についての基本的な議論を、Bでは、マクロに捉えられた社会を近代・資本主義・産業社会という点から、そしてCで、ミクロな社会として対面的状況における他者との関係性を表出的行為の視点から、それぞれ見ていくことになる。講義を通じて最終的に、マクロ・ミクロ様々な現代社会の諸現象を社会学的な視座から捉え、記述・説明できるようになってもらいたい。

到達日煙

- ①人間の社会性についての社会学的な理解を深める
- ②社会学的な記述・説明のタイプを理解すること
- ③自分を取り込んだ具体的な対面的状況の記述・説明ができること
- ④学習した概念を具体的な社会現象に適用・応用できること

授業の計画と準備学修

回数 授業の計画・内容

準備学修(予習・復習等) 準備学修の目安(分)

第1回

- ガイダンス
- ・講義の概要、進め方、予習・復習についての説明
- A1 社会科学の用語法(1)
- ے .
 - 「民主主義とは?」を例にして
- 科学言語の構成
 - 科学言語と自然言語

【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。

第2回

- A1 社会科学の用語法(2)
- ・理論構成のタイプ
 - 2つのアプローチ
- ・科学と価値判断に関わる問題群 1 事実命題と価値命題の関わり

【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。

第3回

- A1 社会科学の用語法(3)
- ・科学と価値判断に関わる問題群2
- ・価値自由と社会的責任

【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。

第4回

- A2 社会学の前提
- 社会学はどのようにを捉えるか
- 社会学の「人間観」について
- ・経済学との対比
- としての人間
- ・自己現象からみる人間の
- ・知覚からみる人間の
- ・「自明性」からみる人間の

【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。 第5回 A2 自己現象からみる人間の ・Cooleyの「鏡映自己」 ・G. H. Meadの「役割取得」、 رMe ے II 吉田民人の「自己包絡図式」 【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。 第6回 A2 知覚からみる人間の ・視覚と他の知覚について ・Bruner&Goodmanの「過大視実験」 ·Sherifの「規範形成実験」 【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。 A2 「自明性」からみる人間の 第7回 ・性に関わるアイデンティティと文化の拘束 A3 文化と価値 ・生物の進化段階と文化 ・丸山圭三郎の「見分け」と「言分け」 言語について ・意味と価値 【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。 A3 集団と個人 ・近代・前近代における集団との関わり 個人主義の歴史的変容 ・欲望の個人主義の登場 ・Girardの「欲望の三角形」 ・Mertonの「準拠集団」 【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。 B1 DurkheimとWeberにみる社会学の方法 第9回 Durkheimの捉えたの関係 『自殺論』から ・集合意識と自殺 【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実 60 の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。 第10回 B2 Weberの捉えた「宗教と資本主義」について ・『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』から • Weber vs. Marxについて ・資本主義の精神 (ethos)

	【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また新聞・メディア等で政治・経済・社会・文化等の現実の諸現象を周知し、習得した諸概念を適用・応用してみること。	60
第11回	C 対面的状況での相互行為について ・活動としての行為と表出としての行為 ・Goffmanの演出論的社会学の視点	
		60
第12回	C 「パフォーマンス(performance)」について ・外面(front) ・劇的具象化(dramatization) ・理想化(idealization)など	
		60
第13回	C 「チーム(team)」について ・チームのメンバーの関係性 ・チーム単位で行うパフォーマンスの方針	
		60
第14回	C 「局域(region)」について ・相互行為の場・空間 ・「表局域」と「裏局域」 ・「局域」のコントール	
	【予習・復習】基本的な概念の整理と理解、また自分と周囲の他者との関係に対する適用・応用。	60
第15回	講義全体の補足と総括	
	【予習・復習】習得した概念の全体の整理と理解の確認、また社会現象等への適用・応用の確認。	60
授業の方教室に	T法 :おける講義を中心とする。	
	験(あるいは授業内試験)及び出席よって評価する。	
	iの基準 Cの成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Se on No.39.	ikei University
必要な予特にな	備知識/先修科目/関連科目 とし。	

テキスト 井上俊・大村英昭、1993年、『社会学入門』、日本放送出版協会

参考書 E. ゴッフマン 『行為と演技』、誠信書房 その他、講義時に適宜指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名		社会学と現代 <3>	
教員名		青山 陽子	
科目ナン			2
配当年次		1 開講時期 2018年度 前期	
テーマ・ なぜ自		a仕方でこのように存在するのか、他者とのやりとりはどうして成り立つのか。そしていかに	1.で何事もなく日々は過
ぎていく れて、社	のか。社会学 会を見つめ直	Aはこうした当たり前の日常の中に問いを立てる学問です。それは一般社会の常識的なものの 『す作業から始まり、個人の認識のなかに、他者との相互作用のなかに、人々の集団のなかに	見方をいったん括弧に入 、社会の存在を複眼的に
みいだし を概観し		いく営みといえます。講義では様々な領域における社会のあらわれについて考えてゆき、最後	に社会学の学問的な歴史
C 1991 20	0.70		
到達目標			
		引としての社会学のユニークな見方を身につける。 Rめ、現実社会への洞察力を高める。	
124	**************************************	THE STATE OF THE S	
授業の計	画と準備学修	\$	
回数	授業の計画	・内容	
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
		- ション(授業の概要と進め方) 可を捉える学問なのかについて身近な事例から解説する。	
	1127-0161		
	\ - \ \ - \ + =	+ / - / - 7	20
	シラバスを記	元んでくる。	30
第2回	社会化と人間 「家族とは何	引形成1 (家族のなかの個人) 可か」。これまでの家族社会学の知見を紹介しながら、社会学が家族をどのように捉えてきた	・のかについて紹介す
	る。	10 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Toylor I = 5 Citaly 1
	+ D 11	こついて説明できるようにする。 10	60
	キーソート	こういて説明できるようにする。	00
第3回		引形成2(多様化する家族) 意味すること」。なぜ少子化が社会問題として捉えられているのか。その背景や要因、さらに	はこの問題に対する各
		のいて取り上げる。	-10. C (V) ENKEL (V) 7 'O'
	キーワード	こついて説明できるようにする。	60

第4回	構造と社会問題1(学校と文化的再生産) 「学歴はいかにして獲得されるのか」。大卒が希少性をもっていた時代から大学全入時代となった今日 るが、それは果たして個人の努力によって獲得されるものだのだろうか。	、学校歴が重視されてい
	キーワードについて説明できるようにする。	60
第5回	構造と社会問題2(格差と階層) 「格差社会と階層意識」。格差が問題視されるようになって20年近くになるが、果たして何を格差としか。実態と意識の両面から考える。 キーワードについて説明できるようにする。	て捉えているのだろう
		100
第6回	構造と社会問題3(医療化する社会) 「医療化するひきこもり」。ひきこもりは状態を表す言葉であり、決して医学的に定義された言葉では ひきこもりは障害や疾患などと共に捉えれるようになっている。ひきこもりをめぐる現状を医療化とい	う視点から捉える。
	キーワードについて説明できるようにする。	60
第7回	中間テスト	
第7回	中間テスト キーワードについて説明できるようにする。	60
第7回		
	キーワードについて説明できるようにする。 規範と逸脱1(逸脱の社会的構築) マリファナや覚醒剤などの違法薬物は国家によって規制されているが、規制されるに至った歴史的経緯	
	キーワードについて説明できるようにする。 規範と逸脱1(逸脱の社会的構築) マリファナや覚醒剤などの違法薬物は国家によって規制されているが、規制されるに至った歴史的経緯 代によって変化することを理解する。	を踏まえつつ、逸脱は時

第10回	多元化する現代社会(日本におけるエスニシティ) オールドカマーの在日コリアンからニューカマーの外国人まで、日本の外国人政策を歴史的に概観し、 む世界のなかでどういった立場にあるのかを理解する。	日本の政策は国際化が進
	キーワードについて説明できるようにする。	60
第11回	社会学の視点(社会学の草創から現代まで) 「社会学の創出」。個人と社会との関係は社会学が取り組む課題の一つである。これまで社会学は個人できたのか。社会学の歴史と共に概観する。 キーワードについて説明できるようにする。	と社会をどのように捉え
		00
第12回	社会学の歴史1 (理解社会学とは何か) 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』=『プロ倫』。『プロ倫』に取り組む前にM. ウェーハ 習する。	
	キーワードについて説明できるようにする。	60
第13回	社会学の歴史2(『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を読む) 資本主義の精神はどのような人たちのいかなる動機から発生したのだろうか。資本主義の精神を歴史社: バーの知見を理解する。	会学的に分析したウェー
	キーワードについて説明できるようにする。	60
第14回	社会学の歴史3(『自殺論』を読む) 『自殺論』。E. デュルケムは社会的事実という視点から社会を捉えようとした社会学者である。当時の結会的要因を捉えようとしたデュルケムの知見を理解する。	統計を駆使して自殺の社
	キーワードについて説明できるようにする。	60
第15回	総括	
	到達確認テストに備え、これまでの学修内容を確認する。	120

授業の方法
講義形式で行います。
子は記せるとは
成績評価の方法 講義中の小スト20%、筆記試験80%。
講義中の小人下20%、車記試験60%。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
Nogariation No. 66.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特にありません。
テキスト
特に指定しません。
参考書
授業時に適宜指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付けます。

科目名		本国憲法 <1>			
教員名	1	沼 史彦			
科目ナン	/バー 1	301472040		単位数 2	
配当年次		701172010	開講時期 2018	年度後期	
テーマ・	概要				
法主だのの和でだ権けがま、しこと者をいた環ょのい国挙く、境うク	うことは、皆に 民なのでしょう げてみましたが つもありそう 現代の立憲主 など)が認識 。	らんご存知だと思います。では、国 うか?また、地方公共団体の選挙 が、言葉としては知っていても、そ です。 もは、国際的な広がりを見せていま されるようになってきています。国 な社会の基本的なルールのあり方に	で習いました。国民主権、平和主義 国民主権の国民とは、いったい誰の 権を持つ「住民」と言ったときには それが憲法との関係では何を意味す ます。国際社会では、国家の枠を超 国際社会に共通の価値を含む憲法に こついて、憲法の基本的な考え方や	ことでしょう?日本国籍を持っ、国籍は問題になるでしょうかる概念なのか、実際にはよくを えて人類が取り組むべき価値の ついて学ぶことは、今後益々国	っている人は皆、 か。ここでは一例 かっていないも D問題(人権、平 重要になってくる
지나는 다 4표					
立憲主義	法が持つ基本的 的な観点からī	的な考え方を理解する。 対治を見ることができる。 Pさえた上で、憲法に対する自分な	らりの視点を持つ。		
10 W O = 1					
	画と準備学修 授業の計画・				
	準備学修(予習	·復習等)		準備学修	の目安(分)
第1回	憲法とは何か	? 書の好きなところを読んでみて、』	憲法学の議論に触れる。	120分	が指定する2単
				位認定に	対する学習時間にした数字)
第2回	日本国憲法の			Lang	
	教科書・参考 講義ノートの∶	書の該当箇所を読む。 長り返り。		120分	
第3回	日本国憲法の	基本原理(1) 国民主権		•	
	教科書・参考講義ノートの	書の該当箇所を読む。 最り返り。		120分	

第4回	日本国憲法の基本原理(2) 平和主義	
		Langu
	教科書・参考書の該当箇所を読む。 講義ノートの振り返り。	120分
第5回	日本国憲法の基本原理(3) 基本的人権の尊重・人権総論-人権の享有主体	
	사이크 소프코스탄시설로 <i>+</i> 로스	11007
	教科書・参考書の該当箇所を読む。 講義ノートの振り返り。	120分
	אנוער אוויי אין איני איני איני איני איני איני אינ	
第6回	日本国憲法の基本原理(3) 基本的人権の尊重・人権総論-法の下の平等	
	教科書・参考書の該当箇所を読む。	120分
	講義ノートの振り返り。	1.2077
第7回	L 精神的自由(1) 思想良心の自由・信教の自由	
ж/ <u>Б</u>	情行は1日出(1) 心心及・6の日出 旧教の日出	
	教科書・参考書の該当箇所を読む。	120分
	講義ノートの振り返り。	
第8回	精神的自由 (2) 信教の自由・表現の自由	
	L 教科書・参考書の該当箇所を読む。	120分
	講義ノートの振り返り。	120/J
## O	##### / /O)	
第9回	精神的自由 (3) 表現の自由・学問の自由	
	L 教科書・参考書の該当箇所を読む。	120分
	講義ノートの振り返り。	

第10回	経済的自由					
	教科書・参考書の該当箇所を読む。 講義ノートの振り返り。	120分				
第11回	人身の自由 憲法と刑事法					
	教科書・参考書の該当箇所を読む。 講義ノートの振り返り。	120分				
第12回	社会権(1) 生存権					
	教科書・参考書の該当箇所を読む。 講義ノートの振り返り。	120分				
第13回	社会権(2) 教育を受ける権利・労働基本権					
	教科書・参考書の該当箇所を読む。 講義ノートの振り返り。	120分				
第14回	包括的人権条項・幸福追求権					
	教科書・参考書の該当箇所を読む。 講義ノートの振り返り。	120分				
第15回	まとめ以上の予定で進行しますが、講義を進めて行く中で、必要に応じて修正することもあります。					
	講義ノートの振り返り。	120分				

授業の方法
講義形式で行いますが、皆さんに問題を考えてもらうなど、コミュニケーションを取りながら、双方向の授業を目指します。
成績評価の方法
学期末試験による。平常点も考慮する場合もある。
TAIN BURKETON OF THE WORLD OF STREET
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。
7. T. 4. 7. M. 10. M. 1
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特にありませんが、社会や政治の動きを知る努力をしてください。
15にめりよとんが、社会で収力の到さされる方力をしてくたさい。
テキスト
初宿・大沢・高橋・常本・高井編著『目で見る憲法 第4版』有斐閣 ISBN978-4-641-13104-0
参考書
六法(『ポケット六法』、『セレクト六法』、『岩波基本六法』など)
その他、適宜指示します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
質問・相談の元字(オライス・アラー) 質問・相談の宛先: konuma△mail.dendai.ac.jp (△はアットマーク)
頁向・柏談の発光: Kolidina Alima Lima
明記すること。
ring r w = = v

- 162 -

科目名	日本	国憲法 <2>								
教員名	三田	l 奈穂								
科目ナン	1201	1472040					単位	米石	2	
配当年次		1472040			開講時期	2018年月		銰		
					IND REAL PARTICION	2010 17.	2 117/01			
もあって 優位しな の制度的	概要 国の最高法規であ に、比較的馴染み済 ければならないの か枠組みを理解した こよって、近代立憲	₹い学問領域であ)は何故か等につ こう えで、それら	るかも知れない いて、明確な答 制度の沿革や趙	N。しかし、憲 Fえを導き出せ №旨、目的・機	法の本質とは る学生は少な 能等を検討す	:何か、何? :いのでは ⁷ :ることに <u>i</u>	をもとにし ないか。大 重点を置い	て記され 学の講義 ている。	uているのか、他 storは、憲法に関	2の法令に する大体
①日本国	と 養の修得)を実現 割憲法の個々の条文 は国家権力を制限	てに記載された内	容に関する知識	後を修得する。	ついて説明で	きる。				
授業の計 回数	├画と準備学修 授業の計画・内容 準備学修(予習・イ									(公)
	午哺子修(1)日。18	文 日 寸 /							準備学修の目安	(23)
第1回	ガイダンス ・憲法とは何かに ・授業の概観にこ	こついて問題提起	をおこなう。						準備学修の目安	(), ()
	ガイダンス ・憲法とは何か!	こついて問題提起 ついて説明する。	をおこなう。						準備学修の目安	
	ボイダンス・憲法とは何かに・授業の概観にご ・授業の概観にご 【予習】シラバス	こついて問題提起 ついて説明する。 スを一読する。	する。							
	ガイダンス ・憲法とは何かに ・授業の概観につ 【予習】シラバス 「表習】シラバス 憲法と立憲主義 ・立憲主義の意 ・立憲主義の意	こついて問題提起 ついて説明する。 スを一読する。 意味について検討	する。 。	5 .						
	ガイダンス ・憲法とは何かに ・授業の概観につ 【予習】シラバス 「表習】シラバス 憲法と立憲主義 ・立憲主義の意 ・立憲主義の意	こついて説明する。 マを一読する。 マを一読する。 では、	する。 。 前文を通読する る。	j.					30	

第4回	国民主権の原理 ・日本国憲法の3原理について説明する。 ・主権の意味と、国民主権について検討する。	
	【予習】日本国憲法の3原理の相互関係について考えてみる。	60
第5回	平和主義の原理 ・憲法第9条の成立経緯を説明する。 ・自衛隊の存在と憲法問題について考察する。 【予習】憲法第2章を一読する。また、条文を読みながら、自衛隊の存在について考えてみる。	60
第6回	基本的人権の原理(1)	
	・西洋の人権宣言を検討する。 ・人権とは何かについて考える。	
	【予習】高等学校レベルの近代ヨーロッパの歴史を復習する。	60
第7回	基本的人権の原理(2) ・人権保障とその限界について検討する。 ・人権制限が許される場合について、その理論的根拠を説明する。	
	【予習】憲法第3章および第97条を一読する。	60
第8回	包括的基本権と法の下の平等 ・幸福追求権とそこから導き出される人権について説明する。 ・平等の意味について説明する。	
	【予習】憲法第13条および第14条を一読する。また、条文が意味する内容について考える。	60
第9回	自由権 (1) ・自由権の種類を概観する。 ・精神的自由について考察する。	
	【予習】再度、憲法第3章を通読する。	60

第10回	自由権(2) ・経済的自由について説明する。 ・人身の自由について説明する。 ・社会権について言及する。	
	【予習】再度、憲法第3章を通読する。	60
第11回	三権分立(1)・三権分立の意義を説明する。・立法権について説明する。【予習】憲法第4章を通読する。	60
第12回	三権分立(2) ・行政権について説明する。 ・議会と政府の関係について考察する。	
	【予習】憲法第5章を通読する。	60
第13回	三権分立(3) ・司法権について説明する。 ・法令審査権の沿革を概観する。 ・司法権の優位性について考察する。	
	【予習】憲法第6章を通読する。第11・12回の講義を踏まえ、三権相互の関係を図式化する。	60
第14回	憲法改正論議をめぐって ・近年盛んな憲法改正に関する議論を概観する。 ・憲法改正、参政権について説明する。	
	【予習】憲法第9章および第15条を一読する。また、ニュースや新聞記事等を通じて、どのような議論があるのか調査することが望ましい。	90
第15回	授業のまとめ ・全体を振り返る。 ・練習問題を解く。 ・憲法の存在意義についてあらためて考え、その本質をとらえる。	
	【復習】これまで扱ったプリント、自筆メモ・ノート等を整理し、試験に向けた対策をおこなう。	300分以上

授業の方法 原則として講義形式をとるが、法的な問題意識に関する問いかけに対して、指名された受講生には意見を述べてもらいたい。また、練習問
題を解く機会を定期的に設けるので、知識の定着に役立ててもらいたい。
成績評価の方法
成績評価の80%は定期試験により、20%は抜き打ちで実施する小テスト・授業内レポートによる。定期試験の形式・内容等については、講 義中に言及する。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。 到達目標に示された、①条文の内容に関する知識の修得、②憲法の本質に関する理解、の2点の達成度が評価の基準となる。
対定自然にから10元、①木入のF1音に関する場所のPN、②高点の平見に関する年間、の2.mの足が反が自由の至中である。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし。 実は問題については、上げ上げ新聞のテレビ笑で扱われることがあるので、ニューフを追いたがらは的音識を喜めていくこと
憲法問題については、しばしば新聞やテレビ等で扱われることがあるので、ニュースを追いながら法的意識を高めていくこと。
テキスト 日本国憲法
ログロボス 講義は配布プリントに従って進められる。配布物は成蹊ポータルサイトからダウンロードが可能である。資料は整理して管理すること。
参考書
芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法〔第5版〕』(岩波書店、2011年)
読みやすい自主学習のテキストとして、初宿正典ほか編『目で見る憲法〔第4版〕』(有斐閣、2011年)
質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名		日本国憲法 <3>	
教員名		三田 奈穂	
科目ナン			2
配当年次		1 開講時期 2018年度 前期	
テーマ・	概要		
もあって 優位しな	、比較的馴染 ければならな	見である。日本国憲法は、中学・高校の社会科の授業で扱われ、また、近年はニュース等で盛 み深い学問領域であるかも知れない。しかし、憲法の本質とは何か、何をもとにして記され いのは何故か等について、明確な答えを導き出せる学生は少ないのではないか。大学の講義 異したうえで、それら制度の沿革や趣旨、目的・機能等を検討することに重点を置いている。	れているのか、他の法令に 義では、憲法に関する大体
ることに	よって、近仁	R立憲主義の国家の礎といえる憲法の本当意味を理解することが可能となるからである。	
到達目標			
①日本国	憲法の個々の	E実現するため、次の2点を到達目標とする。 D条文に記載された内容に関する知識を修得する。 E制限し広く人権を保障する法であるという本質について説明できる。	
	画と準備学修 授業の計画		
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
	ガイダンス ・憲法とは(可かについて問題提起をおこなう。 現について説明する。	
	【予習】シ	ラバスを一読する。	30
第2回		上義 去の意味について検討する。 D意味について考える。	
	【予習】日2	本国憲法の目次および前文を通読する。	60
第3回	・天皇の地位	制定史 法制定の歴史を概観する。 立について説明する。 法の性格について考える。	
	【予習】憲法 しておく。	ま第1章を通読する。また、太平洋戦争前後の歴史について、高等学校レベルの知識を確認	90

第4回	国民主権の原理 ・日本国憲法の3原理について説明する。 ・主権の意味と、国民主権について検討する。	
	【予習】日本国憲法の3原理の相互関係について考えてみる。	60
第5回	平和主義の原理 ・憲法第9条の成立経緯を説明する。 ・自衛隊の存在と憲法問題について考察する。 【予習】憲法第2章を一読する。また、条文を読みながら、自衛隊の存在について考えてみる。	60
第6回	基本的人権の原理(1)	
	・西洋の人権宣言を検討する。 ・人権とは何かについて考える。	
	【予習】高等学校レベルの近代ヨーロッパの歴史を復習する。	60
第7回	基本的人権の原理(2) ・人権保障とその限界について検討する。 ・人権制限が許される場合について、その理論的根拠を説明する。	
	【予習】憲法第3章および第97条を一読する。	60
第8回	包括的基本権と法の下の平等 ・幸福追求権とそこから導き出される人権について説明する。 ・平等の意味について説明する。	
	【予習】憲法第13条および第14条を一読する。また、条文が意味する内容について考える。	60
第9回	自由権 (1) ・自由権の種類を概観する。 ・精神的自由について考察する。	
	【予習】再度、憲法第3章を通読する。	60

第10回	自由権(2) ・経済的自由について説明する。 ・人身の自由について説明する。 ・社会権について言及する。 【予習】 再度 憲法第3章を通読する				
		60			
第11回	三権分立(1)・三権分立の意義を説明する。・立法権について説明する。【予習】憲法第4章を通読する。	60			
	【『白』 恋広男4早で通訊する。	00			
第12回	三権分立(2) ・行政権について説明する。 ・議会と政府の関係について考察する。				
	【予習】憲法第5章を通読する。	60			
第13回	三権分立(3) ・司法権について説明する。 ・法令審査権の沿革を概観する。 ・司法権の優位性について考察する。				
	【予習】憲法第6章を通読する。第11・12回の講義を踏まえ、三権相互の関係を図式化する。	60			
第14回	憲法改正論議をめぐって ・近年盛んな憲法改正に関する議論を概観する。 ・憲法改正、参政権について説明する。				
	【予習】憲法第9章および第15条を一読する。また、ニュースや新聞記事等を通じて、どのような議論があるのか調査することが望ましい。	90			
第15回	授業のまとめ ・全体を振り返る。 ・練習問題を解く。 ・憲法の存在意義についてあらためて考え、その本質をとらえる。				
	【復習】これまで扱ったプリント、自筆メモ・ノート等を整理し、試験に向けた対策をおこなう。	300分以上			

授業の方法 原則として講義形式をとるが、法的な問題意識に関する問いかけに対して、指名された受講生には意見を述べてもらいたい。また、練習問
題を解く機会を定期的に設けるので、知識の定着に役立ててもらいたい。
成績評価の方法
成績評価の80%は定期試験により、20%は抜き打ちで実施する小テスト・授業内レポートによる。定期試験の形式・内容等については、講
義中に言及する。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。
到達目標に示された、①条文の内容に関する知識の修得、②憲法の本質に関する理解、の2点の達成度が評価の基準となる。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし。
憲法問題については、しばしば新聞やテレビ等で扱われることがあるので、ニュースを追いながら法的意識を高めていくこと。
<u>テキスト</u> 日本国憲法
講義は配布プリントに従って進められる。配布物は成蹊ポータルサイトからダウンロードが可能である。資料は整理して管理すること。
参考書 芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法〔第5版〕』(岩波書店、2011年)
読みやすい自主学習のテキストとして、初宿正典ほか編『目で見る憲法〔第4版〕』(有斐閣、2011年)
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

科目名	市民生活と法Ⅰ	
教員名	渡邉 知行	
科目ナン	1201472050	単位数 2
配当年次		
到 <mark>達目標</mark> (DP1と 目標と	正活において、いかなる法律が適用されているのか、実際に紛争が発生した場合に、どののか、具体的な事案を取り上げながら、民法を中心に概説する。 □ (表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	
	・画と準備学修 授業の計画・内容	
п м	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス 法とは何か◇法律の全体像と分類◇条約◇政令・省令◇条例◇判例 授業の内容を確認して復習する。	6 0 分
*** 0 G		
第2回	民法と刑法 損害賠償と刑罰 ◇ 懲罰的損害賠償 ◇自動車運転処罰法	
	授業の内容を確認して復習する。	60分
第3回	民事裁判 訴訟の提起◇口頭弁論◇判決と和解◇弁護士の役割◇強制執行	•
	授業の内容を確認して復習する。	6 0分

第4回	回 刑事裁判 捜査◇公訴の提起(起訴)◇公判手続◇弁護士の役割◇被告人の人権保障◇被害者の参加◇裁判員制度		
	授業の内容を確認して復習する。	6 0 分	
第5回	契約の成立 契約の自由◇契約の無効・取消◇公序良俗違反◇錯誤・詐欺・強迫◇消費者契約法		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第6回	行為能力の制限 未成年者◇成年後見制度		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第7回	債務不履行 損害賠償◇契約解除		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第8回	売買契約 手付 ◇目的物の契約不適合(欠陥など)		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第9回	賃貸借契約 借地借家法◇契約の更新◇無断転貸と解除		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	

第10回	金銭消費貸借 利息制限法◇貸金業法◇保証◇抵当権		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第11回	所有権 所有権の侵害◇相隣関係◇共同所有◇建物の区分所有		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第12回	不動産登記制度 不動産登記法◇対抗要件◇相続と登記		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第13回	不法行為 過失責任◇賠償額の算定◇使用者責任◇工作物責任◇国家賠償法		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第14回	交通事故 自動車損害賠償保障法 ◇ 自賠責保険 ◇過失相殺		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	
第15回	製造物責任 製造物責任法 ◇家電製品・自動車・医薬品などの欠 陥		
	授業の内容を確認して復習する。	60分	

授業の方法
事前に各回のレジュメをポータルサイトに掲示して、講義形式で行う。
争制に谷田のレジュスを小一ダルサイトに拘小して、講我が式で11万。
成績評価の方法
期末試験による。
授業への参加状況(平常点(出席と授業中に回答する課題)も考慮する。
(期末試験 80%、平常点 20%)
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし。
テキスト
特に指定しない。
参考書
授業のなかで紹介する。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
ポータルサイトで周知する。

科目名		市民生活と法Ⅱ	
教員名		渡邉 知行	
1772 1		100 M	
科目ナン	バー	1201472060 単位数	2
配当年次	ζ	1 開講時期 2018年度 前期	
テーマ・	概要		
市民生活	に関わる裁 半	例について、どのような法律のルールがどのように適用されて解決が図られているか	解説したうえで、裁判例が市民
生活や社	【会に与える詩	炎響を考察する。	
제,푸 ㅁ 뉴	 		
<u>到達目標</u> DP1((教養の修得)	、DP2(課題の発見と解決)、DP3(他者との協働)、DP5(表現力、発信力)を実現するため、以下を到達
目標とす	⁻ る。		
	「市民生活に景 うようにする。	彡響を与える重要なものであることを認識するとともに、裁判例の社会的な意義や問題	点などについて自ら考えること
かてさる	ひょうにゅる。		
	画と準備学像 授業の計画		
凹奴	準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス	自"複白寸/	卒佣子修の日女(カ)
** 1 🖸		と成績評価の説明	
	授業の内容を	を確認して復習する。	60分
第2回	裁判手続の機 裁判例の意義	tt 安 	
	数十川川の心ま	X.	
	授業の内容を	を確認して復習する。	60分
第3回	未成年者と新	見権者の監督責任	
	授業の内容を	を確認して復習する。	60分
			''

第4回	高齢者と家族の責任			
	授業の内容を確認して復習する。	60分		
第5回	契約の成立(NHKの受信料問題など)			
	授業の内容を確認して復習する。	60分		
第6回	契約の解除(携帯の解約金条項など)			
	授業の内容を確認して復習する。	60分		
第7回	欠陥住宅問題			
	授業の内容を確認して復習する。	60分		
第8回	賃貸借の更新料、敷金をめぐる紛争			
	授業の内容を確認して復習する。	60分		
第9回	消費者金融の過払金			
	授業の内容を確認して復習する。	60分		

第10回	マンション紛争	
	授業の内容を確認して復習する。	60分
第11回	医療事故	
	授業の内容を確認して復習する。	60分
第12回	交通事故	
	授業の内容を確認して復習する。	60分
第13回	製造物責任	
	授業の内容を確認して復習する。	60分
第14回	相続紛争	
	授業の内容を確認して復習する。	60分
第15回	まとめ	
	授業の内容を確認して復習する。	60分

授業の方法
授業の方法 事前に資料をポータルサイトに掲示して、講義形式で行う。 授業のなかで、授業で考察した判例に関する課題の回答を作成して提出する。
授業のなかで、授業で考察した判例に関する課題の回答を作成して提出する。
+4:T.T.O.++
成績評価の方法
平常点(出席と授業中の課題):50%
レポート課題:50%
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
必要な予備知識/先修科目/関連科目 市民生活と法 I
市民生活と法I
市民生活と法 I テキスト 特に指定しない
市民生活と法 I テキスト 特に指定しない
市民生活と法 I テキスト 特に指定しない
市民生活と法 I テキスト 特に指定しない
市民生活と法 I テキスト 特に指定しない 参考書 授業のなかで紹介する
市民生活と法 I テキスト 特に指定しない

科目名		日本の政治	1
教員名		山崎新	
科目ナン	バー	1101476010 単位数	2
配当年次		2 開講時期 2018年度 前期	
テーマ・			
		を目的とする。第一に、日本の政治を理解するうえで必要な基礎知識を習得することである 台現象を公析できる視点を持てるようになることである。	る。第二に、社会科学的な
		台現象を分析できる視座を持てるようになることである。 g治における様々なアクターや制度についての基本的な知識や、政治学における理論を学ぶ	。また、これらを用いて、
現実に起	きている事象	象を分析していく方法やその実践についても触れていく。	
必すしも	ナキストに沿	公った授業ではないが、対応箇所に関して予習・復習をし、理解を深めることが望まれる。	
到達目標		マカカ = キャケー ヘレイ 甘 ナ か ナ ね・ ウ ト ヘ ル フ	
		アクター、諸政策について基本的な知識を身につける。 政治学における理論的枠組みを理解する。	
⊕ ⊔ ′	,,= = 0		
1111 1111	T-1 2# 1# 37-14		
	画と準備学修授業の計画		
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
		るガイダンス	
	①授業内容、	、進め方、試験、成績評価等、授業の形式についての説明をする。②予習や復習、教科書や	参考書の使い方等、学習
	万法について	ての説明をする。	
	【予習】シ -	ラバスに目を通し、テキストの第1章を読む。	40
		業に関して、ガイダンスの内容を確認する。	1.7
第2回	テーマ:選挙	挙 おける選挙の位置づけや選挙制度、日本における近年の選挙の動向について説明する。	
	戊土土莪にる	のい & 医宇切性 目 フリア医宇制皮、日本における近平の 医学の 期间につい (説明する。	
		キスト第3章 (前半) および第5章 (前半) を熟読する。	60
	【復省】授美	業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	
第3回	テーフ・左*	権者の投票行動①	1
		権者の技宗行動し 票参加について、理論研究・実証研究の両側面から説明する。	
	F	(7 to 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	Inc
		17年に行われた総選挙について簡単に調べ、予備知識を身につける。 業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
		THE CHANGE OF A CITIE WAY AS	

第4回	テーマ:有権者の投票行動② 有権者の投票方向について、理論研究・実証研究の両側面から説明する。	
	【予習】2017年に行われた総選挙について簡単に調べ、予備知識を身につける。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第5回	テーマ:世論 世論の定義、形成過程、測定について説明する。 【予習】テキスト第3章後半を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第6回	テーマ:メディア	
	世論形成に対するメディアの影響について、マスメディアを中心に説明する。 【予習】テキスト第11章を熟読する。	160
	【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	
第7回	テーマ:政党 政党システム・政党制について、日本の政党の変遷を例に挙げながら、基本的な説明をする。	
	【予習】テキスト第4章および第5章(後半)を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第8回	テーマ:国会・政治家 議会(国会)の役割や機能について、説明する。	
	【予習】テキスト第6章を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第9回	テーマ:内閣・官僚 政策決定過程、官僚制について説明する。また、官僚と政治家との関係についての説明も行う。	
	【予習】テキスト第7章および第8章を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60

第10回	テーマ:利益集団 政策過程における利益集団の役割、日本における利益集団について説明する。	
	【予習】テキスト第10章を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第11回	テーマ:地方政治 地方自治の基本的な制度、中央地方関係について説明をする。また、日本における地方分権改革、市町 行う。	I 村合併についても説明を
	【予習】テキスト第9章を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第12回	テーマ:経済政策 経済政策・金融政策について基本的な概念を説明する。日本の戦後政治における政策との関連を考える。	
	【予習】テキスト第2章および第13章を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第13回	テーマ:外交政策 日本の外交政策について、政治学における理論研究から概観し理解を深める。	
	【予習】テキスト第14章および第15章を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第14回	テーマ:日本の政治状況 授業実施時において注視されている日本の政治状況について、これまでの授業内容に即して概観し、問いて検討をする。	題の所在やその解決につ
	【予習】第13回の授業で指定された文献を熟読する。 【復習】授業内容を踏まえて、テーマについて理解を深める。	60
第15回	テーマ:半期のまとめ ※期末試験に関するアナウンスを行う。	
	【予習】テキスト全範囲を再読する。 【復習】授業内容を踏まえて、半期間の授業について理解を深め、試験に備える。	60

授業の方法
講義形式で行う。授業内容についての質問はリアクションペーパーやメールも含めて随時受け付ける。
成績評価の方法
১ .
P/+== in a + 14
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。以下の2つの観点より評価を行う。
①基本的な政治学の理論に関する知識が身についているか。
②①の概念を用いて、現代の日本政治の状況を分析できるか。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特になし
特になし
特になし
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込)
特になし
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込)
テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版)
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版)
テキスト 久米郁男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。
テキスト 久米郁男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円
テキスト 久米郁男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
テキスト 久米郁男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円
特になし テキスト 久米都男・河野勝『現代日本の政治』放送大学教育振興会、2,376円(税込) (2011年改訂新版) 参考書 ・参考文献は適宜指示するが、下記の文献は理解を深めるために有用であると考えられる。 平野浩・河野勝編『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社、3,024円 川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙 新版』 有斐閣アルマ、2,268円

科目名		現代の国際政治						
教員名		白鳥 潤一郎						
科目ナン	·/\(\sum_{}\)	1201476020					単位数	2
配当年次		2			開講時期	2018年度		<u></u>
		•						
型 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	び激動の時代目表では、日本の関係では、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	(動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動きを) (動きを) (動きを) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けでいるなど) (動き続けでいるなど) (動き続けでいるなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けているなど) (動き続けを動きなど) (動き続けを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きを動きなど) (動きなど) ローバル化 現代の国際問題 ける。 さるための基本	が進み、異質な国を学んでいく。	家間の相互依	グジットに	揺れる欧州、∵	Pメリカにおけるトランプ政 各国の内政は不安定化してい	
	-画と準備学修							
	授業の計画							**************************************
第1回	準備学修(予	·習·復習等) フション:なぜ国	際政治を学ぶの)か				準備学修の目安(分)
		ゾ当日の国際ニ =						60分
	[5] 宋明 日 次 (アヨロの国际― -	- 一人の 作品					00)
第2回	第二次世界之	大戦後の国際社会	きと日本					•
	前回のレジ <u>-</u>	ュメ及びノート0)確認					60分
		メリカ:同盟国と						
	前回の <i>レジ</i> :	ュメ及びノートの)確認					60分

第4回	主要国②中国:台頭する新興国	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
第5回	主要国③韓国・北朝鮮:難しい隣国との関係	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
第6回	主要国④ロシア(ソ連):「遠い隣国」との関係	
MOE!	工文目受ロング(グ注)・「透り神国」との関係	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
佐7 同	大西国企业的建国。	
第7回	主要国⑤西欧諸国:先進国との関係	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
	IN COLUMN TO SEE MAN T	0073
第8回	エネルギー/環境問題:古くて新しい問題といかに向き合うか	
	並同のしご - メルバ / - トの [集記]	Ignz
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
		60分
第9回	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
第9回		60分
第9回		60分
第9回		60分
第9回	貿易:自由貿易体制の行方	
第9回		60分
第9回	貿易:自由貿易体制の行方	
第9回	貿易:自由貿易体制の行方	
第9回	貿易:自由貿易体制の行方	
第9回	貿易:自由貿易体制の行方	

第10回	経済危機:リーマン・ショック後の世界	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
第11回	核兵器:なぜ無くならないのか?	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
*		
第12回	テロリズム: 9.11、イラク戦争後の世界	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
第13回	平和構築:日本に何が出来るのか?	
WIOE		
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
	IN II OVER I OVER III	007,
第14回	領土問題・歴史認識問題:「過去」と「現在」	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分
第15回	まとめ: 国際社会のなかの日本	
	前回のレジュメ及びノートの確認	60分

授業の方法
講義形式で行うが、受講人数や受講者のニーズを踏まえて授業内に質疑応答の時間を設けるなど柔軟に対応する。
and the second of the second o
成績評価の方法 ## 大きな (1004)
期末試験(100%)
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特に無し。
テキスト
指定しない。各回レジュメを配布する。
参考書
<u> </u>
佐藤史郎・川名晋史・上野友也・齊藤孝祐(編)『日本外交の論点』法律文化社、2018年3月刊行予定 ISBN:978-4589039033
村田晃嗣・君塚直隆・石川卓・栗栖薫子・秋山信将『国際政治学をつかむ 新版』有斐閣、2015年 ISBN:978-4641177222
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付けます。

<u> </u>		口十九卅甲の奴汝	
科目名		日本と世界の経済	
教員名		大野 正智	
科目ナン	バー	1101476030 単位数	2
配当年次		カリキュラムにより異なります。 開講時期 2018年度 前期	
テーマ・	概要		
)影響は国内だけに留まらず,瞬時にして全世界に波及してしまう世の中です。もはや日本	の経済問題を国内だけで論
ずること	はできません	」。グローバル化の現代社会にあって、日本ならびに世界で起きている経済現象を単なる事	例としてだけとらえるので
はなく、 によって	調理的・体系 以下の計画	系的に理解するにはどうしたらよいかについて、経済学の観点から教養的内容を中心に紹介 可内容を一部変更する場合があります。	します。なお、授業の進捗
1200	, MI ONLE	477日で 中文大学の物口がのグチャ。	
到達目標			
		DP2(課題の発見と解決)、DP3(他者との協働)、DP4(自発性、積極性)、DP5(表現力 	、発信力)、を実現するた
め、火の 教養しべ	点を到達目標ルの経済学力	♥とします。 √門(あるいは、経済学の基礎)を踏まえた上で、国際経済問題を理解し、問題点や論点を	自発的に発信できる。
が良 レ・	フレロン小王カイ コーフ	(1) (の)の(16、柱内子の金塊)と聞るたた工で、国体柱が同處と生所し、同處点で聞点で	
哲業の計	画と準備学修	*	
	画と準備子修 授業の計画		
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
		を見る (経済学入門)	
	3.2 1201		
	AT 11		100
	栓済字入門の	D初日的位置づけとして、生活の中での経済を認識する。	60
## 0 E	m==111111111	74497 (344419)	
第2回	取引として約	圣済を見る(ミクロ経済学入門)	
	人と人のつた	よがりの中で経済を認識する。	90
第3回	国全体として	(経済を見る (マクロ経済学入門)	•
	/=	WALLED In 1 1 1 2 2 4 7 7 7 1 2 7 7 1 1 1 1	loo
	マクロ経済等	学的視点としての経済を認識する。	90

第4回	GDPの基礎 (経済統計入門)	
	GDPの基礎を復習・再確認する。	90
	dDFの基礎を複合・再確認する。	90
第5回	国際貿易とGDP	
第 5回	国际員あとdbr 小テスト1(第1回から小テスト直前までの範囲より出題)	
	国際的な位置づけとしてGDPを認識する。	90
第6回	小テスト1の解説と補足	
	為替レートと貿易	
	小テスト1の理解を完全にする。	90
	為替レートと貿易の基本概念を理解する。	30
第7回	 為替レートと貿易の相互関係 (1)	
	With the state of	100
	為替レートと貿易の関係について、基礎的理論を理解する。	90
佐の同	* # L L D D D T B C O	
第8回	為替レートと貿易の相互関係(2)	
	為替レートと貿易の関係について、発展的理論を理解する。	90
第9回	国内通貨と国際通貨	
	通貨とは何か、国内・国際の両面から考察する。	90
	歴史とは何が、日内 日外の両面がりつが、100	30

第10回	世界の金融市場 小テスト 2 (小テスト 1 終了後から小テスト 2 直前までの範囲より出題)	
	為替市場や株式市場などについて、世界のマーケットの状況を理解する。	90
第11回	小テスト2の解説と補足 海外直接投資	
	小テスト2の理解を完全にする。 日本の直接投資について、対外・対内の両方向の状況について認識を深める。	90
第12回	国際収支の読み方(1)	1
	対外的な取引について、国際基準における記録方法の基礎を学ぶ。	90
第13回	国際収支の読み方(2)	•
	対外的な取引について、国際基準における記録方法の応用を学ぶ。	90
第14回	対外資産負債	•
	日本の対外的な資産と債務の状況を理解し今後の見通しを考察する。	90
第15回	授業全体のまとめ ※学期末試験(全範囲より出題)の正解は試験終了後ポータルサイトにアップします。	1
	学期末試験に向けての要点整理	90

授業の方法 板書や配布プリントを通して主に講義形式で行います。配布プリントは当日の授業終了後にSeikeiポータルにアップします。欠席者はそこ から入手してください。特に、第1回目は期末試験までの全体的計画についてシラバス更新版として配布プリントとともにお知らせします ので、第1回目欠席者は十分注意してください。
で、、新国日大流省は「ガ注息して、たとい。 授業の進展に合わせて、理解力の向上が伴うよう、受講生に質問したり、小テストを実施したりします。テストの受験も受講の一部です ので、学内外からの受講形態にかかわらず、テストを含め受講してください。なお、授業の進度に応じて、授業内でのテストの実施時期や 回数が上記の計画とは異なることがあります。
成績評価の方法 授業への参加状況等(10%)、小テスト(30%)、期末テスト(60%)
技表への参加状況等(「0%)、小テスト(30%)、
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。 次の点に着目し、その達成度によって評価する。 1.教養科目として必要な広域的理解ができている。
2. 日本における世界との関わり方について、今日的理解ができている。 3. 基本的概念と初級レベルの理論的理解ができている。
必要な予備知識/先修科目/関連科目 予備知識は特に必要ない。ただし、関連科目として、経済学に関する入門科目を履修済みが望ましい(例えば、経済学部以外の学生の場合、「経済学の基礎」が入門科目に相当します)。履修済みでない受講生は、同学期、あるいは、来学期以降に履修することを勧めます。
テキスト 適宜、指定します。
<u>参考書</u> 「経済のしくみと制度(第3版)」井出・井上・大野・北川・幸村著、多賀出版 (注意:最新版の第3版です。内容が異なる第2版や第1版
ではありません)

質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

教員名 井上 慶太	
科目ナンバー 1101476040 単位数 2	
配当年次 カリキュラムにより異なります。 開講時期 2018年度 後期	

私たちが日々生活する中で、企業の活動は深いかかわりをもっています。手軽に食べられるファーストフード、通学で利用するバスや鉄道など、多くの製品やサービスは企業によって提供されています。アルバイト先での経験を通じて企業の活動に直接ふれることもあるでしょう。就職活動では、働く場として自分はどのような企業がよいのかを考えることになります。それでは、企業とはどのようなもので、どのようにして私たちに製品やサービスを提供しているのでしょうか。

本講義では、社会における企業の役割について理解することを目標とします。そのために、経営学や会計学の基本的な考え方を学びながら、企業や経営について皆さんと一緒に考えていきます。

想定している受講生は、これまで経営学の科目を履修したことがない学生(法・文・理工学部)です。基本的な内容を扱いますので、経済学部の学生にとっては、ほかの科目で既に学んだことが多いかもしれませんが、もちろん受講可能です。企業の活動について眺めるための基本的な力を身につけたいという意欲をもつ皆さんの受講を希望します。

到達目標

- DP1(教養の修得), DP2(課題の発見と解決), DP5(表現力、発信力)を実現するために, つぎの点を達成目標とします。
- (1)社会の中での企業の役割について説明できる。
- (2) 経営学や会計学の基礎的な考え方を説明できる。
- (3)書籍、新聞、インターネットなどから企業の事例について情報を集め、自分の考えを述べることができる。

授業の計	授業の計画と準備学修						
回数	授業の計画・内容						
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)					
第1回	ガイダンス						
		60					
第2回	企業とは何か ・企業の役割						
		60					
第3回	企業とは何か ・環境、組織、資金のマネジメント						
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60					

第4回	まとめ①			
		60		
第5回	環境のマネジメント ・戦略の基本的な考え方			
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60		
第6回	環境のマネジメント ・競争戦略			
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60		
第7回	環境のマネジメント ・全社戦略			
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60		
第8回	組織のマネジメント ・組織と個人			
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60		
第9回	組織のマネジメント ・モチベーションとリーダーシップ			
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60		

第10回	組織のマネジメント	
	・計画とコントロール	
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60
第11回	まとめ②	
ип	66.00	
	【復習】第11回までに学んだ考え方を説明できるようにする。	60
第12回	<u></u> 資金のマネジメント	
#17년	・会計の基本的な考え方	
		60
第13回	<u></u> 資金のマネジメント	
第13四	・利益計算の仕組み	
	【復習】今回学んだキーワードを説明できるようにする。	60
第14回	 まとめ③	
35 1 TEI		
	復習】第14回までに学んだ考え方を説明できるようにする。	60
第15回	L 授業全体のまとめ	
第10回	大大工作のよとの	
	L 復習】授業を通じて学んだ考え方を説明できるようにする。	60

授業の方法 授業は講義形式で行います。コメントシートの記入や発言を求めることにより、できる限り双方向の授業にしたいと思います。時々小手トか小レポートを行い、理解度を確認しますので、授業内容の復習に力を入れてください。そのさい、普段自分が慣れ親しんだ製品やサビスを扱っている企業などの事例を参考に考えることが、理解を深めるためのコツです。授業後には質問の時間を設けますので、わからいところがあればその場で解決するようにしましょう。なお、受講生の関心などに応じて、授業計画を変更することがありますので、その点はご承知おきください。
成績評価の方法 以下の項目を総合的に判断して評価します。
小テストやレポート課題など40% 学期末試験40% 平常点(コメントシートの記載,授業への積極的な参加)20% 詳細はガイダンスで説明しますので,第1回の授業に必ず参加してください。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39. 次の点の達成度を評価します。 (1) 社会の中での企業の役割について説明できるか。 (2) 経営学や会計学の基礎的な考え方を説明できるか。 (3) 書籍、新聞、インターネットなどから企業の事例について情報を集め、自分の考えを述べることができるか。
CO Brain Wilding To 7 To To Color Service Color
必要な予備知識/先修科目/関連科目 予備知識はとくに必要ありません。毎回の積み重ねが大切ですので、しっかりと復習してつぎの授業に臨むようにしてください。
テキスト
講義で使う資料をテキストとします。
参考書
授業中に適宜紹介します。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

科目名	現代のマスメディア		
教員名	挾本 佳代		
科目ナンバー	1301476050	単位数	2
配当年次	2	開講時期 2018年度 前期	

「マスメディアのこれまでとこれからを考える」

わたしたちは好むと好まざるとにかかわらず、日々マスメディアによって発信される膨大な情報にさらされている。こうした情報を共有 することで、わたしたちは一見バラバラに存在しているかのように見えても、実は情報を共有することで相互に結びついているのだとする 考え方もある。

この授業では、現代社会を語る上で欠かすことのできないマスメディアの現状と問題点を考察していく。そして、急速に発展してきた ソーシャルネットワークの展望も考察する予定である。

わたしたちは、マスメディアに対してどのような姿勢をもって臨むべきなのか。いま現実に生活をしている社会そのものに関心をもちな がら、毎回の授業に臨んでほしい。

到達目標

DP1 (教養の修得)、DP2 (課題の発見と解決)、DP3 (他者との協働)、DP5 (表現力、発信力)を実現するため、以下を到達目標とする。

- ①マスメディアが果たしている役割を理解し、他人と知識交換をしながらきちんと説明できる。
- ②マスメディアの功罪と展望を説明できる。
- ③ソーシャルネットワークの展望について、的確に理解し、説明できる。

美の言 数	十画と準備学修 授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
<u> </u>	イントロダクション	
	・授業の内容、その進め方、予習・復習の仕方などを説明する。	
	・マスメディアにはどのようなものがあるかを把握する。	
	【予習】シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。	60
	【復習】授業の進め方などを確認する。	
回	マスメディアとは何か/コミュニケーションの類型	
	・マスメディアの定義、特徴を解説する。 ・コミュニケーションの類型を解説する。	
	コミューク・グョンの規主と呼机する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
<u> </u>	マスメディアと個性(1)	
-		
	・マスメディアが人間の個性にどのような影響を与えているかを考察する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	

第4回	マスメディアと個性(2)	
	・消費行動と人間個性の関連性を解説する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	1 60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。 	
第5回	マスメディアと個性(3)	<u> </u>
	・「断捨離」、ミニマリストの流行とマスメディアの関連性について解説する。	
	【 【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	l 60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
	【接首】 ヤーソート、ヤー似心に りいて解説することが じさるようにしておく。	
第6回	多チャンネル化と嗜好の多様化と情報共有	
	・地上デジタルテレビ放送やケーブルテレビ放送によってもたらされた嗜好の多様化について解説する。 ・多チャンネル化が引き起こす社会内で共有する情報の多寡について考察する。	
	・視聴率のからくりについて解説する。	
		90
	┃ ┃【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
*** 7 E		
第7回	中間テスト	
	┃・これまでの授業で学修してきた理解度を確認するため のテストを行う。 ┃ ┃	
	【予習】これまでの授業で学修してきたことを、自分の言葉で解説することができるようにしておく。	120
第8回		
	 ・スモールメディアとミドルメディアの現状を考察する。	
	・この2つのメディアがマスメディアを凌駕するかどうか、問題点はどこにあるのかについて解説する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。 【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	I 60
		00
	┃【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。 ┃	
第9回	メディアとしての新聞社を考える	•
	・活字離れの現状、それを食い止めるための方法について解説する。	
	・新聞社の役割を考える。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	┃ ┃【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
		Ī

第10回	新聞の再生は可能か	
	・メディアとしての新聞の歴史を解説する。	
	┃・新聞の発行部数の推移から、メディアとしての役割の変化を考察する。 ┃・インターネット網の拡大化によって、新聞にどのような影響が及ぼされたかについて解説する。	
	・新聞の今後の展望を考える。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。 	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
75 1 1 E		
第11回	企業戦略とマスメディア(1)	
	・マスメディアを利用して商品宣伝を行ってきた企業戦略を具体的に考察する。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	┃ ┃【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第12回	企業戦略とマスメディア (2)	
	・マスメディアを利用して商品宣伝を行ってきた企業戦略がどのように変化してきているかを考察する。	5
	【 「予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	1 60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。 	
第13回	マスメディアと政治と民主主義	
	┃ ┃・政治に及ぼすマスメディアの果たす役割を解説する。	
	・民主主義に関する理論とその特徴を解説する。 ・マスメディアによって政治意識は変化するかどうかについての問題を考察する。	
	・マスメディアと政治の良好な関係を探る。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
第14回	┃ ┃マスメディアの功罪とその展望 (1)	
	・マスメディアの功罪にはどのようなものがあるのかを考察する。	
	「マスケーイ)の列手にはこのようなものがめるのがでも余りる。	
	【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	【復習】キーワード、キー概念について解説することができるようにしておく。	
佐15日	ファルディフのAFT L Z の屋は (O)	
第15回	マスメディアの功罪とその展望(2) 	
	┃・マスメディアとスモールメディア・ミドルメディアとの棲み分けは可能かどうかを考察する。 ┃・これまでの学修内容を振り返り、現代社会におけるマスメディアの現状を確認する。	
	授業のまとめ 【予習】前回の講義の最後に提示された課題について、下調べをしておく。	60
	┃ ┃【復習】到達度確認テストに向けて、キーワード、キー概念について解説することができるようにして	
	おく。	
		1

基本的に、配布プリントなどをもとに、内容を詳説していく講義形式で行う。 随時授業の中で、与えられた課題に対する解答/コメントを作成する。 上で示された準備学習の時間は目安であるので、各自の理解度に応じて取り組むことが求められる。 なお、各テスト、課題の狙いは以下の通りである。 ①中間テスト:第1回~6回までの学修内容についての基礎的な理解度と、キーワードの理解を確認する。 ②課題に対する解答/コメント:授業ごとの到達度を確認する。 ③到達度確認テスト:授業全体の学修内容についての理解度を確認する。 成績評価の方法 随時行う課題への解答/コメント(15%)、中間テスト(25%)、到達度確認テスト(60%)による総合評価を基本とし、質問など授業へ の積極的な参加をプラスに評価する。 成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。 次の点に着目し、その達成度によって評価する。 ①基礎的なキーワード、鍵概念の的確な理解。 ②マスメディアの功罪を通して、現代社会を見通す深い理解力。 必要な予備知識/先修科目/関連科目 特になし。 「社会学と現代」(後期:挾本担当) 授業で適宜指示をする。 参考書 授業で適宜指示をする。

質問・相談方法等(オフィス<u>・アワー)</u>

ポータルサイトで周知する。

科目名		社会心理学入門	
教員名		正木 郁太郎	
科目ナン		1201476070 単位数	2
配当年次		2 開講時期 2018年度 前期	
テーマ・ 社会心理 義では、	概要 学は、人間の 社会心理学の	の感じ方や考え方、行動について、他者との関係の中で理解することを目指し、科学的に の基本的な研究手法と、主要な知見を解説することを通じて、私たち自身が普段、どのよ はすることを目指す。	
(2)人(3)人	間の認知、愿 々が無意識の 間の考え方、	を情、行動について科学的に調べる方法を理解する ううちに受けている対人的、社会的影響について理解する 行動、社会現象について、「なぜ?」と問い、客観的に考える力をつける	
	画と準備学修 授業の計画・		
	準備学修(予		準備学修の目安(分)
第1回	◎社会心理等 ・社会心理等	§、進め方を理解する ዽとは? 社会心理学の方法 ዽの特徴、方法について説明する	loo
		5バスを読み、あらかじめ講義内容を把握する 後内容を復習し、社会心理学の方法について確認しておく。	60
第2回	◎社会的認知 ・人間にとっ	ロ って「ものごとを客観的に捉えることがどう難しいか」を学ぶ	•
	【復習】授美	《内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60
第3回	◎対人認知: ·「血液型/	「血液型人間学」、ステレオタイプ \間学」を例に、人に対する印象形成や、そこに潜むバイアスの問題について学ぶ	•
	【復習】授美	巻内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60

第4回	◎帰属過程 ・私たちが他者の行動の原因をどのように推測するのか、その傾向を学ぶ		
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60	
第5回	◎自己 ・私たちが自分自身をどのように評価しているのか、その評価がどのようにゆがんでいるのかを学ぶ。 ・また、それが認知や行動に対する影響についても学ぶ。		
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60	
第6回	◎態度と説得 ・私たちは、どのようなときに、なぜ態度を変えるのかを学ぶ。 ・合わせて、対人的な説得の方法などについても学ぶ。		
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60	
第7回	◎集団1: 同調・服従と規範 ・私たちが他者から影響されてどのように行動を変えるのかを学ぶ。		
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60	
第8回	◎集団2:集団間関係、対立、偏見・2つ以上の集団があるとき、なぜ対立が起こりやすいかを学ぶ。		
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60	
第9回	◎心理的プロセスの文化差・私たちの心は、国や文化によってどのように違うのか、その違いはどのように生まれるのかについて	学ぶ。	
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60	

第10回 ◎ソーシャルネットワーク ・人と人が結びつくことで、どのような利点があるのか、どのように結びつくことが良いのかについて学ぶ。		
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60
第11回	◎組織のマネジメントと社会心理学・会社やサークル・部活動など、様々な組織をどのようにマネジメントすればよいのかについて学ぶ。【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60
第12回	◎マスメディアと世論形成、インターネット ・私たちは、マスメディアや周囲の人からどのように影響されているのかについて学ぶ。	
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60
第13回	◎応用的研究1: 組織のダイバーシティ・社会心理学の中でも応用的な研究事例について学ぶ。・「組織で様々な人が一緒に、かつ円滑に働くにはどうすればよいか?」という問題を扱う。	
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60
第14回	◎応用的研究2: 企業における人材採用と、育成・社会心理学の中でも応用的な研究事例について学ぶ。・企業における人材採用や、人材育成に潜む心理的な問題や、その解決方法を扱う。	
	【復習】授業内容を復習し、学んだ視点で身近な出来事を解釈する。	60
第15回	◎質疑応答、授業のまとめ	
	【復習】授業全体を振り返り、自分がこの授業で何を学んだかを体系的に考える。	120

授業の方法

- ・授業は、パワーポイントと、随時配布資料を用いて、講義を中心に進める。 ・簡単な質問紙実験やゲームを体験してもらう機会も設け、講義内容の理解を促進する。
- ・また、受講人数に応じて、少人数に分かれてのディスカッションなどを行う可能性がある。
- ・学生は、その日の講義で学んだこと、考えたこと、疑問に思ったことなどをリアクションペーパーとして提出することを求められる。重要な疑問、質問については、授業内で回答する。
- ・授業を通じて数回(授業3~5回に1回ほどを予定しているが授業進度に応じて決定する)、小テストを実施する予定である。内容はそれ までの授業の理解度を問うものであり、受講者全体で誤答の多かった問題についてはフィードバックを行うことで、最終試験に向けて授業 の理解度を高めることを目指す。
- ・普段から、授業資料を用いた復習に力を入れ、分からないところを持ち越さないようにすること。

成績評価の方法

平常点(授業への参加状況やリアクションペーパーの提出、小テストの結果)50%、期末試験50%で総合的に評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

次の点に着目し、その達成度によって評価する。

- ・社会心理学の方法について、理解できているか。
- ・社会心理学の主な知見について、理解できているか。
- ・社会心理学で学んだ視点で、身近な出来事について考えているか。

必要な予備知識/先修科目/関連科目

必要な予備知識はないが、受講者同士のコミュニケーションやディスカッションでの発言を求めるため、「座って一方的に授業を受ける」 以上に活発な参加が求められる。そのため、人とのコミュニケーションにためらいが無いことが望ましい。ただし内容は決して難しいものではなく、日常的な出来事に対する考えを話し合うものや、授業内容の復習が主であるため、高度な知識は必要ではない。

特に指定しない。適宜、資料を配付する。

参考書

- 1. 『社会心理学』、池田謙一・唐沢穣・工藤恵理子・村本由紀子、有斐閣. 2. このほかに授業中に適宜紹介する。

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	裁判と社会	
教員名	三田 奈穂	
科目ナンバー	1201476090	単位数 2
配当年次	2	開講時期 2018年度 後期

「裁判」という言葉を聞くと、自分には関係のない、異次元の世界のように感じる学生も多いかもしれない。本講義では、裁判の役割は何か、どのような人物によっておこなわれているのかといった基礎的な事項に関する知見を深め、具体的な事例を検討し、日本社会における 裁判とは一体どのようなものであるのかということについて考察する。

到達目標

DP 1 (教養の修得) を実現するため、次の2点を到達目標とする。 ①裁判に関する概略的な知識を修得する。

②日本社会に根差した法意識に関する指摘や裁判の実態に関する知識の修得を通じて、現代の「日本社会における裁判のあり方」について 主体的に答える力を身に付ける。

授業の記	 大画と準備学修	
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス ・講義の概観を説明する。 ・六法について説明する。 ・法律と判例との関係を概観する。	
	【予習】シラバスを一読する。	30
	【復習】図書館・書店等で六法を手にとり、購入を検討することが望ましい。	30
第2回	日本の訴訟の種類 ・刑事訴訟と民事訴訟の区分について説明する。 ・司法統計を通じて、現代日本の具体的な訴訟の状況に関するイメージをつかむ。	
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60
第3回	裁判の意義と限界 ・刑事司法手続における司法前処理について説明する。 ・裁判外紛争解決手続(ADR)について説明する。 ・訴訟によらない解決方法に対する知見を深め、改めて裁判の意義について考える。	
	【予習】裁判の役割について考えてみる。また、身近に起きた規模の小さな争いごとについて、どのように解決するのが望ましいのか、考察してみる。	30
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60

弗 4四	日本の裁判所の種類 ・日本の裁判所の種類について説明する。 ・一人制と合議制、裁判官の数について検討する。 ・最高裁判所の役割について考察する。							
	【予習】話し合いをするとき、どれくらいの人数が結論を導くのに望ましいのか、考えてみる。	30						
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第5回	裁判に携わる専門家 ・法曹の意義および法科大学院制度について説明する。 ・法曹一元に関する近時の展開を概観する。 ・法曹以外の専門家について概観する。							
	【予習】ニュースまたは手近な法廷ドラマ等で、裁判の構成員に関する概観をおさえておく。	30						
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第6回	裁判官とは ・裁判官の種類について説明する。 ・具体的な分限裁判を素材として、裁判官のあるべき姿を考察する。							
	【復習】レジュメの復習をおこなう。読売新聞社会部『ドキュメント裁判官-人が人をどう裁くのか』(中央公論新社、2002年)等を一読する。	120						
第7回	検察官とは ・検察官の役割について説明する。 ・準起訴手続および検察審査会の役割について考察する。 ・新しく制定された協議・合意制度を概観する。							
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第8回	弁護士とは ・在野法曹の意義について考察する。 ・日本の弁護士法の変遷を概観する。 ・隣接法律専門職を概観する。	<u> </u>						
	【復習】レジュメの復習をおこなう。これまでの講義を通じて、法曹のみによる裁判の進行の是非について考察してみる。	90						
第9回	国民の司法参加(1) ・裁判員制度の概要を説明する。 ・裁判員裁判における刑の量定について考察する。							
	【予習】裁判員の参加する刑事裁判に関する法律を通読する。	90						
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						

第10回	国民の司法参加(2) ・公判前整理手続について説明する。 ・刑事手続法の問題を考察する。							
	【予習】最高裁判所による裁判員制度ウェブサイトの映画「評議」 [http://www.saibanin.courts.go.jp/news/flash2.html] を観賞する。	90						
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第11回	国民の司法参加(3) ・世界の市民の司法参加制度を概観する。 ・日本の過去の国民の刑事司法参加制度を概観する。 ・比較法的知見から、よりよい制度のあり方について考える。							
	【予習】映画『十二人の怒れる男』(図書館にDVDが所蔵されており、また、リメイク版も一部店舗ではレンタル可能である)を視聴する。	150						
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第12回	日本人の法意識 ・隣人訴訟について説明する。 ・隣人訴訟の意義について考察する。							
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第13回	ジェンダーと離婚 ・ジェンダーとは何か説明する。 ・国際社会の動向を把握し、日本の実態とりわけ家族について考察する。							
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第14回	労働審判について ・社会法について説明する。 ・労働審判制度および労働契約法について説明する。							
	【予習】自らの将来について、具体的にイメージしてみる。	60						
	【復習】レジュメの復習をおこなう。	60						
第15回	授業のまとめ ・授業の全体を振り返る。 ・質疑応答							
	【予習】これまで扱ったプリント、自筆メモ・ノート等を整理し、学期末試験に向けた対策をおこなう。	300分以上						

授業の方法 「原則として講義形式をとるが、法的な問題意識に関する問いかけに対して、挙手等で意見を表示してもらいたい。また、裁判員制度に関し
では、教材としてビデオ等の視聴覚資料も使用する。
は持行体の大法
成績評価の方法 成績評価の80%は学期末試験により、20%は抜き打ちで実施する小テスト・授業内レポートによる。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 到達目標に示された、①裁判に対する知見を得、②現代の日本社会における裁判のあり方について主体的に答える力が身に付けられたかど
到達日標に示された、①裁判に対する知見を待、②現代の日本社会における裁判のあり方に Jいて主体的に各えるガか身に対けられたかと うかが評価の基準となる。
<u>必要な予備知識/先修科目/関連科目</u>
特になし。
講義では、日々話題となっている事件や裁判についても適宜解説するので、積極的に新聞やテレビ等でニュースを追いながら法的意識を高いないとこと
めていくこと。
テキスト
プリントを配布する。配布資料は整理してファイリングすること。欠席者はポータルサイトから配布資料を入手することができる。
参照用のテキストとして、『ブリッジブック裁判法〔第2版〕』小島武司編、信山社、ISBN: 9784797223026 および『裁判法〔第4版〕』 兼子一ほか、有斐閣、ISBN 4-641-00773-X を挙げておく。
東テーはか、有妄閣、ISBN 4-041-00773-X を挙げておく。 なお、法学部の学生は六法を持参すること。他学部に所属する学生は、総務省が提供するウェブ上の法令検索サイト電子政府の総合窓口
(e-Gov) 〈http://www.e-gov.go.jp/index.html〉より適宜条文を確認することが望ましい。
参考書
司法制度改革審議会意見書・首相官邸ウェブサイトより〈http://www.kantei.go.jp/jp/sihouseido/report/ikensyo/〉 個々の事項に関する文献については、配布資料に明示されたものを参照のこと。
四つのず次に対すの人間バーフがである日が見れた例外で作がしてがないとし。

ポータルサイトで周知する。

科目名	生命倫理と法			
教員名	三田 奈穂			
科目ナンバー	1101476100		単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 後期	

本講義では、命の始まりや終りをめぐる倫理的問題について、法との関係から検討する。学生のなかには、生命倫理と法について無縁であると感じる人もいるかも知れない。事実、本講義で扱う内容は、あまり知られていない遺伝病であったり、高齢者の終末期医療の決定方針であったり、男子学生にはイメージしにくい不妊に関する内容であったり、学生生活からはかけ離れたものである。しかし、社会生活を送るなかで、いつどのような場面でこうした問題と直面するかはわからない。特に、高齢社会のなかで、また、医療技術の発達に伴って、自らの人生設計に思いがけない問題が舞い込んでくる可能性は十分に考えられうる。そうした状況においてどのように判断すべきか、その力を涵養するのが本講義のねらいである。

到達日標

DP1 (教養の修得) を実現するため、次の2点を到達目標とする。

- ①近年話題となっている生命倫理をめぐる法的問題についての知見を深める。
- ②倫理観が問われる場において妥当な解決を導くことができる力を身に付ける。

授業の計画と準備学修

回数 授業の計画・内容

準備学修(予習·復習等) 準備学修の目安(分)

第1回 はじめに

生命倫理を学ぶ意義について

【予習】シラバスを一読しておくこと。

60

第2回 インフォームド・コンセント(1)

- ・医療法、医師法、医師について説明する。
- ICの歴史を概観する。

【予習】日本が戦時中におこなった人体実験に関する小説、遠藤周作『海と毒薬』を読んでおくのが望 120ましい。

第3回 インフォームド・コンセント(2)

- ・ICとパターナリズムの衝突について考える。
- ・未確立療法の説明義務に関する判例を検討する。

【予習】ハンチントン病について、インターネット等で調査してみること。特に動画を見てみることが 60 望ましい。また、自らの病気について、他人に知られることをどのように感じるか考えてみること。

第4回	人の終期と終末期医療(1)	
	・人の終期について議論する。	
	【 「予習】死とは何かについて考えてみること。	60
	【ア百】 死とは何かに りいく考えくみること。 	00
第5回	人の終期と終末期医療(2)	
	・安楽死について説明する。 ・安楽死に関する判例を検討する。	
	XXXXIIIX V VIIVIEIXII V VII	
		120
	L 日	120
***	L = 46 Hn L 46 ± Hn == ± (0)	
第6回	人の終期と終末期医療(3) ・近時の治療中止をめぐる展開について検討する。	
	世 時の / 加 / で の (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	
	 【予習】これまでの授業を振り返り、論点を確認しておくこと。	6 0
	The state of the s	
第7回	人の終期と終末期医療(4)	
第7回	八〇代为 C 代本为 C 烷 (4)	
	┃・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	t.
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	ರ .
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	t.
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	t.
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	り 0
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む	
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1)	
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。	
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1)	
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1)	
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。	90
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する	90
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。	90
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する	90
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する	90
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する	90
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集 4 3巻 1 号、1999年)を読むであること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。	90
第8回	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集 43巻 1号、1999年)を読むであること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。	90
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集 43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。	90
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集 43巻 1号、1999年)を読むであること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。	90
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集 43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。	90
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読むであるである。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。 脳死をめぐる問題(2) ・改正臓器移植法について説明する。 ・意思表示の方法について考える。	120
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集 43巻1号、1999年)を読む 【復習】左の文献をもう一度読み返してみること。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。	90
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読むであるである。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。 脳死をめぐる問題(2) ・改正臓器移植法について説明する。 ・意思表示の方法について考える。	120
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読むであるである。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。 脳死をめぐる問題(2) ・改正臓器移植法について説明する。 ・意思表示の方法について考える。	120
	・ホセ・ヨンパルト「生きる権利と死ぬ権利は同じか」(上智法学論集43巻1号、1999年)を読むであるである。 脳死をめぐる問題(1) ・臓器移植法について、歴史と内容を説明する。 【予習】人の死期はどのように判定すべきか、考えてみること。また、人の死期を早めることに対する 葛藤について、自らの意見をまとめておくこと。 脳死をめぐる問題(2) ・改正臓器移植法について説明する。 ・意思表示の方法について考える。	120

第10回	人の始期と生殖補助医療(1)	
	│・人の始期について議論する。 │・堕胎罪と人工妊娠中絶について説明する。	
	▲ 【予習】中絶の是非について、自らの意見をまとめておくこと。	6 0
第11回		
WILE.	・ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方について説明する。	
	【予習】学問の自由と、ヒト胚の研究上の規制について考えておくこと。	60
第12回	人の始期と生殖補助医療(3) ・人工授精をめぐる法的諸問題を検討する。	
	・入工技術を切くる法的的问題を快削する。 	
	┃ ┃【復習】非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ・長沖暁子編『AIDで生まれるということ』	120
	を一読し、改めてAIDの是非について考えてみること。	
第13回		
	・体外受精をめぐる法的諸問題を検討する。	
	【ヱ羽】ル珊山产を沙索さざもかじるか、辛日をましめてやノニし	l 60
	【予習】代理出産を許容すべきかどうか、意見をまとめておくこと。	00
第14回	 到達度確認テスト	
弗14凹	判定反唯能アスト ・理解度を図る簡単なテストをおこなう。	
		300分以上
	٤.	
第15回	ヒトゲノムをめぐる法的諸問題	
	総括 	
	┃ ┃【予習】これまでの講義を通じて、将来生じ得る新たな生命倫理と法をめぐる問題について考える。	60
	1.1 日』 - 10の くび時我に巡して、13小上し付で制にな上中間性に及るのへが回路について有んる。	

授業の方法 担当教員の作成したレジュメに従って講義形式ですすめる。その際に人体に関する画像や動画などを示し、ビジュアルにより体感的に理解
が進むようにする。倫理的・法的な問題に対して受講生には意見を述べてもらう。また、グループワークも実施する。
成績評価の方法
成績評価の40%は期末レポートにより、40%は第14回に実施する到達度確認テストにより、20%は平常点(授業への参加状況やグループワークの提出状況)による。
S S S S S S S S S S S S S S S S S S S
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。
到達目標で示された、①生命倫理をめぐる法的問題に関する知識の修得、および②妥当な解決を探る力が身につけられているかどうかが、 評価の基準となる。
門間の発生にある。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし。
なお、本講義は法学系の教員によって開講され、医療とりわけ生物学に関する言及は最低限に留める。
テキスト
教材はプリントを配布する。配布資料は整理してファイリングすること。
参考書
樋口範雄編著『ケース・スタディ生命倫理と法〔第2版〕』(ジュリスト増刊、有斐閣、2012年) 甲斐克則編『ブリッジブック医事法』(信山社、2008年)
甲斐克則・手嶋豊『医事法判例百選〔第2版〕』(別冊ジュリスト219、有斐閣、2014年) このほか、上記授業計画に提示されているもの、および授業中に言及するものがある。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

- 210 -

科目名	科学的に考える(熱と光の科学)	
教員名	日高 啓晶	
科目ナンバー	1201473010	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 後期

日常生活の中での熱と光にかかわりのある現象について取り上げる。

高校で物理や数学を履修していないことを前提とし、微分積分等を使わずにやさしく解説する。日常生活での熱と光に関係のある不思議な現象を取り上げ、なぜそのような事が起きるのか解説したり、学生にその理由を考えさせたりする。このようにすることで学生が興味を持って面白く学習し、科学的な考え方を自然に身につけることが出来ると考えられる。頭の中で想像する机上の物理の学習を避けるため、図・写真・映像・動画(CD ROM)を中心にして不思議な自然現象を面白く解説する物理の教科書・参考書等を活用しながら授業を展開する。また、数人づつのグループをつくり、なぜそのような不思議な現象が起きるのか等を議論させ発表させる、グループ学習の方法を、必要に応じて取り入れる。

到達目標

このような授業を通じて、身の回りの自然現象や科学技術に興味を持ち、科学的な考え方が出来るようになる。将来、日常生活や社会で何らかの科学技術的な問題等に遭遇したときに、このような考え方を生かして実践出来るようになる。

授業の計画と準備学修

回数 授業の計画・内容

準備学修(予習・復習等) 準備学修の目安(分)

第1回 授業の目的と概要:

日常生活での熱と光に関係のある不思議な現象を挙げてみよう

熱と生活 光と生活

【予習】日常生活での熱と光について、なぜだろうと不思議に思う現象を考えておく。

60

【復習】日常生活での熱と光について、不思議な現象にどのようなものがあるか復習し、その観点で次回の講義に備える。

第2回 熱と温度;

熱とはなにか? 温度とはなにか?

【予習】教科書・参考書の熱と温度に関連するところ(の解説図・写真、付属のCD-ROMの映像・動画) を参考にしながら予習し講義に備える。

【復習】熱と温度について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動画)を 参考にしながら復習する。

第3回

熱容量と比熱 熱量の保存

【予習】教科書・参考書の熱容量と比熱に関連するところ(の解説図・写真 ・動画)を参考にしなが

【復習】熱容量と比熱について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動画) を参考にしながら復習する。

第4回 物質の状態(固体・液体・気体);

ら予習し講義に備える。

不思議な超臨界流体

圧力鍋・圧力釜の原理

水蒸気でマッチに火をつかることができる?

過冷却水をお皿に注ぐとどうなるか?

打ち水の効果

熱膨張(夏に曲がるレール)

【予習】教科書・参考書の物質の状態に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしながら予 [60 習し講義に備える。 【復習】物質の状態について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動画)を 参考にしながら復習する。 第5回 気体の法則: ボイル・シャルルの法則 理想気体の状態方程式(富士山にもって行った菓子袋が膨らむ!) 気体の分子運動 【予習】教科書・参考書の気体の法則に関連するところ(の解説図・写真・ 動画)を参考にしながら 予習し講義に備える。 【復習】気体の法則について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動画)を 参考にしながら復習する。 気体の状態変化; 仕事とエネルギー(エネルギーとはなにか?) 第6回 熱と仕事の関係(手をこすると熱くなる、熱を仕事に変える蒸気機関車) 内部エネルギー 熱力学第一法則 気体の状態変化(自転車の空気入れが暑くなるのはなぜ?) 【予習】教科書・参考書の気体の状態変化に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしなが 60 ら予習し講義に備える。 【復習】気体の状態変化について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動 画)を参考にしながら復習する。 不可逆変化と熱機関 第7回 エネルギーの変換と保存 不可逆変化と熱力学第二法則(コップの中での氷から水への変化と水から氷への変化) 熱機関 永久機関は存在するか? 【予習】教科書・参考書の不可逆変化と熱機関に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にし 60 ながら予習し講義に備える。 【復習】不可逆変化と熱機関について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書 (の解説図・写真・動画)を参考にしながら復習する。 波と媒質の運動: 第8回 横波と縦波 波の重ね合わせの原理 波の干渉 波の反射・屈折・回折 【予習】教科書・参考書の波と媒質の運動に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしなが 60 ら予習し講義に備える。 【復習】波と媒質の運動について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動 画)を参考にしながら復習する。 第9回 光の反射と屈折: 反射の法則 屈折の法則 (水槽中の物が浮き上がって見えるのはなぜ?) 全反射(光の全反射を応用した光ファイバー・光通信) 【予習】教科書・参考書の光の反射と屈折に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしなが 60 ら予習し講義に備える。 【復習】光の反射と屈折について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動 画)を参考にしながら復習する。

第10回 光の分散と散乱・偏光: 光の分散 (二重にかかる虹が出来るのはなぜ?) 光の散乱 (空が青いのはなぜ?) 偏光(偏光眼鏡で3D映画を見ると立体的に見えるのはなぜ?) 【予習】教科書・参考書の光の分散と散乱・偏光に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考に 60 しながら予習し講義に備える。 【復習】光の分散と散乱・偏光について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書 (の解説図・写真・動画)を参考にしながら復習する。 第11回 レンズ: 実像と虚像 レンズの式(写像公式) 望遠鏡と顕微鏡 【予習】教科書・参考書のレンズに関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしながら予習し 60 講義に備える。 【復習】レンズについて学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動画)を参考 にしながら復習する。 光の干渉と回折; 第12回 ヤングの干渉実験 回折格子 【予習】教科書・参考書の光の干渉と回折に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしなが 60 ら予習し講義に備える。 【復習】光の干渉と回折について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動 画)を参考にしながら復習する。 第13回 光の干渉と回折(続き) くさび形空気層による光の干渉 ニュートンリング 薄膜による干渉(しゃぼん玉や水面に浮かんだ油の膜が色づいて見えるのはなぜ?) 【予習】教科書・参考書の光の干渉と回折に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしなが 60 ら予習し講義に備える。 【復習】光の干渉と回折について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動 画)を参考にしながら復習する。 第14回 光の正体は何?; 光の粒子説と波動説 光の波の媒質は何?(エーテル説と電磁波説) マイケルソン・モーレイの実験 光の正体は雷磁波 光速不変の原理とアインシュタインの相対性理論 【予習】教科書・参考書の光の正体に関連するところ(の解説図・写真・動画)を参考にしながら予習 60 し講義に備える。 【復習】光の正体について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動画)を参 考にしながら復習する。 第15回 授業のまとめ・ 原子・分子の運動エネルギーとしての熱 電磁波としての光

最終レポート課題出題

【予習】熱と光について学んだことを、講義ノートや教科書・参考書(の解説図・写真・動画)を参考 90 にしながらまとめる。

【復習】熱と光の科学についての最終レポートを作成する。

授業の方法

頭の中で想像するだけの机上の物理の学習を避けるため、図・写真・映像・動画 (CD ROM)を中心にして解説する物理の教科書・参考書などを活用しながら授業を展開する。また、数人づつのグループをつくり、なぜそのような不思議な物理現象が起きるのか等を議論させ発表させる、グループ学習の方法を、必要に応じて取り入れる。

成績評価の方法

平常点(授業への参加等) 20%、レポート 20%、期末試験の成績60%により評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

特に要しない

テキスト

「視覚でとらえるフォトサイエンス 物理図録」(数研出版)(1110円)

参老書

「基礎物理」杉本・山田・伊藤著(東京教学社)(2000円)

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業の後で質問・相談を受け付ける。

科目名	科學	学的に考える(物質	質の科学)						
教員名	加東	泰 茂							
科目ナン	//i— 120	1473020					単位数	2	
配当年次					開講時期	2018年度	前期		
インチキ	学情報を含めあ 商品やえせ科学	らゆる情報が氾濫 情報も蔓延してい。 際の人間生活に必§	ます。近年、科	学のあり方に	ついては話題	となる機会	が増してきてい	ハる。講義で	
	漂に関連し、本講	素義の受講によって							
目的とす	⁻ る。また、科学	(化学) 物質や科							
授業の計 回数	·画と準備学修 授業の計画・内	· 容							
	準備学修(予習·							準備学修	の目安(分)
第1回	科学情報から学 講義中に作成し	たノートに基づき、	、小テストにも	·備え復習して	ください				り上げる話題の 味に応じて30-
第2回	生活を支える化	学物質						007	
	講義中に作成し	たノートに基づき.	、小テストにも	₃備え復習して	ください				り上げる話題の 味に応じて30-
第3回	環境と化学物質								
	講義中に作成し	たノートに基づき	、小テストにも	ら備え復習して	ください				り上げる話題の 味に応じて30-

第4回	健康と化学物質	1
가 마	近水 C 10 丁 177 貝	

	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30-
		60分
第5回	 産業と化学物質	L
おり回	注示には 10 10 10 10 10 10 10 1	
	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30-
		60分
第6回	 植物からの化学物質	Ļ
M) CE		
	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30-
		60分
第7回	植物と物質(食料)生産	
),, <u> </u>		
	 講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の
	一時我中に下次したと、「こをって、小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	知識や興味に応じて30-
		60分
第8回	動物と化学物質	<u>'</u>
	 講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の
	一時我では下水のたと、「こをつと、小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	知識や興味に応じて30-
		60分
第9回	微生物からの化学物質	•
	 講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の
	and the state of t	知識や興味に応じて30-
		60分
		1

第10回	先端産業と化学物質	
	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30- 60分
第11回	地球環境と化学物質	
	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30- 60分
第12回	化学物質とエネルギー	
	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30- 60分
第13回	食物連鎖と化学物質	·
	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30- 60分
第14回	科学物質の恩恵?科学物質は必要?	
	講義中に作成したノートに基づき、小テストにも備え復習してください	各回で取り上げる話題の 知識や興味に応じて30- 60分
第15回	科学的な考え方とは	•
	これまでの内容を整理し、期末レポートを作成してください	期末レポート作成

授業の方法
講義を中心とします。小テスト(20~30分程度)を3~4回行う予定。
成績評価の方法
小テスト(50%)と期末レポート(50%)、また、出席も加味します。
177人下(5070)と痴不レルード(5070)、また、田浦も加州できず。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
Regulation No. 33.
心亜なる性知識/生族利用/用連利用
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特に必要ではありませんが、科学情報に関心を持って欲しい。
特に必要ではありませんが、科学情報に関心を持つし欲しい。
テキスト
特に指定しません。プリントを配布します。
参考書
<u> </u>
とくにありません。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。

	科学的に考える(数の世界)
教員名	石井 卓
科目ナンバー	1101473030 単位数 2
配当年次	1 開講時期 2018年度 前期

数にまつわる問題は、数千年もの昔から多くの人々を惹きつけ、今なお未解決の問題も数多く存在する。ここでは、微積分をはじめとする解析学などの高度な数学を用いない「初等整数論」についての入門的講義を行い、数の世界のもつ不思議さや美しさの一端を紹介する。一方で、この一見「役に立たない」整数論も近年、現代の通信技術において不可欠な暗号理論に応用されることがわかってきた。講義の後半では、RSA暗号、エルガマル暗号といわれる暗号を中心にその仕組みを解説する。

到達目標

DP 1 (教養の修得)、DP 2 (課題の発見と解決)、DP 5 (表現力、発信力)を実現するため、以下を到達目標とする。
① 一次不定方程式、一次合同式が解ける。

- ② 素因数分解を用いて約数の個数、和が求められる。 ③ べき乗剰余、べき乗根が求められる。
- ④ RSA暗号、エルガマル暗号が解読できる。
- ⑤ 原始根を用いて、合同式が解ける。

業の計	十画と準備学修	
数	授業の計画・内容	進供労権の日常 //ハ
10	準備学修(予習·復習等) 導入	準備学修の目安(分)
1 1 1 1	等人	
	高校の数学A「整数の性質」の内容を見直しておく。	60分
2回	約数・倍数、ユークリッドの互除法	
3回	第1回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。 一次不定方程式	60分
3 0回		
	第2回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	60分

第3回のノートを見世し理解を深めるとともに、レジュメの検管問題を解く、次回の講義のレジュメを 60分			
第6回	第4回	素数、素因数分解	
第6回			
第4回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 赤の回 合同式、一次合同式の解法 第5回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。		第3回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	0分
第4回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 赤の回 合同式、一次合同式の解法 第5回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。			
第4回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 赤の回 合同式、一次合同式の解法 第5回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。	第5回	4. 数の個数・総和 一章 全数	
議心でおく。	NIOE	TO SALVING SALVING THE SALVING	
第5回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。 第6回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。 第7回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。 第7回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。		第4回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	60分
第5回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。 第6回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。 第7回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。	笙6回		
議んでおく。 第7回 フェルマーの小定理、オイラーの関数 第6回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。 第7回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。	Niotzi		
第8回 オイラーの定理		第5回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	60分
第8回 オイラーの定理	笙7回	┃	
読んでおく。			:0/
第7回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分 読んでおく。 第3回 べき乗剰余の計算 第8回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分		まの回のアードを光直で生産体の切らとでに、レジュアの縁目问題を解す。次回の語義のレジュアを 読んでおく。	107)
読んでおく。第9回 べき乗剰余の計算第8回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分			
第8回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 60分			60分
第8回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	第9回	べき乗剰余の計算	
		第8回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	0分

第10回	RSA暗号	
	 第9回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを	604>
	第9回のケートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練音问題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	00.21.
/rt11 🗔		
第11回	原始根、指数、離散対数問題	
	第10回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを	60分
	読んでおく。	
第12回	エルガマル暗号	
	 第11回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを	6047
	第11回のプードを見直し壁座を深めることもに、レフェアの採首问題を解す。次回の講義のレフェアを 読んでおく。	007]
第13回	ー 平方剰余の相互法則	
иоп		
	第12回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを 読んでおく。	60分
	歌にん C な3 く。	
75 1 A 🖂	T-14 0 (p	
第14回	平方数の和	
	第13回のノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。次回の講義のレジュメを	60分
	読んでおく。	
第15回	総合演習	
	これまでのノートを目直し 理解を突めるとともに しごっょの練習問題を解く	60分
	これまでのノートを見直し理解を深めるとともに、レジュメの練習問題を解く。	60分

授業の方法
教室における講義を主体とする。教科書は特に指定せず、レジュメを配布し、その内容を板書、口頭での説明によって解説する。学生は静
かにノートを取りながら、解説を聞いて理解する(必要ならば質問をしてもよい)。また講義内の後半は演習(小テスト)の時間に充て、
その日に学習した内容を自分の手を動かして確認する。
成績評価の方法
講義内の演習1/3, 期末試験2/3
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特に仮定しない
-1-1
テキスト 特になし
1916/8/0
参考書
「はじめての数論」・シルヴァーマン著、鈴木治郎訳・ピアソンエデュケーション
質問・相談方法等(オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。
11

科目名		科学的に考える(生	命の科学)				
教員名		麻生 一枝					
科目ナン	ノバー	1201473040				単位数	2
配当年》	ጀ	1		開講時期	2018年度 7	後期	
テーマ・		マキン だも ロ ナー・ ・	HH++7/0=1 /	ᆂᆉᇰ	対しわてかっ	\#\ # \# \	3 七
なところ てくる す。男と	ろに見受けられ 「なんで違うの こ女の生物学的	ιます。日々の生活の Dだろう?」という疑 dな違いを知り、なぜ	なかで私たちが見たり息 問。この授業では、そん	くだいりする、さま な疑問について 対なはそのような違	さま男女の行 「自然選択によ ないをもつよう	テ動や考え方の こる進化」とい うになったのか	月女の生物学的な違いは様々 D違い。そこからわき上がっ いう観点から考えていきま いを考えること。それは、あ
到達目標	≖						
男女の遠	違いを様々なネ	見点から考えることに	より、男女の違いだけて	なく、男女の類似	1性、さらには	はヒトの性の曖	愛昧さを理解することを目標
とする。 • ヒ ト <i>σ</i>		牛姜を、科学的 • 生物	学的視点、とくに生物の)進化という側面が	いら考察できる	うようになる	
・様々な	な性のあり方に	こついて理解できるよ	うになる。	、たっこく・2 原田が	ショボ くじん	~ >1~ ~ ~ 0 °	
西番のま	+両レ進歴党/	女					
	十画と準備学(授業の計画						
		・内容					準備学修の目安(分)
回数	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス	・内容 習·復習等)	内容について説明ナブ				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス	・内容 習·復習等)	内容について説明する				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス	・内容 習·復習等)	内容について説明する				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス ・本講義の	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う					
授業の言 回数 第1回	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス ・本講義の	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う	内容について説明する				準備学修の目安(分)
回数	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス ・本講義の	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う					
回数	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス ・本講義の	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う					
回数	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス ・本講義の	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う					
第1回	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス・本講義の	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う 習】シラバスを読み、	講義の内容を把握する事				
第1回	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス・ ・本講義の 【予習、復	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う 習】シラバスを読み、	講義の内容を把握する事	logi.			
第1回	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス・ ・本講義の 【予習、復	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う 習】シラバスを読み、	講義の内容を把握する事				
第1回	授業の計画 準備学修(予 ガイダンス・ ・本講義の 【予習、復	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う 習】シラバスを読み、	講義の内容を把握する事	lo di			
第1回	授業の計画 準備学修(子 ガイオ講義の) ・本本講義の 【予習、復 自然選択に ・現代進化	・内容習・復習等) 目的、授業で取り扱う ヨ)シラバスを読み、 コンターの選出 はる進化・ヒトの進化 はにおける自然選択説	講義の内容を把握する事 の歴史 について学修する				60
第1回	授業の計画 準備学修(子 ガイオ講義の) ・本本講義の 【予習、復 自然選択に ・現代進化	・内容習・復習等) 目的、授業で取り扱う ヨ)シラバスを読み、 コンターの選出 はる進化・ヒトの進化 はにおける自然選択説	講義の内容を把握する事				
第1回	授業の計画 準備学修(子 ガイオ講義の) ・本本講義の 【予習、復 自然選択に ・現代進化	・内容習・復習等) 目的、授業で取り扱う ヨ)シラバスを読み、 コンターの選出 はる進化・ヒトの進化 はにおける自然選択説	講義の内容を把握する事 の歴史 について学修する				60
回数	授業の計画 準備学修(子 ガイオ講義の) ・本本講義の 【予習、復 自然選択に ・現代進化	・内容習・復習等) 目的、授業で取り扱う ヨ)シラバスを読み、 コンターの選出 はる進化・ヒトの進化 はにおける自然選択説	講義の内容を把握する事 の歴史 について学修する				60
第1回	授業の計画 準備学修(子 ガイオ講義の) ・本本講義の 【予習、復 自然選択に ・現代進化	・内容習・復習等) 目的、授業で取り扱う ヨ)シラバスを読み、 コンターの選出 はる進化・ヒトの進化 はにおける自然選択説	講義の内容を把握する事 の歴史 について学修する				60
第1回	授業の計画 準備学修(子 ガイ本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う 習】シラバスを読み、 よる進化・ヒトの進化 論における自然選択説 習】教科書、配布資料	講義の内容を把握する事の歴史はついて学修する				60
第1回	授業の計画 準備学修(予 ガイ本 ・本本 ・本本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う 習】シラバスを読み、 当、シラバスを読み、 はる進化・ヒトの進化 論における自然選択説 習】教科書、配布資料	講義の内容を把握する事の歴史について学修する。 を参考に授業の要点を理	里解する事	学説する		60
第1回	授業の計画 準備学修(予 ガイ本 ・本本 ・本本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・内容 習・復習等) 目的、授業で取り扱う 習】シラバスを読み、 当、シラバスを読み、 はる進化・ヒトの進化 論における自然選択説 習】教科書、配布資料	講義の内容を把握する事の歴史はついて学修する	里解する事	解説する		60

60

【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事

第4回	ヒトの配偶者選択1 ・ヒトにおける配偶者選び(異性についての好み)を、自然選択による進化という視点から考察する	
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60
第5回	ヒトの配偶者選択2 ・前回に続き、ヒトにおける配偶者選び(異性についての好み)を、自然選択による進化という視点かり 「予習、復習」教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	ら考察する 60
	【ア首、復首】 教件書、即仰貝科を参考に授業の委屈を理解する事	60
第6回	パートナー獲得競争 ・ヒトにおけるパートナー獲得行動を、自然選択による進化という視点から考察する	
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60
第7回	パートナーつなぎとめ戦術 ・DVやマインド・コントロールを含むヒトにおけるパートナーつなぎとめ行動を、自然選択による進行る	化という視点から考察す
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60
第8回	クラス・ディスカッション	
	スカッションのテーマについて、自分の考えをまとめておく事	60
第9回	性と犯罪1: ・犯罪者数や加害・被害関係などにみられる性差を、自然選択による進化という視点から考察する	
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60

第10回	性と犯罪2 ・子の虐待・殺害に見られる傾向をデータで示し、自然選択による進化という視点から考察する	
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60
第11回	脳の性差1 ・空間認知能力・共感能力など、さまざまな能力の性差について学修する 【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	1 60
	17日、仮日】 秋付音、比川具付と多物に以来い女派と在所する字	
第12回	脳の性差2 ・さまざまな能力の性差と、その生物学的および社会学的要因について学修する	
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60
第13回	性差の発達のメカニズム1 ・身体や心の性の分化のしくみについて学習し、多様な性のあり方への理解を深める	
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60
第14回	性差の発達のメカニズム2 ・心の性や性指向の発達における生物学的・社会学的要因の役割について考察する	
	【予習、復習】教科書、配布資料を参考に授業の要点を理解する事	60
第15回	まとめ ・これまで学修した知識を基に男性と女性の違いについて総括する	
	【予習、復習】講義で学んだ事を基に、自身の考えをまとめること	60

355 Mr. 40 - 14
授業の方法 教室における講義を中心に行ない、必要に応じてディスカッションの時間も設けることとする。講義終了後、毎回コメントペーパーの提出を求め、学修状況を確認する。
成績評価の方法
毎授業で提出する自筆コメントペーパー (70%) 、最終授業日 (15回目の講義) 内に書く期末自筆感想文 (30%) の合計100点で評価する。
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39. 次の点に着目し、その達成度により評価する ・ヒトの性差を生物の進化的な背景から科学的に理解できているか
・講義で学んだ内容をふまえ、身近な事象を説明する事が出来るか
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特になし
テキスト 『科学でわかる男と女の心と脳』 麻生一枝著 サイエンス・アイ新書
『科学でわかる男と女になるしくみ』 麻生一枝著 サイエンスアイ新書 テキストに載っていない題材については、資料プリントを配布する。
<u>参考書</u> John Alcock 2013 Animal Behavior: An Evolutionary Approach 10th Edition, Sinauer Associates, Inc. ISBN-13: 978-0878939664 『人間の本性を考える(上・中・下)』2004スティーブン・ピンカー著 山下篤子訳 NHKブックス その他、授業中に随時紹介する。
このに、及来中に極い近月 5 0。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	科学的に考える(文系のための数学)	
教員名	小林 幸夫	
科目ナンバー	1201473050	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 後期

あなたは、2÷0,0÷2,0÷0 の商を正しく言えますか?0を含むわり算が、実は連立方程式の解を見つけるときに重大なカギを握って 「勉強したら親に叱られる」「病気が治らないならば薬を飲まない」という命題はあり得るでしょうか?これらの問題の正解は、 「演算の規則」「集合・論理」を学ぶと納得できる。

本講義では、「数理の話題」と「集合・論理の話題」とを取り上げる。たとえば、価格の計算の中で、かけ算・わり算の意味を見直すと ころから始める。同じ式の中では、かけ算をたし算よりも先に計算する理由が納得できる。それだけではなく、簡単な連立方程式であれ ば、暗算でも解を求めることができるようになる。他方、ヒトが問題を考えるときには「まったくそう」「大体そう」…のようにゆらぎがある。脳は本来論理的でないのかも知れない。しかし、あいまいな表現の引き起こすトラブルは少なくない。このような事情を踏まえて、 数学の規則で命題の内容を論理的に判断する方法も身につける。数理の話題と集合・論理の話題との橋渡しとして、高校までとちがった方 法で確率・統計の考え方を振り返る。

講義で培った素養を何に生かすかは受講者次第である。SPI適性検査・公務員試験などでは、数列・集合・論理の素養を要求しているよ うである。本講義は、これらの受験講座ではない。しかし、このような試験の数的推理・判断推理の分野に役立てるのも一つの活かし方になる。何かに役立てるために学習するのではなく、数学の発想を楽しむ自由もある。人文・社会系の多くの受講者にとって、本講義が学校 教育で受ける最後の数学になる。数学を活かす仕事に従事しないのであれば、今しか数学を学習する機会はない。だからこそ履修するとい う発想もある。数学は日常生活から生まれてきたのだから、本来は人と親しくなれる性格を持っている。数学の意外な姿を見つけてみませ んか?

到達目標

数と図形に対するイメージが思い浮かぶような感覚を培う。

公式を暗記してあてはめるという習慣から脱却する。

問題の意味、解法の説明を図解するプレゼンテーション技術を身につける。

型通りに式を扱うのではなく、計算を工夫する力を伸ばす。

数学の文法を身につけ、日本語と同じレベルで表現手段として、式を読解したり、式でいい表したりすることができるようにする。

統計データの見方を身につけて、数学の立場で社会現象のしくみを理解する力を伸ばす。

数値に潜む意味を読み取る目を養う。

論理の組み立て方を正しく理解する

あいまいな言語に陥らないような表現力を身につける。

- 5. 思考パズルを通じて、柔軟な思考力、洞察力を伸ばす。 6. 答案・レポートを通じて、書類作成能力(数学以外でも重要)を高める。

書式、表現法などのプレゼンテーション技術も本科目で身につける。

これらの観点から、目安として SPI 適性検査、公務員試験等と同程度以上の基礎力を養うことをめざす。

授業の記		
回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	第1回 数学的発想 生活の中のどこに数学が現れるか?	
	【予習】シラバスを熟読する。 【復習】配布資料の演習問題を解く。	60
第2回	第2回 大きな数の扱い方(クレジットカードの返済, 指数・対数の使い方) 演算規則の決め方 負の数を含む割り算の商と余りを求めるには?	
	【予習】国語辞典等で接頭辞を調べる。 クレジットカード等の利子計算のしくみを調べる。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で,配布資料の演習問題を解く。	60
第3回	第3回 身のまわりの数理モデル(ハノイの塔, ウサギの繁殖)	•

	【予習】高校で数列を学習した経験の有無に関係なく,生活の中で数列を使う実例を考える。	60
	【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	
第4回	第4回 連立方程式の解き方(その1) あなたがコンピュータになったつもりで解くには? (その2) 解を分数で簡単に表すことができるのはほんとうか?	
	(ての2) 肝を力致し間手に扱うことがしさるのははんとうか!	
	【予習】0 を含む割算の商の考え方を確認する。	I 60
	【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	
第5回	第5回 数を行列の形に並べる発想(その1) 魔方陣, パスカルの三角形に潜む神秘性	
	【予習】多項式の意味と扱い方を確認する。	I 60
	(a+b) の 4 乗以上の展開の方法を考える。	
	【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	
第6回	第 6 回 ポーランド記法 括弧をまったく使わないで式を書けるか ?	•
	【予習】数式と言語との間で、語順、修飾関係などの共通点を考える。	I 60
	【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	
第7回	第 7 回 確率の発想 デタラメの中にある規則性とは? ベイズの法則(紅白玉問題・タクシー問題),	円周率の推定
第7回	第 7 回 確率の発想 デタラメの中にある規則性とは? ベイズの法則(紅白玉問題・タクシー問題),	円周率の推定
第7回	第 7 回 確率の発想 デタラメの中にある規則性とは?ベイズの法則(紅白玉問題・タクシー問題)。	円周率の推定
第7回		
第7回	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。	
第7回	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の	
第7回	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。 第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。	
第7回	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。 第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。	
第7回	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか ?	
	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。 第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	
	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか ?	
	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか ? 偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか ? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。	0 60
	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。 第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか ? 偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか ?	
	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか? 偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。 【予習】配布資料に基づいて、期待値、標準偏差の意味を確認する。	0 60
	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか? 偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。 【予習】配布資料に基づいて、期待値、標準偏差の意味を確認する。	0 60
	 【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか?偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか?	0 60
第8回	【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか? 偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。 【予習】配布資料に基づいて、期待値、標準偏差の意味を確認する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	0 60
第8回	 【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか?偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか?	0 60
第8回	 【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか?編差値はほんとうに実質的な成績を反映するか? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。 【予習】配布資料に基づいて、期待値、標準偏差の意味を確認する。【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第9回 集合と要素との関係(要素の数え方のトレーニング)まっすぐの思考とまるい思考とは?ものの集まりはすべて「集合」といえるのか?奇数と自然数とはどちらが多い? 	60
第8回	 【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか?偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか?	60
第8回	 【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか?編差値はほんとうに実質的な成績を反映するか? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。 【予習】配布資料に基づいて、期待値、標準偏差の意味を確認する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第9回 集合と要素との関係(要素の数え方のトレーニング)まっすぐの思考とまるい思考とは?ものの集まりはすべて「集合」といえるのか?奇数と自然数とはどちらが多い? 【予習】数学では、どのような場合に集合の概念を考えたかを確認する。ものの数え方の意味(男子学) 	60
第8回	 【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか ? 偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか ? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。 【予習】配布資料に基づいて、期待値、標準偏差の意味を確認する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第9回 集合と要素との関係(要素の数え方のトレーニング) まっすぐの思考とまるい思考とは? ものの集まりはすべて「集合」といえるのか? 奇数と自然数とはどちらが多い ? 【予習】数学では、どのような場合に集合の概念を考えたかを確認する。ものの数え方の意味(男子学生の人数から女子学生の人数を引けるか) を考える。わかったつもりになっていなかったどうかを自問する。 	60
第8回	 【予習】コイン投げで、10 回投げたら必ず5 回おもてが出るといえるかどうかを確かめ、確率 1/2 の意味を考える。降水確率、打率等の意味も確認する。第5回のパスカルの三角形の使い方を復習する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第8回 数値データの見方 平均だけで分布の特徴を判断できるか ? 偏差値はほんとうに実質的な成績を反映するか ? 統計は集合の特徴を表す概念と考え、「集合と論理」への橋渡しとする。 【予習】配布資料に基づいて、期待値、標準偏差の意味を確認する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。 第9回 集合と要素との関係(要素の数え方のトレーニング) まっすぐの思考とまるい思考とは? ものの集まりはすべて「集合」といえるのか? 奇数と自然数とはどちらが多い ? 【予習】数学では、どのような場合に集合の概念を考えたかを確認する。ものの数え方の意味(男子学生の人数から女子学生の人数を引けるか) を考える。わかったつもりになっていなかったどうかを自問する。 	60

第10回	第10回 演算の意味と集合の発想 引き算の意味をいくつ知っているか? 論理クイズ (これから論理の命題の意味:「あなたは優等生である」という文は命題といえるか?	
	【予習】減法を使う例題を考える。ただし,「引く」意味の異なる例を挙げる。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で,配布資料の演習問題を解く。	60
第11回	第11回 命題演算(その1)「かつ」「または」が真になるのはどんな場合 ? (その2)「山と海とのどちらか一方に行かない」の否定はどんな意味 ? (その3)「雨天ならば旅行を中止する」とはどんな意味 ?	
	【予習】「雨天ならば体育祭を延期する」というのは、雨天でない場合は必ず実施するという意味になるのかどうかを考える。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	60
第12回	第12回 (その4)「イヌは四つ足である」はいつでも真か? (その5) 命題の立場で不等式を見直してみよう (その6) 逆・裏・対偶 (その7)「すべて」と「ある」との意味をはっきりさせよう	
	【予習】「イヌは四つ足である」という命題は,どういう状況で正しいといえるのかどうかを考える。 手がかりは前回の講義で示唆する。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で,配布資料の演習問題を解く。	60
第13回	第13回 推論 アリバイの原理とは? 判断・推理の少しむずかしい問題に挑戦してみよう	
	【予習】前回の講義で出題する問題を考える。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で,配布資料の演習問題を解く。	60
第14回	第14回 数学パズル(柔軟な思考力のトレーニング) あなたは暗号を解読できるか? 楽譜はグラフの	─種?
	【予習】前回の講義で出題する問題を考える。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で,配布資料の演習問題を解く。	60
第15回	第15回 まとめ 社会と数学との密接な関係,数学の発想による脳のトレーニング 履修後も数学と長くつき合うために	
	【予習】初回の講義に戻って、数学が数学以外の分野で活用されている例を挙げる。たとえば、音楽、美術、スポーツに見つからないかどうかを確かめる。 【復習】講義ノートを確実に理解した上で、配布資料の演習問題を解く。	60
授業の方	法	

- ●初回を単なるガイダンスと誤解しないこと。放送大学・NHK教育テレビ等を見るとわかるように、初回からテーマを決めて講義を進行することは不思議ではない。
- ●1回あたり一つのトピックスを取り上げる。前回のトピックスが今回のトピックスに連鎖するように、ストーリーを組み立てながら進め、 数学の各項目は本質が密接に関連し合っている事情を示す。
- ●板書・配布資料による講義と演習とを行う。
- ●本講義は SPI・公務員試験の受験講座ではない。しかし、内容と水準の観点から、これらの試験の数的処理・判断推理の分野に対応できる基礎学力が養えると期待する。
- ●受講生の理解度を配慮して進度を調整するため、必ずしもシラバスどおりに進むとは限らない場合もある。
- ●中学・高校数学の単なるくり返しを期待している学生、公式を暗記して正解を求めればわかったことになると思い込んでいる学生には、 まったく向かない。
- ●数学は積み上げ式に理解していくという性格がある。受講を中断すると、筋道を見失うので注意する。

成績評価の方法

定期試験 80%・毎時間の確認問題 20%

ただし、定期試験の採点後、難易度を判断した上で、評価割合を ±10% 程度の範囲で変更することがある。確認問題は、必ずしも正解であることを要求しているわけではなく、どのような発想で考えたかという過程を重視する。単なる式の羅列ではなく、第三者に内容が正しく伝わるように表現する作文・図解の技法を評価する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

単に、正解に達するだけではなく、プレゼンテーション技術としての日本語作文能力 (数学の書式を含む)、図解の技法が身についていること。

必要な予備知識/先修科目/関連科目

予備知識を期待していない。高校までの先入観に固執しない柔軟な発想で受講することがのぞましい。

テキスト

プリント配布

問題の見方、考え方、説明の方法は人によってちがうので、講義に沿った補助教材を作成している。 毎回の講義の確認問題を提出する際に、配布資料を熟読する。

参考書

木下是雄: 『レポートの組み立て方』(筑摩書房, 1994). 篠田義明: 『コミュニケーション技術』(中央公論社, 1986).

質問・相談方法等(オフィス・アワー

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	科学的に考える(文系のための科学実験)
教員名	伊藤 郁夫、浅野 雅子
科目ナンバー	1201473060 単位数 2
配当年次	1 開講時期 2018年度 後期
や高校で、暗記しなりう。この授業では日常 て感じることができる	「科学(理科)は好きですか?」と聞くと、「小学生までは理科は好きだった」という答えが多くかえってくる。中学ければいけないことや計算問題がなかったならもっと理科が好きになれたのに、と思う人も少なからずいることだろ常生活の中での見慣れた現象をとりあげて、自ら実験や工作することを中心に進めるので、科学をより身近なものとしるようになるはずだ。中学や高校の理科をやり直してみたい、科学に興味はあるがいつも話ばかりで飽き足らない、子でわくわくするような感覚を味わってみたい、など、いろいろな動機での受講が可能である。

- 到達目標
 ① 身の回りの現象を題材にして、自らの手で実験をし、確かめることで、科学に対して積極的に向き合う姿勢を醸成する。
 ② 実験結果を整理した上で、自分の視点にもとづいて人に伝えることができる。

数	十画と準備学修 授業の計画・内容	
10	準備学修(予習·復習等) 【ガイダンス】授業の概要と到達目標を確認し、テーブル上でできる簡単な実験を体験して、授業(復習の仕方などについても確認する。	準備学修の目安(分) の進め方を説明する。予習
	【予習】シラバスを読み、教室の確認とポータルサイトへのアクセス環境を確認しておく。 【復習】授業時に行った実験内容を,自分で再現して他の人に見せられるくらいにしておく。	60
2回	【虹の解体】ガラスビーズで虹をつくる。詩人キーツが言及した虹の解体について君の意見は賛成が	・ い反対か。
	【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
3回	【サングラスを通して見える世界】偏光サングラスを通して見える景色を観察する。スマホの画面れない。	も普段と違って見えるかも
	【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60

第4回	【光を分ける】回折格子を使った分光計を製作し、それを通していろいろな光源からの光を観察する。 光を分けることでわかるとしたらすごいことだ。	遠く離れた天体のことも
	【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】製作した分光計でいろいろな光源からの光を観察し、その結果も含めてレポートを作成する。	90
第5回	【楽器の科学】試験管に水を入れた笛、ギターの弦を弾いて音の高さを調べる。弦楽器や管楽器では音ろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	階は何によって決まるだ
第6回	【音を科学する】音源からの音の波形をパネルに映し出し、その形と音色の関係を調べる。自然の音源 何だろうか。	とデジタル音源の違いは
	【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
第7回	【キャンディを噛んで稲妻】静電気のよく知られた様々な実験を自分で実演する。蛍光管が静電気で光か。ましてキャンディは?	
	【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】授業で配布したキャンディを他の人の前で光らせて確認してもらう。なぜ光るのかを説明して 納得してもらう。	60
第8回	【LEDで省エネ】豆電球とLEDを乾電池で点灯させる。LED照明が省エネルギーと言える理由はどのようた	なところにあるのだろう。
	【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
第9回	【電池を作ってオルゴールを鳴らす】身近な材料を使って電池をつくる。はたして,電子オルゴールを うか。	I 鳴らすことができるだろ
	【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】いろいろな材料の電池を自分で作り、その動作結果もあわせてレポートを作成する。	90

【予言】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 「「予言】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 「「予言】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 「「不言】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 「「不言】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 「「不言】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 「「不言」ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 「「不言」 「不言」 「不言」 「不言」 「「不言」 「不言」 「不言」 「「不言」 「不言」	第10回	【電気と磁気は切っても切れない】手回し発電機で電気を起こす。モーターを製作し、回してみること	で、電気と磁気の働きを
第12回		実感する。モーターが回れば大成功だ。	
第12回			
第12回			
大切である。		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
大切である。			
「「「「「「「「「「「「「」」」」」	第11回		「正しく怖がる」ことが
第12回 【環境にある放射線】ポータブルのガンマ線検出器を持って学園内の環境放射線量を測定し、マップをつくる。46億年前に地球ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。		大切と のる。	
第12回 【環境にある放射線】ポータブルのガンマ線検出器を持って学園内の環境放射線量を測定し、マップをつくる。46億年前に地球ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。			
第12回 【環境にある放射線】ポータブルのガンマ線検出器を持って学園内の環境放射線量を測定し、マップをつくる。46億年前に地球ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ボータルサイトにアップされた資料を読んでおく。			
ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。			
ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。			
ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。			
ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。			
ができたときに由来する放射線を確認して、宇宙の歴史について思いを馳せてみよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上で レポートを作成する。 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	第12回	【『環境にある放射線】ポータブルのガンス線絵出哭を持って学園内の環境放射線景を測定! マップを	<u> </u>
【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上でしポートを作成する。 第13回 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む	为12 国		ンへる。や原牛門に地外
【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上でしポートを作成する。 第13回 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上でしポートを作成する。 第13回 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
【復習】自分の住んでいる自治体で公表されている環境放射線量もふまえて、測定結果をまとめた上でしポートを作成する。 第13回 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			loo
第13回 【コーヒーが冷めない工夫】紙コップに注いだコーヒーはどのくらいで冷めるのか、マグボトルはどのくらい保温能力があるかを調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
を調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 「第14回」 「凍らない水」 試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
を調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 「第14回」 「凍らない水」 試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
を調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 「第14回」 「凍らない水」 試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
を調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 「第14回」 「凍らない水」 試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 60 第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む	第13回		<u> </u>
第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む		を調べる。地球温暖化とは何を意味するのだろうか。	
第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
第14回 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる。凍るという現象に潜む			
		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	[60
		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
	Mrs 1 A C		
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる	
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる	
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる	
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる 自然の姿を実感しよう。	。凍るという現象に潜む
現象を観察する。	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる 自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	。凍るという現象に潜む
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される	。凍るという現象に潜む
第15回 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にある「過冷却湖畔」の光		【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。	。凍るという現象に潜む
第15回 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にある「過冷却湖畔」の光 を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節に 	。凍るという現象に潜む
		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節に 	。凍るという現象に潜む
		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節に 	。凍るという現象に潜む
を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光
		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光
を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光
を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光
【復習】ペットボトルに水を入れて,冷凍庫で過冷却になるまで冷やし,それを器にあけて解放される		【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。	60
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される	。凍るという現象に潜む
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される	。凍るという現象に潜む
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される	。凍るという現象に潜む
	第14回	【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。	。凍るという現象に潜む
		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節に 	。凍るという現象に潜む
		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節に 	。凍るという現象に潜む
		【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節に	。凍るという現象に潜む
を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光
を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光
を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光
を確かめることができるだろうか。		 【凍らない水】試験管の水を過冷却にし、これを振って目の前で一瞬のうちに氷になる現象を確かめる自然の姿を実感しよう。 【予習】ポータルサイトにアップされた資料を読んでおく。 【復習】ペットボトルに水を入れて、冷凍庫で過冷却になるまで冷やし、それを器にあけて解放される現象を観察する。 【過冷却湖畔のかすかな光】宮沢賢治が好んで観察したと言われる実験を再現する。賢治の詩の一節にを確かめることができるだろうか。 	。凍るという現象に潜む 60 ある「過冷却湖畔」の光

・教員が美味して見せてくれる投業ではない。学生自らが協同しなから作業を行うことで進められる。 ・授業内容に関連した資料を事前にポータルサイトへアップするので、授業時に行う実験内容の理解のためにも時間を取って目を通してくること。 ・4回目、9回目、12回目の実験については、それぞれ報告書を作成して期日(おおむね2週間後)までに提出する。
成績評価の方法 平常点(授業への参加)60%, 提出物(実験報告書)40%。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。 次の点に着目し、その達成度により評価する。 ・科学的な現象に対して,積極的に取り組む姿勢が身についたか。 ・実験内容を整理し,自分の視点もとりこんで報告することができたか。
<u>必要な予備知識/先修科目/関連科目</u> 予備知識はとくに要しないが、新聞やウェブ、またテレビなどで科学関連のニュースや記事があったら、スキップしないで目を通すように
しよう。また、科学博物館へ足を運んだり、サイエンスチャンネルを視聴したりして、少しでも科学に触れる時間を作り、さらに授業で扱った実験を自宅で再現するなどして、積極的に取り組む姿勢を醸成してほしい。
テキスト 授業前にポータルにアップされる資料と、授業時に配布するプリント
参考書
授業の中で紹介する。
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 学内専用ホームページで周知する。

科目名	環境と科学(地球と環境)	
教員名	小森 次郎	
科目ナンバー	1201473070	単位数 2
配当年次	1	開講時期 2018年度 前期

テーマ・概要

私たちには、過去から受け継いだ地球を「健全な状態」で後世へ渡す、といった責務がある.いっぽう現代は世界の人口爆発、地球温暖化とそれに伴う自然環境の変化、といった激変の時代であり、尚かつ近代化が進んだ社会には自然と接する機会が少ない.したがって、自然に対する興味や、自然に関する情報の理解力・活用力 (≒リテラシー)を増す努力が必要である.また、科学には発展だけでなく限界があることも理解する必要がある.これらを受け、身近な自然の見どころや、火山噴火などの極端な地域・事象を扱い、それらを知り、考え、理解し、さらに自らが行動するきっかけまでを学ぶこととする.

到達目標

- DP 1 (学際的な分野の概念と思考方法を理解し人間社会の諸問題を多角的に把握し思考力を身につける) を実現するために,以下を到達目標とする.
- ・地球規模の空間スケールと地球史レベルの時間スケールを獲得し、地球表層の物質循環の実例を知ることで地球環境とその変化に対する興味と理解力が増強される。
- ・近代化以降の急激な変化、および各種の地球環境問題とそれに対する国際的な動向について説明ができる。
- ・健全な自然を後世へ受け渡すことの大切さと難しさを理解し、自らが、これからの世界が、どう進むべきかを考えることができる。

	一世 大田	
回数	授業の計画・内容 準備学修(予習·復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	当科目の受講ガイダンスと導入. ・「持続可能な地球」の本来目的の確認. ・科学の発展と限界の両面の理解(地震予知や噴火予知等の成功と失敗の事例紹介).	T Vital 1990 L.A. (VIII)
	・シラバスをよく読み、広義の内容と目標を理解しておく. ・授業内で強調する単語や例文について、自らも発展的に調べてみること.	60
第2回	地球環境を理解する上で必要な「空間スケール」の獲得 (1) ・宇宙から見た地球と太陽系天体の位置と特徴を理解する.	
	◆定規を持参すること	I 60
	・天体の位置や大きさを容易に理解するための方法を事前に探す. ・授業の内容を振り返り、全体を説明するキーワードを列挙し説明できるようにする.	
i3回	・天体の位置や大きさを容易に理解するための方法を事前に探す.	

,

第10回	過去数百年の気候変動と近年の温暖化による影響 ・氷河、氷河湖に関する環境変化の実態と諸問題について学ぶ。	
	・近年ニュースとなった日本国内の氷河について,新聞やインターネット上の情報を概査しておく. ・授業内で見た山域や氷河の位置や大きさ,特徴をGoogle Earthや各種地図を使って再度確認しておく こと	60
第11回	地球規模の環境問題の実態 (1) ・資源, エネルギー問題について学ぶ。	
	・ヨーロッパの産業革命など、高校までに学習した近代史について概略を復習しておくこと。 ・2011年3月以降の福島第一原子力発電所の事故について新聞やインターネット上の情報を概査すること。 と、	60
第12回	地球規模の環境問題の実態 (2) ・人口問題. 国際協力の課題	
	・少子高齢化や日本の人口減少について新聞やインターネット上の情報を概査すること. ・授業の内容を振り返り、全体を説明するキーワードを列挙し説明できるようにする.	60
第13回	環境問題の解決を考え表現する(1) ・社会問題、特に環境問題の抽出と整理(グループワークを予定)	
	・前回,前々回に扱った地球規模の課題の他に,どのような問題が存在するか概査しておくこと. ・次週の発表にむけて,各テーマ(又は各班)で調査の推進と発表準備を行うこと.	60
第14回	環境問題の解決を考え表現する(2) ・前週の成果を受けた報告	
	・発表にむけて,各テーマ(又は各班)で調査の推進と発表準備を行うこと. ・他の班の発表も含めて自らの考えを表現できるように更なる考察を進めること.	60
第15回	まとめ ・3Rや5Rでは解決されない問題の再確認	
	・授業1回目に出てきた言葉について,改めて考えておくこと. ・15回の授業を振り返り,全体を説明するキーワードを列挙し説明できるようにする.	60

・講義主体だが,グループワーク等を導入する.受講しているみなさんが主役なので.挙手による活発な質問・発言を歓迎する. ・動画の上映や簡易の実験,体験をおりまぜながら記憶に残る授業の実施に努めます.
・私語、携帯電話の使用、授業と関係の無い作業等については厳しく対処し退室を求める。授業開始から15分経過の入室は原則禁止とする。
・授業の進捗によって内容を変更する場合がある.
成績評価の方法 以下の内容で成績を評価する.
・ 期末レポート (40 %) ・ 授業ごとに提出するコメントカード(リアクションペーパー)の提出率と内容:20 %
・授業内のミニテスト(コメントカード内へ解答する場合あり): 20 % - 地球史の理解に用いる大学-駅間の地図への作業内容: 10 %
・物質循環に関する図の作成内容:10 %
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目 特になし
テキスト
特になし
参考書
特になし
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後、または電子メールにて受け付けます。

科目名		環境と科学(生命と	ト環境)				
教員名		池田 威秀	>k->b7				
科目ナン		1201473080		00 = # = # 45	00405	単位数	2
配当年次		I		開講時期	2018年度 前	前期	
テーマ・ 木謙美で		いかにし ケ環境に適応	応してきたか、特に生物の 体	は色に関しての話	題を由心に紹	!介する予定で	ある
生物、	物理等を履修	多していない学生も 理	理解できるよう、前半は生物	nと進化、光と色	などの基礎的	な話題が中心	
視覚や体	色を例に、そ	その適応的な意味につ	ついて検討したい。なお、事	睛により内容を	一部変更する	場合がある。	
到達目標							
生命の進	化と環境への		に視覚と体色の進化を中心に	理解する。			
①生命の	進化、適応に	こついて理解する					
	の特性と環境 形質について	見を埋解する この論理的考察ができ	きる				
<u></u>							
授業の計	画と準備学術	*					
回数	授業の計画	• 内容					
	準備学修(予	習·復習等)					準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス・ 坪業の内2	容、進め方について					
	・レポート						
	・シラバスの	の確認と内容把握					30
第2回	進化と適応	(1)					1
N251-11	・ダーウィン	ンの進化論					
	・ゲーム理語	侖の考え方等					
		フードの確認と復習					I 60
	技术内で	ノードの唯心と後日					00
第3回	進化と適応						•
	・ネオダー [・] ・様々な適原						
	マンマ (4 地)	ਹ-ਜ਼ਮ≝⊔ ਯ					
	授業内キー「	フードの確認と復習					60
							1

第4回	光と色(1) ・光とは何か ・色とは何か 等	
		60
第5回	光と色 (2) ・どのように色を記述するか ・分光スペクトル 等	60
	文木/19 T プードの() に応こ 後日	
第6回	視覚 (1) ・複眼と単眼 ・物が見える仕組み 等	
	授業内キーワードの確認と復習	60
第7回	視覚(2) ・目と視物質の進化 等	
	授業内キーワードの確認と復習	60
第8回	体色と適応的意味 ・様々な体色と適応的意義 等	
	授業内キーワードの確認と復習	60
第9回	発色のメカニズム ・色素細胞とは ・チューリング・パターン 等	
	授業内キーワードの確認と復習	60

第10回	体色を考える(1) ・レポートの書き方 ・魚類の体色について 等	
		60
第11回	体色を考える (2) ・環境と体色 ・体色変化とメカニズム 等	loo
	授業内キーワードの確認と復習	60
第12回	体色を考える(3) ・特殊な環境と色 ・見え方を考える	
	授業内キーワードの確認と復習	60
第13回	植物と色 ・花の色/実の色 ・受粉戦略と種子散布	
	授業内キーワードの確認と復習	60
第14回	生活と色 ・生活における色	
	授業内キーワードの確認と復習	60
第15回	まとめ	
	授業内キーワードの確認と復習	60

授業の方法
基本的にはプロジェクターを用いた講義形式で行う。
成績評価の方法
学期末に課すレポート(80%程度)を中心に評価する。その他、平常点(授業への参加状況等)も考慮する予定である(20%程度)。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
特にレポート課題に関しては、
①適切な対象を選択し、その生態をよく理解しているか ②物理的、生物的環境を理解できているか
③上記をふまえた上での論理的な考察ができているか
を主な評価点とする
詳細に関してはガイダンスおよび授業内に発表する予定である
必要な予備知識/先修科目/関連科目
必須ではないが、生物学、物理学等の基礎が理解できていることが望ましい。
ニナッし
<u>テキスト</u> 特に指定しないが、下記参考書の内容を中心に講義する予定である。
行に旧たしないが、「記参わ言い内谷で中心に講我する」たとめる。
参考書
視覚とその進化に関しては、アンドリュー・パーカー『眼の誕生』、サイモン・イングス『見る』、色素に関しては梅鉢幸重『動物の色
素』、藤井良三『色素細胞』、また生物の色に関しては日高敏隆『動物の体色』等。
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付ける。

科目名		環境と科学(食料	料と環境)					
教員名		加藤 茂						
科目ナン	バー	1101473090					単位数	2
配当年次		1			開講時期	2018年度		Δ
テーマ・	概要				<u>'</u>	-		
温暖化な	ど大きく変化	上してきている。:		つれの生存に最も	も必要な食料			市以降の人間活動により地球 いて平易に解説を行う。さら
到達目標								
地球規模	での食料と野	環境について最新	の正確な知識の蓄積	責が進み、これら	らに関して各	人が精細な	議論・主張がて	できること。
	画と準備学の製画							
	授業の計画 準備学修(予							準備学修の目安(分)
第1回	近年、地球 [予習]シ	温暖化抑制への取 ラバスを参考に、	々と変化している。 り組みが全球的に対 あらかじめ講義内容 、成績の評価基準等	台まっているが® なを把握する。	時間的余裕は			中二酸化炭素濃度が上昇。
第2回		境問題 1(日本を 境問題の現状につ	中心に) いて、最新の環境ら	白書や気象白書を	を基に学修す	·ð.		
			情報を常に習得する 再読し、講義内容の					30-60
第3回		境問題 2(グロー 境問題の現状につ	バルに見ると) いて、FAOやUNEP等	の報告書を基に	学修する。			
			情報を常に習得する 再読し、講義内容の		,			30-60

第4回	日本の食料生産環境 1 ・日本の食料生産・需給状況等について、農林水産省白書を基に学修する。	
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30–60
第5回	日本の食料生産環境 2 ・日本の食料生産・需給状況等について、農林水産省白書、水産庁等の報告書を基に学修する。	
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30-60
第6回	世界の食料は十分であるか? ・FAO、OECD等の報告書を基に、全球的な食糧需給状況を学修する。	
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30–60
第7回	森林と地球環境 ・林業白書及びFAO報告書を基に、全球的な森林と環境の現状を概説する。	
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30–60
第8回	食料生産と水 ・食料生産には水は必須であるが、現在地球上の限られた淡水資源はますます減少している。FAO、UNE 学修する。	P、UNDP等の報告書を基に
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30-60
第9回	世界の水環境(地球の淡水資源) ・現在地球上の限られた淡水資源の減少は、確実に進んでいる。FAO、UNEP等の報告書を基に全球的なオ	く資源について学修する。
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30–60

第10回	食料生産環境と必要な技術 ・世界の農耕地は確実に減少が進んでいる。一方、世界の人口は確実に増加しており、平等な食糧確保に 書、FAO、OECD等の資料を基に学修する。	について農林水産省白
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30-60
第11回	海洋環境と水産資源 ・海洋環境の劣化の進展とともに水産資源の減少が進んでいる。FAO、UNEP、水産庁等の資料を基に学修	
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30–60
第12回	食料それともエネルギー ・世界的なエネルギ需要の急増と石油資源の枯渇が明らかとなり、新たな代替燃料としてバイオ燃料製 OECDの報告書等を基に学修する。	造が進んでいる。FAO、
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30-60
第13回	食料の移動と地球環境 ・食料生産地から消費地への輸送は、全球的である。食料生産地の水資源、輸送時のカーボンフットプ る。	リント等について学修す
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30–60
第14回	食料と健康 ・安心安全な食料は健康な生活に直結している。農林水産省白書、厚生労働省白書、FAO、WHO等の報告	書を基に学修する。
	[予習] 新聞等の食料や環境情報を常に習得するよう努める。 [復讐] 講義に用いた資料を再読し、講義内容の理解を深める。	30-60
第15回	講義まとめ ・これまでの学習内容について、到達度確認試験の解説や質疑応答を行 う 。	
	これまでの内容を整理し、到達度確認の試験に備えること。	60

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
授業の方法 最新の情報をもとに講義を行い、数回の小テストを実施する。講義は基本的な考え方を分かりやすく解説する。なお、できるだけ身近な話
題を取り上げながら、食料および環境に関する理解・習熟できるよう教授する。
また、小テストを行った時は、そのテストの終了後に解説を行う。
成績評価の方法
期末試験と適宜行う小テストをもとに評価する。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
日ごろから食料や環境に関しての情報を収集し、自身の知識とすること。
テキスト 教科書等は特に定めません。各講義内容は資料として配布します。
教件音寺は付に定めません。 台語我内台は具件として配仰します。
参考書
最新の農林水産省白書、林業白書、環境白書、FAO報告書、WHO報告書、IUCN報告書、UNEP・UNDP報告書など
質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名		人間と進化					
教員名		櫻木 晃彦					
科目ナン	// \ \	1201477020				単位数	2
配当年次		2		開講時期	2018年度	後期	
テーマ・		加入箱学 さかわたり	上物学的組占に立って	人間を探求するもので	ある 目休的	かた 生物と	してのヒトの特徴を学ぶ。
あらゆる	自然科学の3	究極の目的は自分自身	身を知るということで	あろう。生物としての	人間、すなれ	かちヒトとはど	のようなものかを学ぶこと
によって	、「目らをタ	知ろう」という知的作	F 美を体験する。 				
到達目標	<u> </u>						
		E確なイメージをもつ	っこと。				
授業の計 回数	画と準備学 授業の計画						
	準備学修(予	·習·復習等)					準備学修の目安(分)
第1回	1. 生物と	してのヒトを概観する	3				
	教科書の関	車すると判断できる。	ところを熟読する。				60分
第2回	2. 生物と	は何か					
	教科書の関	車すると判断できる。	ところを熟読する。				60分
*** O 🗔	0 1/50						
第3回	3. 人14の	既形を決める骨の形					
	教科書の関	車すると判断できる。	ところを熟読する。				60分
							1

60分
60分
60分
60分
ı
60分
60分
60 (A)
60分
60分
60分
60分
60分
60分
60分
60分
60分
60分
60分
60分

第10回	10. ヒトの個体発生(2)老化と死	
	教科書の関連すると判断できるところを熟読する。	60分
第11回	 11. 進化とは何か	
	教科書の関連すると判断できるところを熟読する。	60分
	大行首の民任すると刊向 くさるととうと然助する。	1007
th 40 m		
第12回	12. 人類への進化	
	教科書の関連すると判断できるところを熟読する。	60分
第13回	13. ヒトは特別な生物か	
	教科書の関連すると判断できるところを熟読する。	60分
第14回	14. ヒトとしての自分自身を考える	<u> </u>
	 教科書の関連すると判断できるところを熟読する。	60分
第15回	 15. まとめと試験	
	数利妻の眼笛ナスも郷壁できるしてて動きナス	Isoz)
	教科書の関連すると判断できるところを熟読する。	60分

授業の方法
講義形式で行なう。ほぼ毎回プリントを配布し、コンピュータグラフィックス等の画像を駆使して視覚に訴え、わかりやすく解説する。
時我がなく行るり。1818年ロンプン「で記事し、コンピューアノングイフンハサツ国际と呼及して抗死に呼ん、1718年で、1718年で、1718年で、1718年で、1718年で、1718年によりにより、1718年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに
成績評価の方法
評価は筆記試験(95%)と課題(5%)による。
III IIII 16 7 III III 16 17 III 16 17 III 16 17 III
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
人体に興味があることを必要とする。高校で「生物」を履修している必要はない。
ATTION OF THE POST
テキスト
『人体で学ぶ生物学』、桜木晃彦、てらぺいあ社、¥1,900、ISBN:978-4-88699-021-1
参考書
『ここまでわかった人類の起源と進化』、R. ルーウィン、てらぺいあ社、¥3200、ISBN:88699-013-4
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付ける。

	天文学入門			
教員名	古荘 玲子、渡部 潤一			
科目ナンバー	1101477030		単位数	2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期 2	018年度 前期	

天文学は、私たち人類が自分たちを取り巻く世界を理解したいという知的好奇心から生まれた、最古の学問のひとつである。私たちの住む 地球からはじまり、太陽系、銀河系そして遠方銀河までが、どのように観測され、研究されてきたのか、宇宙の構造を空間スケールを変え ながら概略を学ぶ。また、私たちの住む地球や太陽系を含めて、時間とともにどのように進化してきたのかを概説する。

到達目標

る。

- 1. 天文学が明らかにしてきた知見を、時間的・空間的なスケールと絡めて包括的に理解する
- 2. 地球や私たちの文明のあり方を、宇宙における存在として捉えなおす

授業の計画と準備学修 回数 授業の計画・内容 準備学修(予習·復習等) 準備学修の目安(分) 第1回 ガイダンス/宇宙観の変遷 ・本講義の進め方や評価基準について説明する。 ・天文学の始まりと研究の流れについて解説する。 【予習】シラバスや参考書を読み、予め講義内容を把握する。 30 【復習】講義の進め方や評価基準を確認し、配布プリントを復習する。 60 基礎知識1 第2回 ・時間と空間、暦の成立と変遷、天体のスケールについて解説し、学修する。 時間と空間の概念、暦の成立と変遷、天体のスケールについて、プリントや参考書を元に復習し、理解 90 を深める。 基礎知識2 第3回 ・観測とはなにか、観測手法、波長、座標系などについて解説し、学修する。 観測とはなにか、観測手法、波長、座標系などについて、プリントや参考書を元に復習し、理解を深め 90

第4回	地球 ・地球の誕生、歴史について解説し、学修する。					
		90				
第5回	太陽系 1 ・太陽系の概念の変遷と惑星とは何かについて解説し、学修する。 太陽系の概念の変遷、特に惑星の定義について、プリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90				
	太陽ポの似心の炎症、付に芯生の足我に りいし、 クリクトや参布者を尤に仮自し、 理解を体の る。	90				
第6回	太陽系2 ・個々の惑星の性質、特徴、種別などについて解説し、学修する。					
	個々の惑星の性質、特徴、種別などについて、プリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90				
第7回	大陽系3 ・太陽系小天体、特に彗星、小惑星、および流星について解説し、学修する。					
	太陽系小天体、特に彗星、小惑星、および流星について、プリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90				
第8回	太陽 ・恒星としての太陽、太陽の物理について解説し、学修する。					
	太陽の物理について、プリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90				
第9回	恒星 1 ・恒星とは何か、および恒星分類について解説し、学修する。					
	恒星とは何か、および恒星分類についてプリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90				

第10回	恒星2 ・恒星の進化と輪廻、物質循環に果たす役割について解説し、学修する。						
	恒星の進化と輪廻、物質循環に果たす役割についてプリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90					
第11回	銀河系 ・天の川銀河の性質、構造、および進化について解説し、学修する。	100					
	天の川銀河の性質、構造、および進化についてプリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90					
第12回	銀河・銀河の種別と分類、銀河の進化、および構造について解説し、学修する。						
	銀河の種別と分類、銀河の進化、および構造についてプリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90					
第13回	宇宙論・宇宙の誕生、進化、構造、および多宇宙論について解説し、学修する。						
	宇宙の誕生、進化、構造、および多宇宙論についてプリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90					
第14回	宇宙と生命・宇宙における生命の可能性や生命探査、さらに系外惑星について解説し、学修する。						
	宇宙における生命の可能性や生命探査、系外惑星について、プリントや参考書を元に復習し、理解を深める。	90					
第15回	到達度確認テスト ・これまでの学修内容について、理解度を確認するためのテストを実施する。						
	【予習】到達度確認テストに備え、これまでの学修内容を確認する。	120					

TO ME A TALL
授業の方法 教室での講義を主体とする。授業時に各回のトピックに関するプリントを配布する。普段から、ノートやプリントを使って復習に力を入れ ること。最終授業で到達度確認テストを行い、授業全体の学修内容についての理解度を確認する。
成績評価の方法 授業最後に実施する到達度確認テストの成績を主とするが (70%)、講義への出席状況(30%)を加味する。
]文末取及に大肥する到廷及唯心/ハトの)及順と上こするが、(70//)、時我、の山市仏が(50///) と加州する。
氏体証本の甘油
成績評価の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。次の点に着目し、その達成度により評価する。 ① 天文学が明らかにしてきた基本的な知見を、論理的に正しく説明できる。
② ①について、さらに時間的・空間的なスケールと絡めて解説できる。
必要な予備知識/先修科目/関連科目
高校程度の数学的な基礎知識があることを前提とする。
テキスト
なし(必要に応じてプリントを配布します)
参考書 「面白いほど宇宙がわかる 1 5 の言の葉」 渡部潤一著、小学館 1 O 1 新書 「宇宙科学入門 - 第2版 - 」 尾崎洋二著、東京大学出版会
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	薬はなぜ効くか	
教員名	武田 収功	
科目ナンバー	1101477040	単位数 2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期 2018年度 後期

テーマ・概要

〈概要〉「薬はなぜ効くか」を考えたとき、その対象は常に生体である。 生体は主に有機化合物で構成されており、薬もまたその多くは有機化合物としての化学構造を持っている。それゆえ生体と薬との相互作用、すなわち分子どうしの化学反応によってその効果が発現される。「薬が効く」と言うことはまさにこの化学反応を理解するということである。 薬 (医薬品) は病気の治療、予防、そして診断に用いられ、人類の健康の維持に無くてはならないものである。近年、多岐にわたる薬が開発され、薬の作用も多様化している。薬の効果は治療面に大いに発揮されるが、薬の持つ副作用も大きく無視できない。更に世界中では最も死亡率の高い結核菌などの病原細菌やマラリヤなどの原虫、またHIVやインフルエンザなどのウイルスはもちろん、ガン細胞にも薬に対する耐性が発生している。このような薬についての様々な事柄について、薬にかかわる分野が化学、生物学、物理学、医学、化学工学、経済学、また倫理学などの総合科学であることを認識しながら、その本質を多様な観点から考察し、理解する。

は、ながら、その本質を多様な観点から考察し、理解する。 〈テーマ〉 「薬はなぜ効くか」の理解は、より優れた新薬の開発、耐性の克服、副作用の軽減、正しい薬の用い方などのために必要である。近年、発見の目覚ましい受容体と薬の相互作用などをはじめ、薬の種類、作用機序(薬はなぜ効くか)、薬剤耐性(薬はなぜ効かなくなるか)、薬による副作用、遺伝子治療など、"薬"全般について講義する。その他、アレルギーなどの慢性疾患に効果が認められる漢方薬について概説し、更に覚せい剤、モルヒネ、大麻などを違法に使用する"薬物乱用"についてもその危険性などについて講義する。できるだけ化学構造式や反応式などを使わず、図案化したモデルを用い、わかりやすい、しかしサイエンスに基づいた内容とする。

到達目標

受講生が薬について正しい知識を取得し、薬の全体像を理解し説明できる。 また、それが自分自身や家族はもとより、社会全体に対して これからの健康的なまた、保健衛生上の生活の一助となることを目標とする。

	計画と準備学修 	
回数	授業の計画・内容	進供労権の日常 (八)
第1回	準備学修(予習・復習等) 講義全体の概説及び薬(医薬品)とは何かについて ・薬の定義などについて学修する。	準備学修の目安(分)
	【予習】 シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 【復習】 テクニカルタームの理解をする。	30 60
第2回	薬の発展の歴史(人類と様々な疾病との闘い) ・ヒポクラテス、錬金術からゲノム新薬へ。人類はどのように薬を開発し利用してきたかを学修する。	
	【予習】図書館、インターネットなどで、薬の発展の経緯を調べておく。 【復習】進化の過程を理解する。伝統薬などを知る。	30 60
第3回	薬の形と性質・薬の作用を受ける身体の仕組み ・臓器、神経、ホルモン、酵素、DNA・・・などの働きとその理解。	
	【予習】高校の生物、化学の教科書をあらかじめ読んでおく。 【復習】個々の用語が説明できる。	60

第4回	薬の種類(サルファ剤、抗生物質などの抗菌剤) ・病原細菌の種類と薬の作用機序を学修する。 ・前回までの確認小テスト。						
	予習】シラバス内容にある単語を調べておく。 【復習】効くメカニズムを理解し、説明できるようにする。	30 60					
第5回	薬の種類(抗ガン剤,抗高血圧薬、抗高脂血症薬などの抗生活習慣病薬) ・抗がん剤の種類と効き方の違いについて学修する。						
	【予習】がんとは何か、イメージしておく。 【復習】 3 人に 1 人はがんになる現代、自分の生活習慣や遺伝などと考え合わせ、理解を深める。	60					
第6回	薬の種類(解熱鎮痛薬、抗精神病薬など) ・風邪薬について ・情動作用と大脳辺縁系など、こころと脳をつなぐ薬について学修する。						
	【予習】新聞などでインフルエンザやうつ病について読んでおく。 【復習】学んだことを実生活で生かせるように具体的な薬名を覚える。	60					
第7回	薬の種類(抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬など) ・免疫とアレルギー。身近な疾患と市販薬なども含め薬の種類を学修する。						
	【予習】アレルギー性鼻炎や蕁麻疹など身近な疾病について調べておく。 【復習】対症法について理解を深める。	30 60					
第8回	薬の種類(ビタミン剤、ホルモン剤など) ・栄養とビタミン ・少量でぴりりと効く ・特徴的な化学構造などモデルを使い学修する。 ・ここまでの確認小テスト。						
	予習】医薬品では、新聞やテレビコマーシャルなどで知れる知識とは異なることをあらかじめ理解しておく。 【復習】講義内容を振り返り、理解を深める。	30 60					
第9回	薬はなぜ効くか(作用機序) ・受容体 ・ファーマコフォア ・薬と受容体のCGによるドッキングシミュレーションを視覚で体験することで、生体と薬が化学反応	していることを学ぶ。					
	【予習】この講義の本質的なところなので、図書館やインターネットでキーワードを確認しておく。 【復習】テクニカルタームの理解と作用機序を科学の言葉で説明できる。 なぜ効くのか、分子レベル の理解。	60					

第10回	薬はなぜ効かなくなるか(薬剤耐性)この回はなぜ効くかと同様に本質的な理解が必要・薬剤耐性と遺伝子について学修する。					
	【予習】キーワードを調べておく。 【復習】テクニカルタームの理解。 なぜ効かなくなるのか、遺伝子レベルの理解。	30 60				
第11回	薬の副作用(ほとんどの薬は副作用を持つ。様々なケースとそれらの原因、予防など) ・薬はさじ加減、毒物としての作用も含め学修する。					
	予習】キーワードを調べておく。 【復習】テクニカルタームの理解。	30 60				
第12回	違法薬物(薬物乱用に用いられる違法薬物の種類と身体に及ぼす悪影響など) ・麻薬、覚せい剤、大麻、コカイン・・・などなど。 ・薬物乱用について学修する。	•				
	予習】キーワードについてあらかじめ調べておく。 【復習】違法薬物についての知識を理解する。	30 60				
第13回	薬用植物と漢方薬・健康食品などについて ・生薬 ・栄養機能食品、特定保健用食品など。 ・補完代替医療について学修する。	•				
	【予習】シラバスの内容を調べておくこと。 【復習】生薬・漢方薬は種類が多いので整理して理解する。	30 60				
第14回	これからの薬・医療 (新しいアイデアから得られた薬や遺伝子療法などについて) ・分子生物学、薬物動態学、コンピュータによるドラッグデザインなどが新薬を創る。 ・創薬について学修する。	•				
	【予習】人類にとってどんな薬が必要か考える。 【復習】新しい薬の未来と医の倫理について考え理解する。	30 60				
第15回	全体のまとめ ・薬の未来。 ・講義全体のレポート提出。	•				
	【復習】健康と薬を生活の中で深く考え理解する。	60 60				

Des War Las
授業の方法 パワーポイントによる講義形式を中心に、小テスト(10回)、学期末に試験またはレポート提出を実施する。対話形式をとりながら可能 な限り受講生との双方向性を高めるよう工夫する。毎回講義内容を配布し復習の手助けとする。
成績評価の方法
学期末試験またはレポート、小テストの成績、出席を加味して評価する。
評価方法は 学期末試験またはレポート(40%)、10回の小テスト(30%)、出席(15回)(30%)。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目 日常的に新聞、テレビ、雑誌などから薬・医療に関する情報を摂取するように努めると、講義内容が理解しやすい。
テキスト
「特になし」
参考書特に定めないが、毎回講義内容の印刷物を配布する。
新聞・扣談士は笙(ナファフ・マロー)
<u>質問・相談方法等(オフィス・アワー)</u> 授業終了後に教室で受け付けます。

科目名		身の回りの科学				
教員名		多田 司				
		1001177050			W 11 W	
科目ナン 配当年次		1301477050 カリキュラムにより	思かります	開講時期	単位数 2018年度 前期	2
		カッキュラムにより	英なりより。	川州時時初	2010年度 前朔	
<u>テ</u> こ常ギす講がも思 一の的一る義あ、っ で高太て 目回 標り	概要 、科学に はない はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	こついて学ぶ機会の少れ れ馴染みにあるれてにされてにされているく エネル上げ解説れは一を設けます。 を取ります。まることが 地球に取り上げたいと がでも取り上げたいと	ない文系学部の学生を ルギー」という言葉現 にですな通りに維めるでは、一 ですなでのは明のでは、一 では、一 でですが、一 のは、一 でですが、一 のでは、一 でですが、一 のでは、一 ででですが、一 のでは、一 ででですが、一 ででですが、一 ででですが、一 ででですが、一 ででですが、一 ででですが、一 ででですが、一 ででですが、一 でででは、一 でででいる。 でででは、一 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。	対象に、サイエンス デキーワードに、身の流 対象に、エネルギー解を 対象なののととでいる。 対象にといる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でい。 でいる。	のエッセンスを伝えることでは、 回りの現象を解説していいませい。 いた見ていくことに表のはいることがこの講義キーとのは、 います。そのために身間です。また授業中に質問しています。	-ワードを通じて一貫した流れ :な現象を主に取り上げながら :て貰えば、各自が不思議に ・してそれらの現象はエネル
授業の計 回数	画と準備学(授業の計画	・内容				
第1回	準備学修(予					準備学修の目安(分)
ייי	エネルギー	・ と様々な単位について 売み、講義計画を確認				6 0
第2回	カとエネル・ カ学の法則。		こついて理解を深めます	۲.		•
	前回までの	溝義内容の確認				6 0
第3回	エネルギー。熱や温度とこ	と熱 エネルギーの関係を理	2解します。			•
	前回までの	溝義内容の確認				6 0

第4回	電気とエネルギー 電気が関係する身近な現象でのエネルギーを理解します。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第5回	波は水面の波以外にも身近に幅広く見られる現象です。波をエネルギーを通して理解します。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第6回	光と電磁波のエネルギー 普段の生活に溢れている光と電波について、学びます。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第7回	ミクロの世界のエネルギー 物質の元になっている原子や電子といった目に見えないミクロの世界のエネルギーを理解します。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第8回	半導体とエネルギー 携帯電話はパソコンにも使われている半導体にかかわるエネルギーを見ていきます。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第9回	エネルギーと化学反応 身の回りで起こる化学反応にエネルギーが深く関わっていることを理解します。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				

第10回	生命現象におけるエネルギー					
	私達自身を含めて生命活動に必要なエネルギーの道筋を見ていきます。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第11回	相対性理論とエネルギー					
おい回	相対性理論ではエネルギーはどう扱われるのか、アインシュタインの有名な式を中心に解説します。					
	旧が正生間では一十分(「ほこうがわからのなく,「コンユン「ンの音音を起き」。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
## 4 O F	HAIRE L. L. V					
第12回	放射能とエネルギー 身の回りにもある放射性物質と放射線にかかわるエネルギーを理解します。					
	身の回りにものる放射性物質と放射線にかかわるエイルヤーを理解しまり。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第13回	太陽系とエネルギー					
WI LOTE	地球上のエネルギーの源になっている太陽、そして太陽を取り巻く惑星に係るエネルギーを見ていきます。	t .				
		, ,				
	前回までの講義内容の確認	6 0				
第14回	宇宙の成り立ちとエネルギー そもそもエネルギーはどこから来たのか、その源を宇宙に求めます。					
	そもそもエネルギーはどこから来たのか、その源を宇宙に求めます。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
	別回よくの講教が合い権能	0 0				

第15回	まとめ これまでの授業を総括します。					
	前回までの講義内容の確認	6 0				
	THE PERSON NAMED IN THE CASE OF THE PERSON	-				

授業の方法
必要に応じてプリントを配布しての講義。
S. de terror a de la
成績評価の方法
毎回の講義中に出題するレポートの評価に平常点を加味する。
成績評価の基準
XX朝計画の卒生 Angle
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし
テキスト
必要な場合はプリントして配布
오 소 송
参考書
特になし
EBB 40344 Mr / L = , = = = = 1
質問・相談方法等(オフィス・アワー)
授業終了後に教室で受け付ける。 また電子メールでも受け付ける。

科目名		科学技術の発展と	歴史					
教員名		渋谷 一夫						
		1001177000					337 11 307	
科目ナン 配当年次		1201477060			開講時期	2018年度	単位数	2
		2			用研咐规	2010千尺	12.75	
<u>テーマ・</u> 科学技		つの中で多くの人で	、 との努力の積み重	ねによって発展	させられて	きた。このキ	受業では、18世	紀後半にはじまる産業革命
以降のヨ	一ロッパの科	4学技術に関するし	へくつかのエピソー	-ドを取り上げな	がら、科学	と技術とがれ	相互に影響を及	ぼしあいながらそれぞれど
のように	発展してきた	このかを明らかにす	⁻ る。なお、授業σ)進捗によって、	内容を一部	変更する場合	合がある。	
到達目標								
①それぞ	れの科学技術	うがどのような経過						
		所が当時の社会・紹 所が後の社会・経済					•	
めてれて	れの科学技術	可が後の社会・経済	す。 忠恕なとにとい	よりな影響を与	・えにかを説り	明じさる。		
授業の計	画と準備学修							
	授業の計画							
	準備学修(予	習·復習等)						準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス・控業の中の	字、進め方、予習 [、]	. 復羽のしかたかし	さた 岩田士 2				
	科学技術と		・接自のしかになる	- で就明りる。				
	科学技術が	いら見た産業革命に	こついて概観する。					
	【予習】産業	≹革命とは何だっ <i>†</i>	こかを確認する。					60
第2回	素材革命の多	冬達の特徴						
第4回		日する技術の変化に	こついて学修する。					
	ि च तत् र =# ±	⋵ : 	88 2 0 + 7 L +	- 4.45 D.C. 0.1.4	r =国 - ミフ			Ico
		鳧レジュメを一読し −ワードとなる事∮						60
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
第3回	素材革命の多	発達と近代化学の原						1
		の近代化と平行して		と学の基礎的内容	₹を学修する	0		
	【名習】謙譲	義レジュメを一読 l	関心のある人物	かわぼ日について	「調べる			I 60
		■ワードとなる事象						
	i							i l

第4回	素材革命の発達と近代化学の展開 ・漂白技術の発達に伴って発生した環境問題とその解決策および化学理論の進展について学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第5回	動力革命の発達の特徴 ・動力技術の変遷について学修する。 ・動力技術の発達にワットが果した役割について学修する。 【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。	160
	【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	
第6回	動力革命の発達と熱力学の成立 ・新しい動力技術が社会で普及していく中で、熱力学という新しい科学が生まれてくる過程を学修する	•
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第7回	動力革命の発達と熱力学の展開 ・動力技術のさらなる発展が熱力学の展開とどのように関連していくかを学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。また、課題レポートの作成に努める。	120
第8回	染色革命の発達の特徴 ・新しい染色技術の形成過程について学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第9回	染色革命の発達と有機化学の成立 ・新しい染色技術が定着する上で化学理論が果した役割について学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60

第10回	染色革命の発達と有機化学の展開 ・染色技術のさらなる発展が有機化学の展開とどのような関連性をもっていたかについて学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第11回	照明革命の発達の特徴 ・照明技術の変化について学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第12回	照明革命の進展の特徴 ・電気を利用した照明技術の展開について学修する。 ・電気照明が社会に与えた影響について学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第13回	通信革命の発達の特徴 ・通信技術の変化について学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第14回	通信革命の発達と電磁気学の成立 ・電磁気学の成立が通信技術の進展に与えた影響について学修する。	
	【予習】講義レジュメを一読し、関心のある人物や項目について調べる。 【復習】キーワードとなる事象について説明できるようにする。	60
第15回	まとめ ・産業革命後に発明された技術が自然科学の発展とどのような関連をもち、また社会や思想に与えた影響	響について学修する。
	【復習】この授業を振り返り、到達目標と自分の理解度を点検し、不足している知識などを確認し、学修する。また、課題レポートの作成に努める。	120

授業の方法 講義形式で、ウェブ上に公開する講義レジュメ(概要)および授業中に配布する資料をもとに詳説する。講義レジュメは授業の前日まで は公開するので、必ずプリントアウトしておくこと。また、できる限り受講者との双方向性を高めるよう工夫する。
は公開するので、必ずプリントアウトしておくこと。また、できる限り受講者との双方向性を高めるよう工夫する。
成績評価の方法
随時課すレポート(25%程度)と学期末試験(75%程度)を基本としつつ、講義中の発言や質問など積極的な参加をプラスに評価す
a .
成績評価の基準
成績計画の基準 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No. 39.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
とくになし。
テキスト
テキスト
テキスト テキストは使用しない。
<u>テキスト</u> テキストは使用しない。
テキスト テキストは使用しない。
テキスト テキストは使用しない。
テキストは使用しない。
テキストは使用しない。
テキストは使用しない。 参考書
テキストは使用しない。
テキストは使用しない。 参考書
テキストは使用しない。
テキストは使用しない。 参考書
テキストは使用しない。
テキストは使用しない。 参考書
参考書 『科学技術史概論』山崎正勝ほか編著、ムイスリ出版、1985年 『科学技術史概論』山崎正勝ほか編著、ムイスリ出版、1985年 1985年 キストは使用しない。 参考書

科目名		科学と哲学							
教員名		瀬戸 一夫							
科目ナン	バー	1101477070					単位数	2	
配当年次		カリキュラムにより	異なります。		開講時期	2018年度		_	
テーマ・					•				
現代の科 科学がど	学と科学技術 のような役割	所は、専門細分化が高川 例を果たすべきであるの が哲学的な意義につい	のかを考える機:	を捉えること: 会はどうして	が難しくなっ も少なくなり	ている。こ がちである	のような情況の 。この授業では	Dもとで、 は「科学」	人間社会に対して が歴史のなかで果
			- 13(11)						
到達目標 知識の客		る真相その他、科学に	関する諸問題を	、自ら哲学的	に捉え直せる	ようになる	(DP1) ,		
ALIIN ON IL	EXIT E OV		X / V III III IZ C .	, 1917		6) IC 6 0	(51 17 8		
	·画と準備学修 授業の計画								
凹奴	準備学修(予							進備学	修の目安(分)
第1回	ガイダンス							-1-010-3	
	授業の内容の	と進め方の概説							
		バスを読み、授業内容 内容のイメージを修正			ベノリカナス			60	
	(接首) 按未	N谷のイメージを修正	し、日ガに必安	なア百の計画	ノ くりをする	0			
第2回	自然科学の	考え方と方法							
	(국 폐) 봤다-	ナズの哲業内容を確認	1 ナヤノ					I 60	
	(ア省)削凹る	までの授業内容を確認	しておく。					00	
生2回	対学の安知点	生の哲学的基礎 生の哲学的基礎							
第3回	件子の合既	生の名子的基礎							
	(予習)前回:	までの授業内容を確認	しておく。					I 60	
	. , , , , , ,	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						ا	
	I							1	

第4回	自然観の諸類型と科学の歴史					
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60				
第5回	ガリレオの課題					
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60				
第6回	コペルニクス革命の様々な解釈					
		Ico				
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60				
*** 7 C						
第7回	コペルニクス革命の謎					
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60				
第8回	宗教と科学の関係					
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60				
第9回	科学の源流と神話					
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60				

NO LOTE	古代の自然研究	
		Ico
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
第11回	科学的な説明の原型	
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
第12回	説明原理の役割	
	 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
	(1 D) 19 D O C O D D D D D D D D D D D D D D D D	
第13回	古代の宇宙論	
	(予翌)前回までの授業内容を確認しておく	1 60
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。	60
		60
第14回	(予習)前回までの授業内容を確認しておく。 ・宇宙進化論の原型	60
		60
		60
	. 宇宙進化論の原型	
	. 宇宙進化論の原型	60
	. 宇宙進化論の原型	
第14回	・宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。	
	. 宇宙進化論の原型	
第14回	・宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。	
第14回	・宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。	
第14回	. 宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。 客観性の真相	60
第14回	・宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。	
第14回	. 宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。 客観性の真相	60
第14回	. 宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。 客観性の真相	60
第14回	. 宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。 客観性の真相	60
第14回	. 宇宙進化論の原型 (予習)前回までの授業内容を確認しておく。 客観性の真相	60

授業の方法
解説講義を中心とする。なお、授業の進捗によって、第2回~第14回の項目を入れ替える、あるいは変更する場合がある。
- 1 d - 1 d
成績評価の方法
各学生について、50パーセントは学期末試験の点数により、残る50パーセントは受講態度と小テストの成績により総合評価する。
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University
Regulation No.39.
特に以下のことを重視して評価する。
▼・哲学の基本用語が正しく使えるようになったか。
・科学の問題を、哲学的な観点から捉え、考えられるようになったか。
N = 4. 7 (4.4a) / 4.4a / 10 / 10 / 10 / 10 / 10
必要な予備知識/先修科目/関連科目
なし。
テキスト
サイスト 特に指定しない。
参考書
瀬戸一夫著『コペルニクス的転回の哲学』(勁草書房)3,500円
瀬戸一夫著『知識と時間』(勁草書房)2,600円
質問・相談方法等 (オフィス・アワー) ポータルサイトで周知する。
Iハーブルソイ FC同双9の。

科目名	環境論	
教員名	斉藤 喬士	
科目ナンバー	1201477080	単位数 2
配当年次	カリキュラムにより異なります。	開講時期 2018年度 後期

テーマ・概要

テーマ 生物と環境との相互関係と進化について考える。

概 要 生命のなりたちや物質の循環を考え、DNA、RNA、細胞、個体などの基本的な生命単位を理解しながら、環境の変化が生物に与える 影響や生物の多様な変化が環境に与える影響という観点で環境全体を考えていく。

目 標 環境について、生物の進化という切り口で学び、生物の形態的、生理的、生化学的変化を理解する。それらを通して生物と環境との関係を自分の価値観でとらえられるようになることを目的とする。

到達日標

新たに得た知識を用いて自分の考えや意見をまとめることが大切です。だから、各時間の内容に沿った課題を文章でまとめることで、自分の考えを整理し、その考えの根拠を明確にすることができるようになる。この積み重ねが生物進化と環境の相互関係の理解を深めるだけでなく、「環境」をより身近な問題としてとらえ、問題解決に対して自分の意見が持てるようになる。

授業の計画と準備学修

回数 授業の計画・内容

準備学修(予習·復習等)

準備学修の目安(分)

第1回 全体の流れと生命と進化、生態系、環境について

* 地球上には多種多様な生物が生きているが、現生生物には、細胞の基本構造、生体の営む化学反応、生体における遺伝情報の流れ、遺伝暗号、タン パク質を構成するアミノ酸の立体構造、生体におけ る直接的なエネルギー源など、多くの点で共通性が認められ、現生生物は同一祖先に由来すると考 えられていることを概観し学修する。

(予習)参考文献の中の生命、生態系についての項目を読んでおくこと。

60

60

(復習)課題問題を中心に、講義内容に沿ってテキストを読み返し、生命について理解を深める。

第2回 原始地球環境と生命の起源とRNA

- * 地球最古の細胞の化石
- * 生命の起源、初期進化研究法
- * 動的平衡について
- * RNAワールド
- * 化学進化に関連した残された問題点や物質から 生命の誕生について学び、考える。

(予習) 原始地球環境や生命の起源とRNAワールドについての内容は参考図書を読んで準備する。

(復習)課題問題と講義内容についてテキストを読み返しながら理解を深め、自分の言葉でまとめてみ る。

第3回 極限環境での生物の生存戦略

- * 進化についての基本的理解を深める
- * 膜輸送の基本である膜存在タンパク質について 学ぶ
- * 生物が持つ酸性、アルカリ性、圧力、放射線、熱 などに対する耐性の仕組みを理解し、極限環境での生存戦略を学ぶ。

(予習)極限の環境下で生存している生き物にはどんなものがいるのかなどを参考図書を読んで準備す 90 る

(復習)課題問題と細胞膜の働きや極限状態での生命現象についてテキストを読み返して理解を深め、 自分の言葉でまとめてみる。

第4回 細胞の出現

* 生命というシステムの誕生は細胞の誕生でもある。細胞の内部では、生物にとってさまざまな反応が行われている。そこで細胞の起源、構造、機能などを学び、細胞内の環境が整えられてはじめて生命活動が起こることを学修する。

(予習) 細胞の構造の名称や働きについて参考図書を読んで準備する。

90

(復習)細胞内部での生命活動を中心にテキストを読み返して理解を深め、課題問題を含め自分の言葉 で説明できるようにする。

第5回	酸素と生物	
	* 原始生命が出現してからもしばらくは原始大気が維持されていたが、あるときから大気中の酸素濃度 昇を境に、地球環境と生物相が一変した。これらの経過と無気呼吸、酸素呼吸の違いを学修する。	Eが上昇した。酸素濃度上
	(予習)原始大気が変化する過程を参考図書を読んで準備する。	90
	(復習)課題問題と酸素呼吸についてテキストを読み返して理解を深め、自分の言葉でまとめてみる。	
第6回	真核細胞の出現	
	* 原核生物の機能の改善や多様化による進化というより、異なるタイプの原核生物を組み合わせて真いう営みの意味を考 え、進化史上重要な転換点を学修する。	核生物を創出した共生と
	(予習)原核細胞と真核細胞の違いについて参考図書を読んで理解しておく。	90
	(復習) 課題問題と真核細胞における生命現象についてテキストを読み返し、理解を深め、自分の言葉 でまとめる。	
第7回	多細胞生物の出現	
	* 生物の大型化と複雑化は、細胞自身の大型化、複雑化より細胞数の増加とそれらの組織化によっても 部環境と形態の多様化を出現させた。生物の大型化、複雑化と進化について学修する。	たらされ、多細胞化は内
	(予習) 多細胞生物における組織化について参考図書を読んで準備する。	90
	(復習) 課題問題と生物の大型化、複雑化と進化についてテキストを読み返して理解を深め、自分の言葉でまとめる。	
第8回	水と生命	
	* 細胞はすべて水溶液に浸っており、生体反応は全て水溶液中での反応であり、吸収、排泄、分泌、拡 れている。水の特異性と地球上の水資源について考え、生命と水について学修する。	は散など水の存在下で行わ
	・ (予習)地球上における水の存在について参考図書を読んでおくこと。	60~120
	(復習)テキストを読み返して、課題問題と生命活動にとって水の存在の重要性を理解し学修する。	
第9回	 寄生:異種生物という環境における生存戦略	
	* 敵対関係にある寄生者と宿主の間には、だまし、あやつり、ねじふせ、妥協し、ときには協力するときや巧妙な生存戦略がみられる。同じ空間を共有する寄生者と宿主生物の生存戦略を学修する。	いった興味深い駆け引
		60~120
	(復習)寄生者と宿主生物との間で行われる生存戦略をテキストを読み返して理解を深め、自分の言葉 で説明する。	
第10回	内部共生と進化	!
	*密接な生物間相互作用のもとに成り立つ内部共生とそれにともなう相互依存関係の発展について多様 菌、発光魚と発光バクテリア、などを学び、生物進化における内部共生の重要性を学修する。	な実例、動物と腸内細
		60~120
	(復習)内部共生という相互依存関係についてテキストを読み返して理解を深め、生物進化との関連を 考える。	
第11回	遺伝子と環境	ı
	*遺伝子の構造と機能を学び、細胞内外の様々な環境変異原がもたらす莫大な量のDNA損傷に対抗しかつ多様な生物機能が遺伝子情報の安定性を支えていることを学修する。	て、DNA修復など複雑
		60~120
	(復習)DNAの損傷と修復そして遺伝子情報の安定性についてテキストを読み返して理解を深め、生 物進化について考えてみる。	
		1

第12回 免疫系における異物認識

*免疫系での最初のポイントである免疫担当細胞がどのようにして特異的に外来抗原を識別することができるが、この抗原認識 の仕組みを学び、いかにして調和のとれた反応系を維持できるのかを学修する。

(予習) 免疫における異物とはなんであるかをあらかじめ参考図書を読んで知っておく。

90

(復習) 異物認識の仕組みと調和のとれた免疫系についてテキストを読み返して理解を深め、自分の言葉で説明できる。

第13回 免疫系のシステム:自然免疫、適応免疫、早期誘導反応について

* 免疫細胞は多様性をもつということは、特異性をもつ細胞は極めて少ないことを意味する。この少ない特異的な免疫細胞がどのように異物に対応するかを学ぶ。

(予習) 自然免疫と適応免疫について、前回のプリントを読んで内容を確認しておくこと。

90

(復讐) 免疫系全体が進化とともに進歩してきたことを理解し、まとめてみる。

第14回 生物の絶滅と地球環境

*生物が進化してきた過程では、数多くの種が絶滅し、新たな種が生み出されてきたことを確認する。 *生物の大量絶滅の原因として寒冷化、小天体の衝突、無酸素事変などについて学び、考察する。

(予習)地球環境の激変による生物の絶滅について参考図書を読んでどのような地球環境の変化があっ 90 たのかを知っておく。

(復習) 環境変化と生物の絶滅についてテキストを読み返して理解を深め、自分の言葉で説明する。

第15回 生物に対する人為の影響 ーマンモスの絶滅の謎ー

- * 古代の気候、氷河期と温暖化を通して人類の生活を考える。
- *マンモスの進化過程と生活行動を考える。
- *マンモスの絶滅の理由を考え、なぜ生物多様性の保全が必要なのかを考え、全体のまとめとする。

(予習) 氷河期をはじめ古代の気候について参考図書を読んであらかじめ知っておく。

90

(復習)マンモスの絶滅の原因をいろいろ考え、人為の影響についてテキストを読み返して理解し、生物の多様性の保全の重要性を考える。

授業の方法

授業はパワーポイントを用いて行う。講義の内容を印刷物にして配布する。各講義時間の終了10分前にその日の授業内容について課題を 出すのでその課題についてレポートをまとめること。まとめるにあたっては自分の言葉で自分の考えを表現しなければならない。提出され たレポートは平常点として評価する。

成績評価の方法

各時間に提出された課題に対するレポートを 1 ~ 4 に評価し、15 回分を合計して平常点とする。平常点の最も多いのは3で次は 2, 4, 1となる。毎年、合計が50を超える人が数人います。欠席は0なので、出席して課題レポートを提出することが単位取得には必要です。期末に行うレポート試験 (50点:平均が38点前後になるよに採点する)の合計で成績を評価する。合計点の上位から決められた割合で S と A とし、順次B, C, Dとする。当然のことであるが、レポートには自分の考え、意見が含まれていなければならない。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

自然科学一般、特に生物学に興味を持っているとよい。また、分野を問わないが、新書を月1冊ほど読む読書量があるとよい。本を読むと 文章が書けるようになります。読書量が少ない人は、是非、実行してください。

テキスト

テキスト代わりに各時間プリントを配布するので特にテキストは必要としない。プリントの内容は参考図書レベルであるので、講義をしっかり聴くこと。また、期末のレポート作成には配布したプリントを参考資料として利用するとよい。

参考書 環境と生物進化 石川 統 日本放送出版協会 ¥2000 生物進化を考える 木村資生 岩波新書 ¥550 地球の水が危ない 高橋 裕 岩波新書 ¥700 生命と地球の歴史 丸山茂徳 磯崎行雄 岩波新書 ¥860 地球システムの崩壊 松井孝典 新潮選書 ¥1100 その他は授業中に紹介します

質問・相談方法等(オフィス・アワー) 授業終了後に教室で受け付ける。

科目名		気象と地球環境			=
教員名		財城 真寿美			
科目ナン	, /Š—	1101477090		単位数	2
配当年次		カリキュラムにより異なります。	開講時期	2018年度 後期	
テーマ・	概要				
気象・気 発生する す.	候および地球 現象や環境問	環境問題を理解するために、気象学と気(題などを取り扱います. 高校の地学や物:	候学の基礎的な事項の理 理の知識があると良いで	解を深めます.身近な大 すが,文系の学生にも理	気の現象から、地球規模で 解できるように解説しま
<u>到達目標</u> DP1 (教 建 天気に関	養の修得), D	P2 (課題の発見と解決) , DP3 (他者との 象や地球規模の現象について, メカニズ.	D協働), DP5 (表現力, ムから理解し, 説明でき	発信力)を実現するため, るようになることを目標	. 以下を到達目標とする. とする.
哲学の社	-画と準備学修				
	一個と準備学修 授業の計画・				
	準備学修(予				準備学修の目安(分)
第1回	講義ガイダン・研究倫理に ・講義計画の	:ついて 確認			
	シラバスを読	み, 講義計画を確認してくること			60
第2回	大気圏の構造	i			
	前回の講義内	容の確認			60
第3回	気圧と風(1)			
	前回の講義内	容の確認			60

第4回	気圧と風(2)					
	前回の講義内容の確認	60				
第5回	前回の講義内容の確認	60				
	別に回り時表だら行う。					
第6回	放射と熱					
	前回の講義内容の確認	60				
第7回	水蒸気と雲					
	前回の講義内容の確認	60				
第8回	大気の大循環					
	前回の講義内容の確認	60				
第9回	低気圧と高気圧					
	前回の講義内容の確認	60				

第10回	台風	
	前回の講義内容の確認	60
第11回	天気図でみる日本の四季	
	前回の講義内容の確認	60
第12回	大気と海洋の相互作用 エル・ニーニョ現象,ラ・ニーニャ現象	
	前回の講義内容の確認	60
第13回	地球温暖化 1 (温暖化の現状)	
	前回の講義内容の確認	60
第14回	地球温暖化 2 (温暖化対策の取り組み)	•
	前回の講義内容の確認	60
第15回	全講義内容の総復習	
	すべての講義内容を振り返って、不明な点については質問できるようにしておくこと	60

授業の方法
反案の方法 配布プリントとPCプロジェクターを使用して講義を進めます.
成績評価の方法
期末試験(持ち込み不可)の結果(90%)と,課題や発言などの講義への取り組み(10%)で評価します.
成績評価の基準
成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。
次の点に着目し、その達成度により評価する。
天気に関する身近な現象や地球規模の現象について、メカニズムから理解し、説明できるスキルを習得したかどうか.
必要な予備知識/先修科目/関連科目
特になし
テキスト
本年度は指定しません.
参考書
「百万人の天気教室」白木正規、成山堂書店、ISBN: 4425511093
「図解 気象の基礎知識」二宮洸三,オーム社,ISBN:4274024733 「身近な気象学」木村龍治・新野宏,放送大学教育振興会,ISBN:4595312210
「気象と地球の環境科学」二宮洸三, オーム社, ISBN: 4274201856
77.7.C.B.4.7.7.X.11.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.
質問・相談方法等(オフィス・アワー)